南相馬市新市庁舎建設（建築主体）工事

意匠図

2026年5月

株式会社 佐藤総合計画

南相馬市新庁舎建設　建築主体工事 図面リスト

意　匠　図

図面種別	図面名称	縮尺
G - 001	図面リスト	—
G - 001	福島県建築関係工事特記仕様書	—
G - 002	建築工事特記仕様書 (1)	—
G - 003	建築工事特記仕様書 (2)	—
G - 004	建築工事特記仕様書 (3)	—
G - 005	建築工事特記仕様書 (4)	—
G - 006	建築工事特記仕様書 (5)	—
G - 007	建築工事特記仕様書 (6)	—
G - 008	建築工事特記仕様書 (7)	—
G - 009	建築工事特記仕様書 (8)	—
G - 010	建築工事特記仕様書 (9)	—
G - 011	工事概要書	—
G - 012	工事区分表	—
G - 013	敷地現況図	1/300
G - 014	案内図・配置図	1/300
G - 015	一般共通事項・外部仕上表	—
G - 016	内部仕上表(1)	—
G - 017	内部仕上表(2)	—
G - 018	内部仕上表(3)	—
G - 019	内部仕上表(4)	—
G - 020	内部仕上表(5)	—
G - 021	ピット階(FL±0) 平面図	1/150
G - 022	ピット階(FL+2000) 平面図	1/150
G - 023	1階平面図	1/150
G - 024	2階平面図	1/150
G - 025	3階平面図	1/150
G - 026	4階平面図	1/150
G - 027	PH階平面図・屋根伏図	1/150
G - 028	立面図(1)	1/150
G - 029	立面図(2)	1/150
G - 030	断面図	1/150
G - 031	1階天井伏図	1/150
G - 032	2階天井伏図	1/150
G - 033	3階天井伏図	1/150
G - 034	4階・PH階天井伏図	1/150
G - 035	壁下地種別詳細図	1/5
G - 036	1階壁下地種別平面図	1/150
G - 037	2階壁下地種別平面図	1/150
G - 038	3階壁下地種別平面図	1/150
G - 039	4階・PH階壁下地種別平面図	1/150
D - 001	矩計図(1)	1/50
D - 002	矩計図(2)	1/50
D - 003	矩計図(3)	1/50
D - 004	階段1 詳細図(1)	1/50
D - 005	階段1 詳細図(2)	1/50
D - 006	階段2 詳細図(1)	1/50
D - 007	階段2 詳細図(2)	1/50
D - 008	階段3 詳細図(1)	1/50
D - 009	階段3 詳細図(2)	1/50
D - 010	1階 平面詳細図(1)	1/50
D - 011	1階 平面詳細図(2)	1/50
D - 012	1階 平面詳細図(3)	1/50
D - 013	1階 平面詳細図(4)	1/50
D - 014	2階 平面詳細図(1)	1/50
D - 015	2階 平面詳細図(2)	1/50
D - 016	2階 平面詳細図(3)	1/50
D - 017	2階 平面詳細図(4)	1/50
D - 018	3階 平面詳細図(1)	1/50
D - 019	3階 平面詳細図(2)	1/50
D - 020	3階 平面詳細図(3)	1/50
D - 021	3階 平面詳細図(4)	1/50
D - 022	4階 平面詳細図(1)	1/50
D - 023	4階 平面詳細図(2)	1/50
D - 024	4階 平面詳細図(3)	1/50
D - 025	4階 平面詳細図(4)	1/50
D - 026	PH階 平面詳細図	1/50

図面種別	図面名称	縮尺
D - 027	水廻り詳細図(1)	1/50
D - 028	水廻り詳細図(2)	1/50
D - 029	水廻り詳細図(3)	1/50
D - 030	水廻り詳細図(4)	1/50
D - 031	水廻り詳細図(5)	1/50
D - 032	水廻り詳細図(6)	1/50
D - 033	主要諸室詳細図(1)	1/50
D - 034	主要諸室詳細図(2)	1/50
D - 035	主要諸室詳細図(3)	1/50
D - 036	主要諸室詳細図(4)	1/50
D - 037	主要諸室詳細図(5)	1/50
D - 038	主要諸室詳細図(6)	1/50
D - 039	主要諸室詳細図(7)	1/50
D - 040	主要諸室詳細図(8)	1/50
D - 041	議場詳細図(1)	1/50
D - 042	議場詳細図(2)	1/50
D - 043	議場詳細図(3)	1/50
D - 044	建具共通事項	-
D - 045	建具キープラン(1)	1/150
D - 046	建具キープラン(2)	1/150
D - 047	建具キープラン(3)	1/150
D - 048	建具キープラン(4)	1/150
D - 049	建具表(1)	1/100
D - 050	建具表(2)	1/100
D - 051	建具表(3)	1/100
D - 052	建具表(4)	1/100
D - 053	建具表(5)	1/100
D - 054	建具表(6)	1/100
D - 055	建具表(7)	1/100
D - 056	部分詳細図(1)	図示
D - 057	部分詳細図(2)	図示
D - 058	部分詳細図(3)	図示
D - 059	部分詳細図(4)	図示
D - 060	部分詳細図(5)	図示
D - 061	部分詳細図(6)	図示
D - 062	集密書架詳細図 (1)	図示
D - 063	集密書架詳細図 (2)	図示
D - 064	屋上目隠し詳細図	図示
D - 065	スライディングウォール詳細図 (1)	図示
D - 066	スライディングウォール詳細図 (2)	図示
D - 067	WAD詳細図(1)	図示
D - 068	WAD詳細図(2)	図示
D - 069	AW詳細図	図示
D - 070	ACW詳細図	図示
D - 071	喫茶厨房機器詳細図	図示
D - 072	キャノピー1平面・立面・屋根伏図	図示
D - 073	キャノピー2平面・立面・屋根伏図	1/100
D - 074	キャノピー1断面詳細図	1/100
D - 075	駐輪場詳細図	1/50
		1/50

図面種別	図面名称	縮尺
D - 100	家具特記仕様・家具リスト	-
D - 101	家具キープラン(1)	1/150
D - 102	家具キープラン(2)	1/150
D - 103	家具キープラン(3)	1/150
D - 104	家具キープラン(4)	1/150
D - 105	家具図(1)	図示
D - 106	家具図(2)	図示
D - 107	家具図(3)	図示
D - 108	家具図(4)	図示
D - 109	家具図(5)	図示
D - 110	家具図(6)	図示
D - 111	家具図(7)	図示
D - 112	家具図(8)	図示
D - 113	家具図(9)	図示
D - 114	家具図(10)	図示
D - 115	家具図(11)	図示
D - 116	家具図(12)	図示
D - 117	家具図(13)	図示
D - 118	家具図(14)	図示
D - 119	家具図(15)	図示
D - 120	家具図(16)	図示
D - 200	サインリスト・キープラン(1)	1/150
D - 201	サインキープラン(2)・サイン詳細図 (1)	1/150
D - 202	サイン詳細図 (2)	1/150
D - 203	サイン詳細図 (3)	1/150
D - 204	サイン詳細図 (4)	1/150
D - 300	窓口システム　システム詳細図	—
D - 301	窓口システム　機器構成図	—
D - 302	窓口システム　系統図	—
D - 303	窓口システム　下部機器配置図	—
D - 304	窓口システム　上部機器配置図	—
D - 305	窓口システム　電気配線図	—
D - 400	エレベーター詳細図(1)	1/30
D - 401	エレベーター詳細図(2)	1/30
D - 402	エレベーター詳細図(3)	1/30
D - 403	エレベーター詳細図(4)	1/30
D - 404	エレベーター詳細図(5)	1/30
D - 405	エレベーター詳細図(6)	1/30
D - 406	エレベーター詳細図(7)	1/4,1/30
D - 407	エレベーター詳細図(8)	1/4,1/30
D - 408	エレベーター詳細図(9)	1/4,1/30
D - 409	エレベーター詳細図(10)	1/4,1/30
A - 001	敷地求積図	1/300
A - 002	平均地盤算定図	1/300
A - 003	延べ面積・建築面積求積図（庁舎棟求積図）	1/200
A - 004	延べ面積・建築面積求積図（付属棟求積図）	
A - 005	各室面積表(1)	1/250
A - 006	各室面積表(2)	1/250
A - 007	1階法規チェック図	1/150
A - 008	2階法規チェック図	1/150
A - 009	3階法規チェック図	1/150
A - 010	4階・PH階法規チェック図	1/150
A - 011	日影図	1/300
A - 012	仮設計画図(1)	1/300

構　造　図

図面種別	図面名称	縮尺	図面種別	図面名称	縮尺

福島県建築関係工事特記仕様書【R7年10月版】

Ⅰ 工事概要

1 工事名称　南相馬市新庁舎建設建築主体工事

2 工事場所　福島県南相馬市原町区三島町二丁目地内

3 建物概要

	建物名称	構造	階数	延面積（㎡）	消防法施行令別表第1区分	備考
1	庁舎棟	SRC+S造(免震構造)	地上4階+PH階	9042.88㎡	15項	
2	ｷｬﾋﾟﾛｰ1-1	S造	地上1階	64.30㎡		駐車場部分面積
3	ｷｬﾋﾟﾛｰ1-2	S造	地上1階	-		
4	ｷｬﾋﾟﾛｰ2	S造	地上1階	-		
5	駐輪場	S造	地上1階	135.54㎡		

※詳細は工事概要書による。

4 電気設備工事概要

（本工事における工事種目ごとの概要を示すもので仕様を規定するものではない　○印を付けたものが該当項目となる）

受電設備	配電盤　・屋内用　・屋外用　・キュービクル式配電盤　・高圧スイッチギヤ 設備容量　・変圧器総容量（　　）kVA　・
電力貯蔵設備	・直流電源装置（　・非常用照明電源、受変電設備制御電源共用　・受変電設備制御電源専用　・非常用照明電源専用　） ・交流無停電電源装置　用途（　　）容量（　　）kW （UPS）
発電設備	原動機（　　） 発電機（　　）相（　　）線式　電圧（　　）V　50HZ 定格出力（　　）kVA ・太陽光発電装置　太陽電池アレイ公称出力（　　）kVA ・（　　）発電装置（　　）kVA
中央監視制御設備	管理点数（　　）点 管理対象　・電力設備　・発電設備　・防災設備　・給排水衛生設備　・空気調和設備 ・昇降機設備　・（　　）・（　　）・（　　）・（　　）

5 機械設備工事概要

（本工事における工事種目ごとの概要を示すもので仕様を規定するものではない　○印を付けたものが該当項目となる）

空気調和方式	・ダクト方式（・中央　・各階ユニット）・FCU方式　・ ・FCU+ダクト併用方式　・パッケージ方式　・
主要熱源機器	・吸収冷温水機　・吸収冷温水機ユニット　・マルチパッケージ型空気調和機 ・空気熱源ヒートポンプユニット　・パッケージ型空気調和機　・ガスエンジンヒートポンプ式空調調和機 ・　・　・ ・　・　・
換気設備	機械換気（・有　・無）
排煙設備	機械排煙（・有　・無）
自動制御設備	・電気式　・電子式　・デジタル式
給水設備	・水道直結方式　・高置タンク方式（・上水　・井水　・中水） ・ポンプ直送方式（・上水　・井水　・中水）　・増圧ポンプ方式
排水設備	建物内の汚水と雑排水（・分流　・合流） ポンプ排水（・有（・湧水　・雨水　・雑排水　・汚水）・無） 汚水放流先（・公共下水道　・し尿浄化槽） 雑排水放流先（・公共下水道　・し尿浄化槽　・側溝）
消火設備	・屋内消火栓（・1号　・2号）　・屋外消火栓　・ ・連結送水　・連結散水　・泡消火　・スプリンクラー　・ハロゲン化物消火　・ ・二酸化炭素消火　・新ガス系消火　・フード等用簡易自動消火　・消火器　・
ガス設備	・都市ガス（①供給業者名　②種別　③発熱量　MJ/Nm³） ・液化石油ガス　・　・

Ⅱ 工事仕様

1 図面及び本特記仕様書に記載無き事項は、次による。

※「福島県建築関係工事共通仕様書」(福島県土木部)
※「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和7年版)」(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)
※「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和7年版)」(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)
※「公共建築工事標準仕様書(機械設備工事編)(令和7年版)」(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)

※「建築工事標準詳細図」(令和4年版)(国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課監修)
※「公共建築設備工事標準図」(電気設備工事編)(令和7年版)(国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修)
※「公共建築設備工事標準図」(機械設備工事編)(令和7年版)(国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修)

・「公共建築改修工事標準仕様書」(建築工事編)(令和7年版)(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)
・「公共建築改修工事標準仕様書」(電気設備工事編)(令和7年版)(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)
・「公共建築改修工事標準仕様書」(機械設備工事編)(令和7年版)(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)

・「公共建築木造工事標準仕様書」(令和7年版)(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)
・「建築物解体工事共通仕様書」(令和4年版)(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)

・（　　）

なお、公共住宅建設にあっては、次を併せて適用する。
※「公共住宅建設工事共通仕様書(令和4年版版)」(公共住宅事業者等連絡協議会編集)

2 項目は、番号の前に○印、または番号に○印の付いたものを適用する。適用しない項目等は斜線、・印、または無印とする。

3 特記事項は、○印 の付いたものを適用する。
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
○印と※印の付いた場合は、両方を適用する。
※印を適用しない場合は、・に変えること。

4 形状寸法の単位は、特記した場合を除き ミリメートルとする。

5 各章の特記事項欄に ある(県:　)と表示されているものは、「建築関係工事共通仕様書」を示し、(　)書きは「公共建築工事標準仕様書」、
(　　)書きは「公共建築改修工事標準仕様書」の章・節・項番号である。

6 本特記仕様書に選択項目がない場合は、空欄等に仕様を記載する。

	項目	特記事項

① 一般共通事項

① 適用基準等

⊙ 共通仕様書(土木工事編)　(福島県土木部)
※ 建築工事、電気設備工事、機械設備工事、建築改修工事監理指針　(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)
※ ふくしま公共施設等ユニバーサルデザイン指針
⊙ 建築工事標準仕様書・同解説(日本建築学会)　(適用工種　⊙全工種　・一部工種　(JASS　　))
※ 建築関係工事における週休2日促進工事試行要領　※ 建築・設備工事における入札時積算数量書活用方式試行要領
※ 工事書類チェックリスト(福島県土木部)　※ 建築関係工事における情報共有システムの運用
※ 建設キャリアアップシステム活用工事実施要領

② 施工条件

・下記以外は図示等による。
(1) 工事車両の駐車場　(※ 構内　・(　　))
(2) 資材置き場　(※ 構内　・(　　))
(3) 建設発生土(埋戻し、盛り土用)の仮置場所　(※ 構内　・(　　))

③ 工事実績データの作成、登録

工事請負代金が500万円以上の場合は適用する。

④ 電気保安技術者

⊙ 配置する　・配置しない

⑤ 技能士

※ 適用する　・適用しない

適用工事種別	作業の種別	等級区分
鉄筋工事(鉄筋施工、鉄筋組立て作業)	⊙全て・(　　)	・1級　⊙1又は2級
コンクリート工事(型枠施工)	⊙全て・(　　)	・1級　⊙1又は2級
鉄骨工事(とび)	⊙全て・(　　)	・1級　⊙1又は2級
ブロック、ALCパネル工事、PCカーテンウォール工事(ブロック積み、ALCパネル施工、カーテンウォール施工、サッシ施工、ガラス施工)	⊙全て・(　　)	・1級　⊙1又は2級
防水工事(アスファルト防水工事作業、合成ゴム系シート防水工事作業、塗膜防水工事作業、シーリング防水工事作業)	⊙全て・(　　)	・1級　⊙1又は2級
石工事(石材施工(石張り施工))	・全て・(　　)	・1級　・1又は2級
タイル工事(タイル張り)	⊙全て・(　　)	・1級　⊙1又は2級
木工事(建築大工)	⊙全て・(　　)	・1級　⊙1又は2級
大造工事(建築大工)	⊙全て・(　　)	・1級　⊙1又は2級
屋根及びとい工事(建築板金(内外装板金作業))	⊙全て・(　　)	・1級　⊙1又は2級
金属工事(内装仕上げ施工(鋼製下地工事作業))	⊙全て・(　　)	・1級　⊙1又は2級
左官工事(左官)	⊙全て・(　　)	・1級　⊙1又は2級
建具工事(サッシ施工、ガラス施工、自動ドア)	⊙全て・(　　)	・1級　⊙1又は2級
塗装工事(塗装(建築塗装作業))	⊙全て・(　　)	・1級　⊙1又は2級
内装工事(プラスチック床仕上げ工事作業、ボード仕上げ工事作業、表装(壁装作業)、畳工)	⊙全て・(　　)	・1級　⊙1又は2級
植栽工事(造園)	⊙全て・(　　)	・1級　⊙1又は2級
配管工事(配管)	⊙全て・(　　)	・1級　⊙1又は2級
保温工事(熱絶縁施工)	⊙全て・(　　)	・1級　⊙1又は2級
冷凍空気調和機器施工(冷凍、冷却及び空気調和機器の据付及び整備)	⊙全て・(　　)	・1級　⊙1又は2級
ダクト製作及び取付(建築板金施工)	⊙全て・(　　)	・1級　⊙1又は2級

※作業数量が少量の場合には、適用の有無について監督員と協議することができる。

⑥ イメージアップ

⊙ 適用する　※ 適用しない　⊙ 仮囲いの美化　・フラワーボックスの設置　・夜間照明設備

⑦ 発生材の処理

⊙ 有価物　(スクラップ等　　)
・引き渡しを要するもの（保管場所は、監督員の指示による）
・ポリ塩化ビフェニル含有物(PCB)　・金属類　・(　　)
・現地において再利用化を図るもの

建設副産物	処理方法等	備考

⊙ 建設副産物の処理方法

建設副産物	処理方法	積算上の施設名称(※1)
コンクリート(有筋)	・再資源化　⊙中間　・最終(一般)　・最終(特別管理産業廃棄物)	小林建設工業有限会社
コンクリート(無筋)	・再資源化　⊙中間　・最終(一般)　・最終(特別管理産業廃棄物)	小林建設工業有限会社
金属くず	・再資源化　⊙中間　・最終(一般)　・最終(特別管理産業廃棄物)	株式会社高良
木材	・再資源化　⊙中間　・最終(一般)　・最終(特別管理産業廃棄物)	株式会社まるさセンター
アスファルト・コンクリート	・再資源化　⊙中間　・最終(一般)　・最終(特別管理産業廃棄物)	小林建設工業有限会社
汚泥	・再資源化　⊙中間　・最終(一般)　・最終(特別管理産業廃棄物)	株式会社モンマ

CCA処理木材の処理　・あり　・なし
石綿含有せっこうボードの処理　・あり(改修欄仕 9.1.5による)　・なし
ひ素・カドミウム含有せっこうボードの処理　・製造業者に処分を委託する　・管理型最終処分場で埋立処分する
PCB含有シーリング材の処理　・あり　・なし

・蛍光ランプ、水銀ランプの処理方法

建設副産物	処理方法		積算上の施設名称(※1)
蛍光ランプ	・中間	・	
水銀ランプ	・中間	・	

注:積算上の施設(※1)は複算上の条件明示であり、処理施設を指定するものではない。処理施設については、監督員の承諾を得ること。また、処理施設が積算上の施設と異なる場合でも設計変更の対象とはしない。

8 監督員事務所

・設ける（　規模:　　m2程度　）　※ 設けない　備品については、監督員の指示による
・別途建築工事による

⑨ 工事用表示板

※ 適用する　・適用しない　[県:第1編 図1.3.1]

⑩ 施工歩標

※ 適用する　(⊙ 設置は建築工事とする　)　・適用しない　[県:第1編 図1.3.3]

⑪ 色彩計画

※ 色彩計画あり（　・図示　⊙ 監督員との協議による　）　・色彩計画無し

⑫ 使用材料等

使用材料の製造所、製品及び施工業者等は特記されたもの又は同等以上とする。
ただし、同等以上とする場合は、監督員の承諾を受ける。
また、「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」により評価された海外製造の建築材料・設備機材等についても同様扱いとする。

⑬ 特別な材料の工法

共通仕様書等に記載されていない特別な材料の工法は、監督員の承諾を受けて、当該製品の指定工法による。

⑭ 風荷重等

※ 建築基準法に基づき定められた風速(V0)　(30　m/sec)
※ 建築基準法に基づき定められた積雪荷重　(30cm　20N/m²・cm)
※ 地表面粗度区分　・Ⅰ　・Ⅱ　⊙Ⅲ　・Ⅳ

⑮ 記録報告
1) 報告時期

工事履行報告書は、下記により提出する。
※ 毎月1回　・監督員の指示

内容	工事履行報告書、工事別工程進度表、主要材料搬入状況、当月の出来高状況、工事状況写真
添付書類	月間工程表、各工程の区分毎の社内検査報告書(写真含む)

⑯ 電子納品

電子成果品は、福島県電子納品ガイドライン(営繕工事編)により納品を行う。
対象書類　(※ 工事写真　・施工計画書　※ 完成図　・その他（　　))
※ 検査用機器(パソコン、モニター等)は、受注者が準備する。
原則モニターのサイズは、21～24インチ程度とし、解像度はアスペクト比16:9の場合1920×1080以上、アスペクト比16:10の場合1920×1200以上とする。
※ 工事写真のサムネイル一覧を提出する。

⑰ 完成時の提出書類

(1) 完成図書　(※ 提出する　・提出しない　)⊙ 黒表紙(金文字入) A4版(1部)　・ハードファイルA4版(1部)
(2) 建築物の保全に関する書類　(※ 提出する　・提出しない　)　ハードファイルA4版(1部)
(3) 完成図　(※ 提出する　・提出しない　)　A2版、A3版2つ折り製本(各1部)
(※ 提出する　・提出しない　)
(※CADデータ提出の場合には、オリジナルCADデータも提出のこと。)
(※PDFデータとは、CADデータをPDF形式で保存したもの。)
(5) 竣工写真　⊙ 提出する：カラー写真とし、監督職員が承諾する専門のプロカメラマンの撮影による
外観写真:15カット　内観写真:30カット
⊙ 写真データ:主カット 4094 pixel×2894 pixel　その他 2894 pixel × 2040 pixel 以上の TIFFデータ
⊙ 写真リストデータ

⑱ 完成図(施工図及び施工計画書を除く)

第1編(総則)1.8.4[完成図その他]によるほか、下記による
(1) 種類及び記入内容

種類	記入内容

⑲ 設計CADデータ貸与

※ 有　・無

① 一般共通事項

⑳ 工事検査

提出写真
工事検査に際し、下記により写真を監督員に提出する。

	着工前	工事中	竣工	部数
既済検査	○	○		1部
竣工検査(既済後)	○	○ (○)	○ (○)	1部 (1部)

※ 上記以外の必要写真は、監督員の指示による。
※ 撮影は福島県土木部制定「建築設備工事写真管理基準」による。

㉑ 建設工事使用機械等

※ 建設工事による排出ガス対策型建設機械を使用すること。
※ 建設工事に伴う騒音振動対策技術指針に基づき、低騒音型建設機械を使用すること。
※ 建設機械等のアイドリングストップを実施し、その点検を行うこと。

㉒ 設計GL

※ 図示による。　BM±（　　）

㉓ 既存部分等への処置

工事施工に際し、既存部分を汚染又は損傷した場合は監督員に報告するとともに承諾を受けて現状に準じて補修すること。

㉔ 他工事との取合い

工事区分　別表－1 による。
施工図　設備機器の設置、取合いなどが検討できる施工図を提出し、監督員の承諾を受けること。

㉕ 建築材料 設備機器等

ホルムアルデヒド放散量　※ F☆☆☆☆
本工事に使用する建築材料、設備機器等は、設計図書に規定するもの又はこれらと同等のものとすること。また、再生資源利用できるものを積極的に使用すること。

㉖ 電気工事士

電気工事士法の適用除外となっている最大電力500kw以上の需要設備の工事においても、第1種電気工事士により施工を行う。

㉗ 火災保険等

(1) 火災保険　※ 適用する　(※ 保険期間:工期＋14日　・適用しない　)
※ 加入時期　(・躯体及び建方完了時　⊙ 着手日(現場施工に着手する日))
(2) 法定外の労災保険の付保
※ 本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

㉘ 官公庁への 届手続き等

関係官庁、電力会社等への手続きは、すべて受注者がこれを代行し、これに要する費用は受注者の負担とする。
ただし、特記ある事項は別途とする。

㉙ 概成工期

⊙ 総合試運転調整を行う期間を設けること。
調整期間は、(⊙ 契約工期末の　30　日 間　・(　　))
⊙ 設備への電源供給開始時期は下記のとおりとする。なお、本受電後の電力基本料金は、　2　ヶ月分とする。
① 供給開始時期　(⊙ 契約工期末の　45　日前　・(　　))
② 供給対象設備　(⊙ 熱源機器類　⊙ 空気調和設備機器類　⊙ ポンプ類　⊙ 自動制御設備類)
(・(　　)　・(　　))
(・(　　)　⊙ 工事等受注者間での調整による)

㉚ BELS申請書作成及び申請手続き

⊙ 実施工程表に、次の該当する項目を明記すること。(⊙躯体工期・⊙受電日・⊙総合試運転調整に要する工程)
(1) 建築物省エネルギー性能表示制度(BELS)の申請書作成及び申請手続き　・行う　⊙ 行わない
(2) ※ 分離発注の場合は、※ 建築　・(　　)工事受注者が、申請書作成及び手続き業務を行う。
(3) 分離発注の場合は、申請書作成者へ申請に必要な書類を提出すること。
(4) 建築物にBELS表示を行う。
※ BELS表示は、申請書作成及び手続きを行う受注者が行う。
表示は、(　材質:　　)(　サイズ:　　)とする。

㉛ 週休2日促進工事

※ 本工事の発注方式は、発注者指定型である。
⊙ 週休2日促進工事　(月単位)
・週休2日交替制促進工事　(月単位)
・完全週休2日促進工事

32 入札時積算数量書活用方式

※ 本工事は「入札時積算数量書活用方式」の対象工事である。
本方式では、入札用において発注者が入札時積算数量書を示し、入札参加者が入札時積算数量書に記載された積算数量を活用して入札に参加する場合において、工事請負契約の締結後に生じた当該積算数量の増減について、発注者及び受注者は、入札時積算数量書に基づき、積算数量に関する協議を行うことができる。

㉝ 情報共有システム

※ 建築関係工事共通仕様書(県:第1編 1.1.25)による。

34 遠隔臨場

※ 建築関係工事共通仕様書(県:第1編 1.1.26)による。

35 建設キャリアアップシステム(CCUS)

(1) 本工事は、「福島県土木部発注工事等における建設キャリアアップシステム活用工事実施要領」の対象工事である。
(2) 受注者は実施要領に定める事項について遵守しなければならない。

㉟ その他

本工事の施工にあたって資機材及び労働者の調達に時間を要することが判明し、受注者から協議があった場合は、
工事の一時中止及び工期の変更について検討し、決定するものとする。

2 仮設工事

① 仮囲い

⊙ 波形鉄板　※ 万能板塀　・単管+シート張り
・キャスターゲート　・シートゲート　・(　　)

② 危険防止

※ シート張り　・金アミ　・(　　)

③ 足場

⊙ 本工事（　※ 内部足場　※ 外部足場　⊙ 基礎足場　・コンクリート打設足場　）
なお、本工事で設置した足場、桟橋、作業構台の類は、無償で別契約の関係受注者等に使用させること。

・別途　(別契約の関係受注者が設置した足場、桟橋、作業構台の類は、無償で使用できる。)

足場を設ける場合は、「「手すり先行工法に関するガイドライン」について(厚生労働省 基発第0424001号平成21年4月24日)の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」により行うこと。

「手すり先行工法」の足場とは、全層に二段手すりとつま先板(幅木)のある足場をいう。
受注者は、工事着手前に足場の種類及び設置方法等について、監督員と協議すること。

④ 工事用水

構内既存の施設　・利用できる　(・有償　・無償)　※ 利用できない

⑤ 工事用電力

構内既存の施設　・利用できる　(・有償　・無償)　※ 利用できない

6 工事用進入路

・仮設道路造成　・(　　)

⑦ ベンチマーク

設置方法　※ コンクリート杭　・固定物　・(　　)

⑧ 交通誘導警備員

※ 置く（　適宜　）　・置かない　・置く期間（　　）
指定路線　※ 該当無　・該当有　[県:第1編 1.2.13]

⑨ 仮設備関係

仮設備の設置条件
使用期間及び借地条件　※ 図面による　・その他（　　）・別途協議
転用回数（　　）回
費用　・有り　(図面による)　※ 無し
仮設物の構造及び施工方法の指定
構造及び設計条件　※ 図面による　・その他（　　）・別途協議
施工方法（　　）
その他（　　）

3 土工事

① 埋戻し及び盛土

種別　・A種　※ B種　・C種　・D種　(3.2.3)(表3.2.1)

② 建設発生土の処理

※ 構外指示の場所　(3.2.5)
搬出先の名称　(南相馬市管理敷地)
搬出先の所在地　(南相馬 ㊐ 碧　小高 区 町・村　大字　岡田　字　上川原田　地内)
搬出先での処置　(・敷きならし　※ たい積)
運搬距離　(11.8)km
なお、受注後、搬出や搬出費用に変更の必要が生じた場合は、協議により変更すること。
協議時には、変更する搬出先が都市計画法(開発許可)、森林法(林地開発)、砂防法、急傾斜地崩壊防止法および盛土規制法(改正宅地造成等規制法)などの諸法令違反ではないことのわかる資料を監督員に提出すること。
搬出後は、最終形状、数量計算書、写真及び運搬距離等の資料を監督員に提出すること。
・構内指示の場所　(・敷きならし　・たい積)
※ 受注者は、建設発生土処理にあたり 第1編[建築工事]1.4.2[施工計画書]の記載内容に加えて、以下の事項を施工計画書に記載しなければならない。
(1) 処理方法(場所・形状等)　(2) 排水計画　(3) 場内維持等
※ 受注者は、建設発生土受入地ごとの特定条件に応じて施工しなければならない。
※ 受注者は、雨水の排水処理等を含めて、搬入土砂の周囲への流出防止対策を講じなければならない。

株式会社 佐藤総合計画	工事名称	南相馬市新庁舎建設建築主体工事	一級建築士事務所　登録番号　宮城県知事登録　第22210181号 建設コンサルタント　登録番号　建01第843号
	図面名称	福島県建築関係工事特記仕様書	担当 一級建築士第315658号　飯柴耕一
	設計番号	04632-010	作成日　－
	縮尺	A1　N/S A3　N/S	構造関係規定に適合することを確認した 一級建築士　第306020号 構造設計一級建築士　第5334号 権堀　遠司
	設備関係規定に適合することを確認した 一級建築士　第359849号 設備設計一級建築士　第4606号　渡邊　尊	担当 一級建築士第323340号　高橋英雄 一級建築士第374585号　古川侑葉	図面番号 G-001
			通し番号

1 地業工事

1 支持地盤

・杭基礎 (4.3.4～5)(4.5.4～5)
支持地盤の種類及び位置(基礎ぐいの先端の位置含む)
・図示による ・( )

・直接基礎
支持地盤の種類及び位置(基礎底部の位置含む)
・図示による ・( )
長期設計支持力度
・( ) kN/m2 ・( )

・地盤の載荷試験 (4.2.4)
・行う
試験の位置、方法等は図示による

2 既製コンクリート杭地業

種類 (4.3.3)
・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭(PHC杭)
・外殻鋼管付きコンクリート杭(SC杭)
SC杭の鋼管材料 ・SKK400 ・SKK490
・プレストレスト鉄筋コンクリート杭(PRC杭)
・( )

試験掘
・あり 孔径はオーガー径とする 位置等は図示による
試験掘の施工は試験杭の施工に先立ち行う
・なし

寸法、継手、性能等(種別:種類、性能及び曲げ強度区分) (4.2.2)(4.3.3)

		種類	杭径(mm)	杭長(mm)	継手数	長期設計支持力(kN/本)	備考
試験杭	上杭 中杭 下杭						
本杭	上杭 中杭 下杭						

試験杭の施工 ※ ・( ) (4.2.2)
試験杭の位置、本数 ※ 最初の一本 ・図示による

杭先端部形状 (4.3.3)
・開放形 ・半開放形 ・閉そく形 ・( )

施工方法 (4.3.3～5)
・セメントミルク工法 (4.3.4)
アースオーガーの支持地盤への掘削深さ
・1.5m程度 ・( )
杭の支持地盤への根入れ深さ
・1.0m以上 ・( )
杭の精度
水平方向の位置ずれ ・杭径の1／4かつ100mm以下 ・( )
杭の傾斜 ・1／100以内 ・( )
・特定埋込杭工法 (4.3.5)
・プレボーリング拡大根固め工法
・中掘り拡大根固め工法
・( )

構造図による

工法
・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式で
α＝250を採用できる工法 図示による
・上記以外の特定埋込杭工法 図示による
杭周固定液
・使用する ・使用しない

杭の精度
水平方向の位置ずれ ・杭径の1／4かつ100mm以下 ・( )
杭の傾斜 ・1／100以内 ・( )
杭継手工法
・溶接継手
標仕 4.3.6による
溶接材料
・標仕 7.2.5(1)(2)による ・標仕 7.2.5(1)(2)以外( )
・機械式継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの)
工法 ※ 審査(評定又は大臣認定)を受けた工法
・( )
検査 ※ 審査(評定又は大臣認定)により定められた項目
・( )
施工 ※ 審査(評定又は大臣認定)された施工管理基準による
・( )
杭頭処理
※〔県:第2編 4.3.8〕による ・( )
杭頭補強用コンクリート型枠
※ 鋼製型枠 ・( )
杭頭補強
※〔県:第2編 図4.3.1～4.3.2〕による ・図示による

3. 鋼杭地業

寸法、継手、性能等 (4.2.2)(4.4.3)

		種類	杭径(mm)	杭長(mm)	継手数	長期設計支持力(kN/本)	備考
試験杭	上杭 中杭 下杭						
本杭	上杭 中杭 下杭						

1 地業工事

試験杭 (4.2.2)
試験杭の位置、本数及び寸法
・図示による

杭の材料 (4.4.3)
・図示による

溶接材料
・標準仕様書7.2.5による

施工方法
・標準仕様書4.3.5による

杭の精度 (4.4.4)
・水平方向の位置ずれ
・杭経の1/4以内かつ100mm以下
・杭の傾斜
・1/100以内 ・評定条件又は設定条件による

杭の現場継手 (4.4.5)
・溶接継手 (4.4.3)(7.2.5)
形状
・JIS A 5525による
溶接材料
・標仕 7.2.5(1)(2)による ・図示による
溶接部の確認方法
・標仕 7.6.10による
抜き取り率
・全数
・機械式継手(継手部に接続金具を用いた方式のもの)
工法
※ 審査(評定又は大臣認定)を受けた工法
検査
※ 審査(評定又は大臣認定)により定められた項目
施工
※ 審査(評定又は大臣認定)された施工管理基準による

杭頭の処理(切断方法) (4.4.6)
・処理しない(切断しない)
・処理する
処理方法(切断及び補強方法)
・図示による

杭頭の中詰め材料
・基礎のコンクリートと同調合のもの

構造図による

杭径、長さ、仕様等
・図示による ・( )

材料その他
帯筋 ・図示による
鉄筋の最小かぶり厚さ ・図示による
セメントの種類
※ 高炉セメントB種 ・( ) (4.5.4)(6.3.1)
コンクリートの種別 (4.5.4)(表4.5.1)
・A種 ・B種
・審査(評定又は大臣認定)された内容による
コンクリートの設計基準強度 ( ) N/mm2 (4.5.4～6)
スランプ
※ 21 cm ・( ) cm
構造体強度補正値(S) (4.5.4)
・3N/mm2
・審査(評定又は大臣認定)された内容による
・( )

4 場所打ちコンクリート杭地業

掘削工法 (4.5.1)(4.5.5～6)
・アースドリル工法
安定液 ・使用する ・使用しない
・リバース工法
・オールケーシング工法
孔内の水張り ・行う ・行わない

併用する工法
・場所打ち鋼管コンクリート杭工法 図示による
鋼管巻き材料 ・SKK400 ・SKK490 ・ ・( )
・拡底杭工法 図示による
安定液 ・使用する ・使用しない
・( )

試験杭 (4.2.2)(4.5.5～6)
試験杭の施工 ※ 本杭の施工に先立ち行う ・( )
試験杭の位置、本数 ※ 最初の一本 ・図示による

孔壁測定 (4.5.5～6)
・行う
測定方法、測定箇所は図示による
・行わない

杭の精度
水平方向の位置ずれ ・100mm以下 ・( )
杭の傾斜 ・1／200以内 ・( )

工法
・深層混合処理工法 (4.7.1～4)
機械撹拌方式とする
適用範囲、仕様及び計測、試験は図示による
長期設計支持力 ・( ) kN/m2 ・( )

・浅層混合処理工法 (4.8.1～4)
原位置混合方式とする
適用範囲、仕様及び計測、試験は図示による
長期設計支持力 ・( ) kN/m2 ・( )

5 地盤改良(セメント系固化材を用いた工法による改良)

6 置換コンクリート地業(ラップルコンクリート地業)

形状、支持地盤、仕様
・図示による

長期設計支持力
・( ) kN/m2 ・( )

セメントの種類 (6.3.1)
・高炉セメントB種 ・( )
コンクリートの設計基準強度 ( ) N/mm2
構造体強度補正値(S) ( ) N/mm2

1 地業工事

7 液状化対策

工法 ・( )
仕様、範囲、計測、試験等 ・図示による

8 砂利地業

材料 (4.6.2)
※ 再生クラッシャラン ・切込砂利及び切込砕石

厚さ、幅及び使用範囲 (4.6.3)

地業	幅(mm)	厚さ(mm)
割り石	フーチング各外面より＋150	・150 ・( )
砂利(砕石)	フーチング各外面より＋150	・60 ・150

9 捨てコンクリート

コンクリートの仕様 (4.6.4)(6.14.1～3)
※ 無筋コンクリートによる ・( ) (6.14.1～3)

構造図による

セメントの種類
・高炉セメントB種 ・( ) (6.3.2)

厚さ、幅及び使用範囲 (4.6.4)

部位	幅(mm)	厚さ(mm)
基礎	フーチング各外面より＋100	※ 50 ・( )
地中ばり	フーチング各外面より＋100	※ 50 ・( )

10 床下防湿層

施工範囲 (4.6.5)
・建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下(ピット下を除く)
・( )

材料
・ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上
・( )

防湿層の位置
・図示による ( )

2 鉄筋工事

1 鉄筋の種類

鉄筋の種類 (5.2.1)(表5.2.1)

種類の記号	呼び名(mm)	備考
・SD295	・D10 ・D13 ・D16 ・( )	
・SD345	・D10 ・D13 ・D16 ・( )	
・		
・		

2 溶接金網

形状等 (5.2.2)

種類	種類の記号	網目の形状、寸法、鉄線の経(mm)	使用部位
・溶接金網			
・鉄筋格子			

3 鉄筋の継手

継手方法等 (5.3.4)(5.5.2)

部位	継手方法	呼び名(mm)
柱、梁の主筋	※ ガス圧接 ・機械式継手	
耐力壁の鉄筋	※ 重ね継手 ・	
その他の鉄筋( )	※ 重ね継手 ・	

主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ (5.3.4)
※ 図示による

継手位置図
※ 図示による

鉄筋の定着方法 (5.3.4)
※ 図示による

4 鉄筋の定着の方法及び長さ

鉄筋の定着長さ (5.3.4)
※ 図示による ・( )

5 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔(溶接金網含む)

最小かぶり厚さ(目地底から算出を行う) (5.3.5)
※ 図示による ・( )

柱及び梁の主筋にD29以上の使用の有無
・有り 適用箇所 ( )
最小かぶり厚さ
・鉄筋径の1.5倍以上
・( )
・無し

構造図による

軽量コンクリートで土に接する部分
・無し
・有り 適用箇所 ( )
・図示による
・( )

耐久性上不利な部分(塩害等を受けるおそれのある部分等)
・無し
・有り 適用箇所 ( )
・図示による
・( )

鉄筋相互のあき(特殊な鉄筋を除く) (5.3.5)(図5.3.6)
・図示による
・( )

6 特殊な鉄筋継手

・機械式継手
使用箇所 (5.5.2)
※ 図示による ・( )
性能(H12建告第1463号に適合するもの) (5.5.2)
・A級 ・( )
機械式継手の種類 ( ) (5.5.2)
鉄筋相互のあき (5.3.5)
・図示による ・( )
品質の確認方法 (5.5.5)
・図示による ・( )
不良となった継手の修正方法等 (5.5.6)
・図示による ・( )

・溶接継手
使用箇所
※ 図示による ・( ) (5.6.3)
性能(H12建告第1463号に適合するもの)
・A級 ・( )
溶接継手の工法 ( ) (5.6.3)
鉄筋相互のあき (5.3.5)
※ 図示による ・( )
品質の確認方法 (5.6.5)
※ 図示による ・( )
不良となった継手の修正方法等 (5.6.6)
※ 図示による ・( )

株式会社 佐藤総合計画

工事名称	南相馬市新庁舎建設建築主体工事	一級建築士事務所 登録番号 宮城県知事登録 第22210181号 建設コンサルタント 登録番号 建01第843号	種別 G-002
図面名	建築関係工事特記仕様書（１）	総括 一級建築士第315658号 飯柴耕一 担当 一級建築士第323340号 高橋英雄 一級建築士第374585号 古川悄慧	通し番号
設計番号 04632-010	作成日 －	縮尺 A1 N/S A3 N/S	構造関係規定に適合することを確認した 一級建築士 第306020号 構造設計一級建築士 第5334号 椎堀 進司 設備関係規定に適合することを確認した 一級建築士 第359849号 設備設計一級建築士 第4806号 渡邊 森

2 鉄筋工事

7 各部配筋

各部配筋 (5.3.7)
※ 図示による ・( )

8 圧接完了後の試験

外観試験 (5.4.10)
※ 行う(全数)
抜取試験
※ 超音波探傷試験 ・引張試験

9 帯筋

組立の形の種別 ※ 図示による

10 最上階柱頭補強

補強方法 ※ 図示による

11 片持ちスラブの出隅部の補強配筋(出隅受け部分の補強筋を含む)

配筋方法 ※ 図示による

出隅部分及び出隅受け部の補強筋 ※ 図示による

12 壁開口部の補強

一般壁 ※ 図示による
耐震壁 ※ 図示による

13 梁貫通孔の補強

補強形式 ※ 図示による
配筋種別 ※ 図示による
梁貫通孔径(部材記号含む)及び配筋種別リスト ※ 図示による

14 基礎梁主筋の継手

※ 図示による

15 機械吊上げ用フック

種別 ※ 図示による

3 コンクリート工事

1 レディーミクストコンクリートの類別

類別 (6.2.1)(表6.2.1)
※Ⅰ類 ・Ⅱ類

2 コンクリートの種類 強度及び材料

(6.2.1～6.3.1)(表6.2.2、表6.2.3、表6.3.1)

部位	コンクリート種別	強度 Fc	スランプ	セメント種類
・杭	・普通 ・軽量	・18 ・21 ・24 ・その他( )	・15 ・18	・普通ポルトランド ・高炉B種 ・その他 ( )
・基礎、地中梁	・普通 ・軽量	・18 ・21 ・24 ・その他( )	・15 ・18	・普通ポルトランド ・高炉B種 ・その他 ( )
・基礎スラブ	・普通 ・軽量	・18 ・21 ・24 ・その他( )	・15 ・18	・普通ポルトランド ・高炉B種 ・その他 ( )
・柱、梁	・普通 ・軽量	・18 ・21 ・24 ・その他( )	・15 ・18	・普通ポルトランド ・高炉B種 ・その他 ( )
・床スラブ、壁	・普通 ・軽量	・18 ・21 ・24 ・その他( )	・15 ・18	・普通ポルトランド ・高炉B種 ・その他 ( )
・土間、捨てコン	・普通 ・軽量	・18 ・21 ・24 ・その他( )	・15 ・18	・普通ポルトランド ・高炉B種 ・その他 ( )
・その他( )	・普通 ・軽量	・18 ・21 ・24 ・その他( )	・15 ・18	・普通ポルトランド ・高炉B種 ・その他 ( )

普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする。

セメント種類の「その他」は標仕 6.3.1(1)による。

4 骨材

アルカリシリカ反応性による区分 (6.3.1)
※A ・B

構造図による

5 軽量コンクリート

種類 (6.10.1)(表6.10.1)
・1種 ・2種

6 無筋コンクリート

適用箇所 (6.14.1)
・標仕 6.14.1(4)による箇所
・標仕 6.14.1(4)以外の箇所
・図示による ・( )

設計基準強度 (6.14.1)
※ 18N/mm2 ・( )

スランプ
※ 15cm又は18cm ・( )

7 ひび割れ誘発目地打設目地

目地寸法 (6.6.4)(6.8.1)(9.7.3)
・標仕 9.7.3による ・図示による

間隔、位置、形状
・図示による ・( )

8 コンクリート仕上り

部材の位置及び断面寸法の許容差の標準値 (6.2.5)(表6.2.3)
・標仕 表6.2.3による ・( )

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ (6.2.5)(6.9.3)(表6.2.4)
※コンクリートの打放し仕上げ種別と適用箇所は図示による

9 打増し厚さ(打放し仕上げ部)

・打放し仕上げ(仕上塗材、塗装等の仕上げを行う部分を含む)の打増し厚さ(外部に面する部分に限る) (6.8.1)
・20mm ・( )
・打放し仕上げ(仕上塗材、塗装等の仕上げを行う部分を含む)の打増し厚さ(内部に面する部分に限る)
・( )
・外壁タイル張りで、MCR工法又は目荒らし(高圧水洗)工法を行う場合は外部側に20mmの打増しを行う

10 型枠

せき板の材料 (6.8.2)
・合板(国産材)
・( )

せき板の厚さ
・12mm ・( )

断熱材の兼用
・行う 適用箇所 ( ) ・行わない

スリーブの材種
※ 標仕 6.8.2(9)(イ)及び表6.8.1による ・( )

11 単位水量の測定

・有り ・無し

12 混和材料

・混和剤
・AE剤 ・AE減水剤 ・高性能AE減水剤 ・防錆剤 ・( )
・混和材
・フライアッシュ (・Ⅰ種 ・Ⅱ種 ・Ⅲ種)
・高炉スラグ微粉末 ・シリカヒューム ・膨張材 ・( )

13 圧縮強度試験

公的機関でコンクリートの材齢28日圧縮強度試験を行う建築物・その部位等

建築物名	部位
	※ 躯体 ・( )

4 鉄骨工事

1 鉄骨製作工場

鉄骨製作工場の加工能力 (7.1.3)
※建築基準法第77条の56に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構(旧(社)全国鐵構工業協会)の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める下記のグレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場

・S ・H ・M ・R ・J グレード以上

・監督員の承諾する工場(標仕 7.1.1 以外の適用範囲に限る。)

2 施工管理技術者

※ 適用する (7.1.3～4)
・適用しない

3 鋼材

材質等 (7.2.1) (表7.2.1)

種類の記号	適用箇所	規格
	※ 図示による ( )	※ JISによる ・大臣認定による ・
	※ 図示による ( )	※ JISによる ・大臣認定による ・

有効細長比(圧縮材に限る) ※ 図示による ・( )

4 高力ボルト

ボルトの区分 (7.2.2)(7.3.2)(7.4.1～9)
※トルシア形高力ボルト
セットの種類 ・2種(S10T) ・( )
・JIS形高力ボルト
セットの種類 ・2種(F10T) ・( )
高力ボルトの径
・図示による ・( )
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・図示による ・( )

すべり係数試験 (7.4.2)
※ 行わない
・行う 試験方法等 ・図示による ・( )

5 普通ボルト

ボルト及びナットの材料 (7.2.3)
・標仕 表7.2.3による ・( )
座金
・標仕 7.2.3(4)による ・( )
ボルトの径
・図示による ・( )
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等 (7.2.3)(7.3.2)
・図示による ・( )

6 溶融亜鉛めっき高力ボルト

セットの種類 (7.2.2)(7.12.3～4)
・1種(F8T相当) ・( )
溶融亜鉛めっき高力ボルトの径
・図示による ・( )
溶融亜鉛めっき高力ボルトのめっき前の孔径 (7.3.8)
※ 審査(評定又は大臣認定)を受けた内容による
・( )
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等
・図示による
・( )
摩擦面の処理
・ブラスト処理(表面粗度50μmRz以上)又はりん酸塩処理
・( )

構造図による

7 アンカーボルト

適用 (7.2.4)(表7.2.3)(7.10.3)
・構造用アンカーボルト
セットの種類 ・JIS B 1220 ABR400
・JIS B 1220 ABR490
・( )
形状、寸法 ・図示による ・( )
・建方用アンカーボルト
材質 ・SS400 ・( )
アンカーボルト及びナットのねじの種類の規格、ねじの等級の規格及び仕上げの程度
・標仕 表7.2.3による
・( )
形状、寸法 ・図示による ・( )

8 溶接材料

溶接材料 (7.2.5)
※ 標仕 7.2.5(1)(2)による。
・標仕 7.2.5(1)(2)以外の溶接材料
材料及び使用箇所 ・図示による ・( )

9 ターンバックル

種類 (7.2.6)
建築用ターンバックル胴 ・割枠式 ・( )
建築用ターンバックルボルト ・羽子板ボルト ・( )
ねじの呼び ・図示による ・( )

10 デッキプレート

材質、形状及び寸法 (7.2.7)

	適用箇所	材質・形状・寸法	備考
・構造床			
・合成スラブ			
・床型枠用			
・			

開口部補強要領(補強筋の定着長さ等を含む。)
・図示による ・( )
デッキプレートを鉄骨部材に溶接する場合の工法(合成スラブ除く) (7.7.8)
・アークスポット溶接又は隅肉溶接 ・( )
デッキプレートを鉄骨部材に溶接する場合の工法(合成スラブ)
・焼抜き栓溶接 ・スタッド ・( )
耐火認定
・有り 耐火時間 ・図示による ・( )
・無し

11 レール及びその付属品

形状及び寸法等
・図示による ・( )

12 スタッド

材質、形状及び寸法 (7.2.8)
※ 頭付きスタッド JIS B 1198 ・( )

呼び名等

呼び名	呼び長さ(mm)	適用箇所
・16		
・19		
・22		

13 柱底均しモルタル

モルタルの種類 (7.2.9)
※ 無収縮モルタル ・( )
無収縮モルタルの材料、調合等
材料、調合等 ※ 標仕 7.2.9(2)による ・( )
品質及び試験方法 ※ 標仕 表7.2.5による ・( )

14 工作図

監督員による現寸検査 ・行わない (7.3.2)
・行う
増築工事等を含め、既存建築物との取り合う箇所がある場合は現場実測の上作成を行う。

4 鉄骨工事

15 鉄骨の製作精度

※ 標仕 7.3.3による (7.3.3)
溶接ずれ及び食い違い
・溶接部はH12建告示1464号第二号イ(1)(2)に規定する仕様を満足すること
・溶接ずれ及び食い違いはH12建告示1464号第二号イ(1)(2)に規定する
ただし書きの計算確認有り。 ・図示による ・( )

16 鉄骨の仮組

仮組を行う範囲 ※ 図示による ・( ) (7.3.10)

確認方法、確認項目 ※ 図示による ・( )

17 溶接技能者の技量付加試験

試験の要領及び試験を要する溶接箇所 (7.6.3)
※ ※ 図示による ・( )

18 溶接接合

開先の形状 ※ 図示による ・( ) (7.6.4)
スカラップの形状 ※ 図示による ・( ) (7.6.7)
鋼製エンドタブの切除する部分 (7.6.7)
・全て
・見え掛り部となる部分
・切除する部分なし
・( )
溶接部の余盛り高さ ・( ) (7.6.7)

構造図による

19 現場溶接の有無

・無し
・有り 適用箇所 ・図示による ・( )

20 入熱、パス間温度 溶接条件

鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件
・図示による ・( )
適用箇所 ・図示による ・( )
・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部

21 溶接部の試験

完全溶込み部の超音波探傷試験 (7.6.12)(表7.6.2～4)
・行わない
※ 行う
・工場溶接の場合
・全数検査
※ 抜取検査

AOQL(%) ※ レベルⅡ ・レベルⅠ

節	全て	・	・
検査水準	第6水準	・	・

・工事現場溶接の場合
・全数検査
※ 計数連続生産型抜取検査
AOQL(%) ※ レベルⅡ ・レベルⅠ

④ 鉄骨工事

㉒ 錆止め塗装

塗料の種別 (7.8.4)(18.3.2)
⊙鉄鋼面の錆止め塗料 標仕 18.3.2 表18.3.2 (※ Az ・Bz ・Cz) 種
屋外
⊙標仕 18.3.2 表18.3.1 (※ As ・Bs) 種
・( )
屋内
⊙標仕 18.3.2 表18.3.1 (※ As ・Bs) 種
・( )
・( )
亜鉛めっき鉄面の錆止め塗料
⊙標仕 18.3.2 表18.3.2 (※ Az ・Bz ・Cz) 種
・( )
鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面(鉄骨に溶接されたものに限る)
⊙標仕 18.3.2 表18.3.1 (※ As ・Bs) 種
・( )
耐火被覆材の接着する面への塗装
・行わない
⊙行う
適用箇所 ・図示による ・( )
塗料の種別 ・標仕 18.3.2 表18.3.1 (※ As ・Bs) 種
・標仕 18.3.2 表18.3.2 (※ Az ・Bz ・Cz) 種

㉓ 耐火被覆

種別 (7.9.2～7)

種 別	材料・工法	適用箇所(部位・部分)
⊙耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール	
	⊙半乾式吹付けロックウール	柱・梁(下記以外)
	・湿式ロックウール	
	・	
	・	
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板	
	・	
・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール	
	・	
・ラス張りモルタル塗り		
⊙耐火塗料	⊙SKタイカコート(エスケー化研)同等品	露出独立柱

材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする。

性能

性能	適用箇所(部位・部分)
・30分耐火	
⊙1時間耐火	柱・梁
・2時間耐火	
・3時間耐火	

24 アンカーボルトの保持及び埋込み工法

建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法 (7.2.4)(7.10.3)(表7.10.1)
種別 ・A種
構造用アンカーボルトの保持及び埋込み工法
※ 適切な鋼製アンカーフレーム等を設置して固定する方法
・図示による ・( )
柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別 (7.10.3)(表7.10.2)
※ 標仕 表7.10.2 (※ A種[モルタル厚さ50] ・B種[モルタル厚さ30]) による

25 軽量形鋼構造

接合部(ボルト接合の場合) (7.11.2)
・普通ボルト接合 ・( )

構造図による

26 溶融亜鉛めっき(耐力上必要な部分)

種別等 (7.12.4)(表14.2.2)

亜鉛めっきの種別	材料	備考
A種	最小板厚6.0mm以上の形鋼、鋼板	
B種	最小板厚3.2mm以上、6.0mm未満の形鋼、鋼板	
C種	普通ボルト・ナット類、アンカーボルト類	
	最小板厚1.6mm以上、3.2mm未満の形鋼、鋼板	

素地ごしらえは、JIS H 8641による
適用箇所 ※ 図示による ・( )

27 梁貫通孔の補強

補強方法 ・補強トラス法
・( )
適用箇所 ※ 図示による ・( )

株式会社 佐藤総合計画

工事名称	南相馬市新庁舎建設建築主体工事	一級建築士事務所 登録番号 宮城県知事登録 第22210181号 建設コンサルタント 登録番号 建01第843号	種別 G-003
図面名	建築関係工事特記仕様書（２）	総括 一級建築士第315658号 飯柴耕一 / 担当 一級建築士第323340号 高橋英雄 一級建築士第374585号 古川侑慧	通し番号
設計番号 04632-010 / 作成日 – / 縮尺 A1 S=1/150 A3 S=1/300		構造関係規定に適合することを確認した 一級建築士 第306020号 構造設計一級建築士 第5334号 権堀 道司 / 設備関係規定に適合することを確認した 一級建築士 第359849号 設備設計一級建築士 第4808号 渡邊 森	

⑤ コンクリートブロック・ALCパネル・押出成形セメント板工事

1 補強コンクリートブロック造

ブロックの種類 (8.2.2～5)

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ	モヂュール呼び寸法 長さ	モヂュール呼び寸法 高さ	化粧の有無	適用箇所	備考
※ 空洞ブロック-16	・120 ※ 150	※ 400 ・	※ 200 ・	※ 無		
・I型枠状ブロック-20				※ 無		
・				※ 無		

各部の配筋　※ 図示による　・(　　)
化粧目地の有無　・無　・有

2 コンクリートブロック帳壁及び塀

ブロックの種類 (8.3.2～3)

断面形状及び圧縮強さによる区分	正味厚さ	モヂュール呼び寸法 長さ	モヂュール呼び寸法 高さ	化粧の有無	(表8.3.1)以外の適用箇所	備考
・空洞ブロック-08	・120 ※ 150	※ 400 ・	※ 200 ・	※ 無　・有		
・空洞ブロック-16	・120 ※ 150	※ 400 ・	※ 200 ・	※ 無　・有		
・						

各部の配筋　※ 図示による　・(　　)
化粧目地の有無　・無　・有

3 ALCパネル

(8.4.2～5)

パネルの種類	単位荷重(N/㎡)	厚さ	幅	耐火性能	表面加工	構造の種別
・外壁パネル		・100 ・		・30分 ・1時間 ・2時間	・平 ・意匠	・A種　・B種
・間仕切壁パネル		・100 ・		・30分 ・1時間 ・2時間	・平 ・意匠	・C種　・D種 ~~・E種~~
・屋根パネル		・100 ・		・30分 ・1時間 ・2時間	・平	F種
・床パネル		・100 ・		・30分 ・1時間 ・2時間		

耐風圧性能　(　　)
耐震性能　(　　)
パネル幅の最小限度　※ 300mm　・300mm未満とする場合　(　　)
パネル短辺小口相互の接合部の伸縮目地幅　※ 10～20mm　・(　　)
外壁パネルの出隅及び入隅のパネル接合部、並びにパネルと他部材との取り合い部の
目地幅(mm)　※ 10～20　・(　　)
伸縮目地への耐火目地材の充填　・適用する　・適用しない

④ 押出成形セメント板(ECP)

アスロックNeo(ノザワ)同等仕様とする (8.5.2～5)

パネルの種類	表面形状	厚さ	幅	工法の種別	耐火性能
⊙外壁パネル	⊙F　・F-R ・D　・D-R ・T　・T-R	・50 ⊙60 ・100	・450 ⊙600 ・	⊙A種 ・B種	・30分 ⊙1時間 ・2時間
・間仕切壁パネル	・　・	・50 ・60 ・100	・450 ・600 ・	・B種 ・C種	・30分 ・1時間 ・2時間

耐風圧性能　(　　)
耐震性能　(　　)
大臣認定以外の目地及び隙間の処理　※ パネル製造所の仕様　・(　　)
パネル幅の最小限度　※ 300mm　・300mm未満とする場合　(　　)
パネルの相互の目地幅(mm)　※ 900mm以下の場合　長辺10以上　短辺15以上
・900mmを超える場合　長辺15以上　短辺15以上
・(　　)
出隅及び入隅のパネル接合目地の目地幅(mm)　※ 15　・(　　)
やむを得ず欠き込み等を行う場合は、下表の寸法を限度とする。ただし、欠損部分を
考慮した強度を確認のうえ、施工計画書を提出する。

			開口の大きさ	切断後のパネルの残り部分の幅
パネルに開口を設ける場合	短辺	⊙パネル幅の1/2以下かつ300mm以下	⊙150mm以上　・図示	
	長辺	⊙500mm以下	⊙300mm以上　・図示	
パネルを切り欠く場合	短辺	⊙パネル幅の1/2以下かつ300mm以下	⊙300mm以上　・図示	
	長辺	⊙500mm以下	⊙300mm以上　・図示	

⑥ 防水工事

① アスファルト防水

屋根保護防水
防水層の種別 (9.2.2～5)(表9.2.3～9)

種別	工程※	施工箇所	断熱材	絶縁用シート	立上り部の保護
・A－1	－			※ ﾎﾘｽﾁﾚﾝﾌｨﾙﾑ 厚さ0.15mm以上 ・(　　)	・乾式保護材
・A－2	－				
・A－3	－				
・B－1	① ②				・コンクリート押え
・B－2	① ②				・セメントれんが
⊙AI－1	－	図示	(材質) ※ JIS A 9511によるA種押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材の保温板3種b(ｽｷﾝあり) ・(　　)	※ ﾌﾗｯﾄﾔｰﾝｸﾛｽ 70g/㎡程度 ・(　　)	
・AI－2	－				
・AI－3	－				
・BI－1	① ②				
・BI－2	① ②		(厚さ) ※ 25mm　・50mm　・(　　)		

工程※：① 部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートを用いる場合
② 砂付あなあきルーフィングを用いる場合

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 標仕　表9.2.3～表9.2.8による　・(　　)
部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 標仕　表9.2.5～表9.2.8による　・(　　)

平場の保護コンクリートの厚さ
こて仕上げ　※ 水下 80mm以上　・(　　)
床タイル張り　※ 水下 60mm以上　・(　　)
・乾式保護材
窯業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレーブ養生したもの

屋根露出防水防水層の種別

種別	工程※	施工箇所	断熱材	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	備考
・D－1	① ②			・ ・製造所の指定による	・ ・製造所の指定による	
・D－2	① ②					
・DI－1			(材質) ※JIS A 9511によるA種硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規定に適合するもの (厚さ)※25mm・			
・DI－2						

屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置　※ 図示による　・(　　)

⑥ 防水工事

2 改質アスファルトシート防水

防水層の種別

種別	施工箇所	種別	施工箇所
・E－1		・E－2	

保護層　・設ける　(※ 図示による　・　　)　・設けない

防水層の下地、立上りコンクリート打放し仕上げ
※ 標仕　表6.2.4[打放し仕上げ種別]のB種　・(　　)　・使用量(　　)
押え金物の材質及び形状
※ アルミニウム製 L－30×15×2.0mm程度　・(　　)
防水層の下地のモルタル塗り　・適用する　(施工範囲　・図示による　・　　)
・適用しない
屋根排水溝　※ 図示による　・(　　)

防水層の種別 (9.3.2～4)(表9.3.1～3)

種別	施工箇所	断熱材	防湿層	備考
・AS-T1				
・AS-T2				
・AS-T3				
・AS-T4				
・AS-J1				
・ASI-T1		(材質)※JIS A 9521によるA種硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規定に適合するもの ・ (厚さ)※25mm・	・設ける (改質アスファルト製造所の仕様による) ・設けない	
・ASI-J1				

仕上塗料　※ カラー　・シルバー
改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標仕　表9.3.1～表9.3.3による　・(　　)
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標仕　表9.3.1～表9.3.3による　・(　　)
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
※ 標仕　表9.3.1～表9.3.3による　・(　　)
押え金物
※ 改質アスファルト製造所の仕様による　・(　　)

③ 合成高分子系ルーフィングシート防水

(9.4.2～4)(表9.4.1～2)

種別	施工箇所	可塑剤移行防止用シートの材質	断熱材	仕上塗料	備考
・S-F1				※ カラー　・シルバー	
・S-F2					
・S-M1				※ カラー　・シルバー	
⊙S-M2	ｷｬﾋﾞｰ				
・SI-F1			(材質)※A種ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材の密度及び熱伝導率の規格に適合するもの ・	※ カラー　・シルバー	
・SI-F2			(厚さ)　※ 25mm ・		
・SI-M1			(材質)※A種硬質ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑ保温材の保温板2種1号又は2号で透湿係数を除く規定に適合するもの又はA種押出法ﾎﾟﾘｽﾁﾚﾝﾌｫｰﾑ保温材の保温板	※ カラー　・シルバー	
⊙SI-M2	庁舎棟 屋根全般	※ 発砲ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝシート ・	・ (厚さ)　※ 65mm ・		
・S-C1					

歩行　⊙軽歩行　・非歩行
ルーフィングシートの種類及び厚さ
※ 標仕　表9.4.1～表9.4.2による　・(　　)
固定金具の材質及び寸法形状
⊙ 標仕　9.4.2(3)(ｲ)による　・(　　)
仕上塗料の種類及び使用量
・図示による
防水下地かPCコンクリート部材下地の場合の処理
目地処理　※ 図示による　・(　　)
入隅部の増張り(S－F1、SI－F1の場合)　※ 図示による　・(　　)

④ 塗膜防水

防水層の種別 (9.5.2～4)(表9.5.1～2)

種別	施工箇所	仕上塗料	保護層	備考
⊙X-1	庇1, 庇2	※ カラー　・シルバー		
・X-2		※ カラー　・シルバー		
・Y-1	※ 地下外壁防水　・			
・Y-2	※ 屋内防水　・		・保護ｺﾝｸﾘｰﾄ ・保護ﾓﾙﾀﾙ ※ 適用しない	

・超速硬化ウレタン防水
・FRP系塗膜防水
仕上塗料の種類及び使用量　⊙ 図示による

5 ケイ酸質系塗膜防水

防水層の種別 (9.6.2～4)(表9.6.1～2)

種別	施工箇所	種別	施工箇所
※ C－SUI		・C－SUP	

⑥ 脱気装置

(9.2.3)(9.3.3)(9.5.3)

種別	種類	設置数量
D-1 D-2 B-1 DI-1 DI-2 AS-T3 AS-T4 AS-J1 ASI-T1 ASI-J1	※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類製造所の仕様による ・	※ｱｽﾌｧﾙﾄﾙｰﾌｨﾝｸﾞ類製造所の仕様による ・
X-1	※防水層の主材料の製造所の仕様による ・	※防水層の主材料の製造所の仕様による ・

⑦ シーリング

下表以外は、標仕　表 9.7.1による　(9.7.2～5)(表9.7.1)
ただし、外壁タイル接着剤張りの場合のシーリングは11章に、カーテンウォールの場合の
シーリングは17章による

施工箇所	シーリング材の種類(記号)

仕上げ　・あり　・なし
シーリング材の目地寸法　※ 標仕　9.7.3(1)(ｱ)～(ｳ))による　・(　　)

⑧ 保証書の提出

保証書のある場合は提出すること。

9 屋根コンクリート防水

クラック防止溶接用金網　[県:第2編 9.8.2]
※ 3.2*100*100　・(　　)
屋根スラブの配筋　[県:第2編 9.8.3]
・(　　)

⑩ 施工歴標

※ 監督員と表示内容を協議し、指示の位置に取り付ける　[県:第1編 1.3.7]

7 石工事

1 施工

石材の割付け　※ 標仕　10.1.3(1)(ｱ)～(ｲ)による　・図示による　(10.1.3～5)
粗面仕上げの場合ののみ込み部分の仕上げ　・図示による　・(　　)
屋内の床を本磨きとする場合のワックスがけ　・行う(　適用場所　・すべて　・　　)
・行わない

2 石材等

天然石 (10.2.1～3)(表10.2.1～2)

施工箇所	品質	石材の種類	形状	寸法	厚さ	表面仕上げ	備考
	・1等品 ・2等品		※ 短形0.8㎡/枚 ・	・図示		・粗磨き ・本磨き	
	・1等品 ・2等品		※ 短形0.8㎡/枚 ・	・図示			

テラゾブロック

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	形状	仕上げ面	寸法	表面仕上げ	備考
	※ 大理石 ・花こう岩	※ 1.5～12 ・	・平もの ・役もの	・片面 ・両面	・図示		
	※ 大理石 ・花こう岩	※ 1.5～12 ・	・平もの ・役もの	・片面 ・両面	・図示		

テラゾタイル

施工箇所	種石の種類	種石の大きさ(mm)	寸法による区分	表面仕上げ	備考
	※ 大理石 ・花こう岩	※ 1.5～12 ・	・300型 ・400型		
	※ 大理石 ・花こう岩	※ 1.5～12 ・	・300型 ・400型		

取り付用モルタル、既調合の目地モルタル、浸透性吸水防止材、石裏面処理材、裏打ち処理材
※ 専門工事業者の指定する製品　・(　　)
※ 流し筋工法　・あと施工アンカー工法　・あと施工アンカー　・横筋横流し工法

3 外壁湿式工法

石裏面処理　・適用する　・適用しない　(10.2.2～3)(10.3.2～3)
裏打ち処理　・適用する　・適用しない
下地ごしらえ　※ あと施工アンカー　・横筋横流し工法　・流し筋工法　・あと施工アンカー工法
受金物
材質　・(　　)
形状及び寸法　・(　　)
ドレインパイプの材質　・樹脂ネット製パイプ クロスメッシュ巻き 25～35φ
・(　　)
アンカーの材質及び径　※ SS400 M12　・(　　)
あと施工アンカーの材質及び寸法　・(　　)
目地
一般目地　目地幅(mm)　※ 6～10　・(　　)
シーリング材　・適用する　・適用しない
伸縮調整目地
位置　※ (11.1.3)による　・図示による
シーリング材の目地寸法　※ (9.7.3[目地寸法](1)(ｳ))による　・図示による

4 内壁空積工法

受金物 (10.2.2)(10.4.2～3)
材質　・(　　)
形状及び寸法　・(　　)
石裏面処理　・適用する　・適用しない
裏打ち処理　・適用する　・適用しない
下地ごしらえ　※あと施工アンカー　・横筋流し工法　・あと施工アンカー工法
アンカーの材質及び径　※ SS400 M12　・(　　)
あと施工アンカーの材質及び寸法　・(　　)
目地
一般目地　目地幅(mm)　※ 6～10　・(　　)
シーリング材　・適用する　・適用しない
伸縮調整目地　※ 6mごと　・図示による
位置
シーリング材の目地寸法　※ (9.7.3[目地寸法](1)(ｳ))による　・図示による
外壁乾式工法の方式による金物の種類、形状、寸法等
・(　　)

5 外壁乾式工法

取付け方式　・スライド方式　・ロッキング方式　(10.2.2)(10.5.2～3)(表10.2.4)
裏打ち処理　・適用する　・適用しない
だぼ用の穴の位置　※ 標仕　10.5.2(2)(ｱ)による　・図示による
建築基準法に基づき定まる風圧力に対応した工法
※ 適用する(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1・1.15・1.3)倍
・適用しない　の風圧力に対応した工法)
アンカーの材質及び形状　※ ステンレス(SUS304) M10　・(　　)
あと施工アンカーの材質及び寸法　・(　　)
目地 目地幅(mm)　※ 8以上　・(　　)
シーリング材　・適用する　(※ 標仕　9章8節[シーリング]による　・図示)　・適用しない

6 床及び階段の石張り

床の浸透性吸水防止剤　・適用する　・適用しない　(10.6.2～3)
床の石裏面処理　・適用する　・適用しない
床の裏打ち処理　・適用する　・適用しない
階段の石裏面処理　・適用する　・適用しない
目地
一般目地　目地幅(mm)　・屋外:4mm以上　屋内:3～6mm　・(　　)
シーリング材　・適用する　・適用しない
伸縮調整目地　位置　※ 床面積30㎡程度ごと、細長い通路の場合6m程度ごと及び他の部材と取り合う箇所
・図示による

7 笠木、甲板等の石張り

取付け工法　・湿式工法　・乾式工法　(10.2.2)(10.7.3)
取付け金物　※ 標仕　10.2.2(3)による　・(　　)
引金物、だぼ、かすがい及び受金物　※ 標仕　10.2.2(1)による　・(　　)
石裏面処理　・適用する　・適用しない
乾式工法の場合の取付け代　※ 標仕　10.5.3(2)による　・(　　)
石裏の補強用モルタル　・適用する　・適用しない
アンカーの材質及び径　・ステンレス(SUS304) M10　・(　　)
あと施工アンカーの材質及び寸法　(　　)

8 製造所及び施工業者

監督員の承諾による。

株式会社 佐藤総合計画

工事名称	南相馬市新庁舎建設建築主体工事	一級建築士事務所　登録番号　宮城県知事登録　第22210181号 建設コンサルタント　登録番号　建01第843号	種別 G-004
図面名	建築関係工事特記仕様書（３）	総括 一級建築士第315658号　飯柴耕一 担当 一級建築士第323340号　高橋英雄 一級建築士第374585号　古川情慧	通し番号
設計番号 04632-010	作成日 －	縮尺 A1　N/S　A3　N/S	構造関係規定に適合することを確認した 一級建築士　第306020号 構造設計一級建築士　第5334号 椎堀　進司 設備関係規定に適合することを確認した 一級建築士　第359849号 設備設計一級建築士　第4806号　渡邊　森

⑧ タイル工事

① 伸縮調整目地及び ひび割れ誘発目地

位置　※ 標仕 表11.1.1による　・ 図示による　(11.1.3)(表11.1.1)

② セメントモルタルによる タイル張り

タイルの形状、寸法等　(11.2.2～7)

施工箇所	主な用途による区分(JIS)	形状/寸法	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色			再生材の適用	耐凍害性		滑り抵抗性	備考
			Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	施ゆう	無ゆう	有	無	標準		特注		有	無		
図示	CT(磁器質タイル)	600角	○				○		○	○							

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り　・ 行う　※ 行わない
見本焼き　・ 行う　※ 行わない
モルタル塗りのコンクリート素地面の処理　・ MCR工法　・ 目荒し工法(高圧洗浄)　・(　　)
壁タイル張りの工法
内外装タイル　・ 密着張り　・ 改良圧着張り
ユニットタイル(内装タイル以外)　・ マスク張り　・ モザイクタイル張り
既製調合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
(品質・性能・試験方法)　建築材料等品質性能表による

3 有機系接着剤による タイル張り

タイルの形状、寸法等　(11.3.2～6)

施工箇所	主な用途による区分(JIS)	形状/寸法	吸水率による区分			うわぐすり		役物		色			再生材の適用	耐凍害性		滑り抵抗性	備考
			Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	施ゆう	無ゆう	有	無	標準		特注		有	無		

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り　・ 行う　※ 行わない
見本焼き　・ 行う　※ 行わない
接着剤のホルムアルデヒド放散量　※ F☆☆☆☆　・(　　)
外装タイル接着剤張りにおける目地のシーリング材
打継ぎ目地　※ ポリウレタン系シーリング材　・(　　)
ひび割れ誘発目地　※ ポリウレタン系シーリング材　・(　　)
伸縮調整目地　※ 変成シリコーン系シーリング材　・(　　)
その他の目地　※ 変成シリコーン系シーリング材　・(　　)
モルタル塗りのコンクリート素地面の処理　・ MCR工法　・ 目荒し工法(高圧洗浄)　・(　　)

4 階段滑り止め

※ 磁器製 (　　)　・(　　)

⑨ 木工事

① 製材

JAS1083(製材)に基づく製材　(12.2.1(2))(12.5.1)(12.6.1)(12.7.1)

・ 下地用製材

施工箇所	樹種	寸法	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質	備考
			※ 2級 ・		※ A種 ・ B種 ・			

⊙造作用製材

施工箇所	樹種	寸法	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質	備考
図示	杉	図示	※ 2級 ・		※ A種 ・ B種 ・			県産材

・ 広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法	等級	形状	含水率	保存処理	材面の品質	備考
			※ 1等 ・		※ 10%以下			

・ JAS1083以外の製材

施工箇所	樹種	寸法	造作材の材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率	備考
			(　　) 造作材の場合(※A種・B種)	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	※ A種 ・ B種 ・	・

・ 代用樹種を使用できない箇所　(　　)

② 造作用集成材

JAS1152(集成材)に基づく造作用集成材等　(12.2.1(3))

⊙造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法	見付け材面数	見付け材面の品質	備考
木造作	ナラ	図示		※ 1等　・ 2等	⊙県産材

・ 化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	備考
						※ 1等　・ 2等	・

JAS1152(集成材)以外の造作用集成材等
・ 造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法	見付け材面の品質	含水率	備考
				※ 15%以下　・	・

・ 化粧ばり造作用集成材

施工箇所	化粧薄板の樹種	芯材の樹種	寸法	化粧薄板 の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	備考
						※ 15%以下	・

3 造作用単板積層材

JAS0701(単板積層材)に規定する造作用単板積層材　(12.2.1(4))

施工箇所	寸法	表面の化粧加工	防虫処理	備考
		・ 有り (　加工　・ 天然木加工　・ 塗装加工　) ・ 無し (　等級:　　)	・ 適用する ・ 適用しない	・

「単板積層材の日本農林規格」以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法	表面の化粧加工	防虫処理	含水率
		・ 有り (　加工　・ 天然木加工　・ 塗装加工　) ・ 無し (　等級:　　)	・ 適用する ・ 適用しない	※ 14%以下

4 直交集成板

直交集成板　(12.2.1(5))

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法	備考

⑤ 合板等

下地用合板
⊙普通合板　(12.2.1(6))

施工箇所	厚さ	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防炎処理	備考
図示	※ 5.5 ・	⊙ﾗﾜﾝ ⊙しな ・	※ 1類 ・ 2類	広葉樹 ※2等以上・1等 針葉樹 ※C-D以上 ・	⊙適用する ・適用しない	⊙適用する ⊙適用しない	・適用する ・適用しない	

⊙構造用合板

施工箇所	厚さ	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	等級	防虫処理	強度等級	備考
図示	※ 12 ・		※ 1類 ・ 2類	※ C-D以上 ・	※ 2級以上 ・ 1級	・適用する ⊙適用しない	・適用する ( ) ・適用しない	

化粧ばり構造用合板

施工箇所	厚さ	単板の樹種名	接着の強度	防虫処理	備考
			※ 1類 ・ 特類	・ 適用する ・ 適用しない	

天然木化粧合板

施工箇所	厚さ	化粧板に使用する単板の樹種名	接着の強度	防虫処理	備考
			※ 1類 ・ 2類	・ 適用する ・ 適用しない	

特殊加工化粧合板

施工箇所	厚さ	単板の樹種名	接着の強度	化粧加工の方法	防虫処理	備考
			※ 1類 ・ 2類		・ 適用する ・ 適用しない	

パーティクルボード

施工箇所	厚さ	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分
	※ 15 ・		※ 13タイプ ・	・ 耐水性1(Mタイプ) ・ 耐水性2(Pタイプ)	

構造用パネル (OSBボード)

施工箇所	厚さ	寸法	等級
図示	12mm	図示	・ 1級　⊙ 2級　・ 3級　・ 4級

⑥ 接着剤

接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。　(12.2.2(3) ~~3~~)
ホルムアルデヒドの放散量　※ F☆☆☆☆　・(　　)

⑦ 防腐・防蟻・防虫

⊙防腐、防蟻処理が不要な樹種による製材及び集成材　(12.3.1～2)
適用部位　(木下地　)
・ 薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部位	保存処理性能区分
	・ K2　・ K3　・ K4

・ 薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部位	処理の方法
	※薬剤の製造所の仕様による　・

⑧ 不燃処理木材等

・ ボード原料接着材への薬剤混入による防腐、防蟻処理
適用部位　(　　)
・ 防虫処理
適用部位　(　　)

⊙不燃材料　(　　)
・ 準不燃材料　(　　)
・ 難燃材料　(　　)

10 木造工事

1 軸組構法工事
1) 木材

樹種名、構造材の種類、等級、寸法等
※〔県:第2編 表12-2.3.6〕の規定による
・(　　)
代用樹種を使用しない箇所
・(　　)

2) 工法

用材の工法
※〔県:第2編 表12-2.3.7〕の規定による
・(　　)
・(　　)

軸組の工法
※〔県:第2編 表12-2.3.8〕の規定による
・(　　)

構造用面材
※〔県:第2編 表12-2.3.11～表12-2.3.14〕の規定による
・(　　)
・(　　)
・(　　)

2 大断面集成材工事

製作工場
※ 監督員の承諾する工場

1) 大断面集成材の製作工法

・(　　)

2) 施工管理技術者

施工管理技術者の設置　・ 適用する　・ 適用しない

3) 工作図

床書き原寸図　・ 作成する　・ 作成しない

10 木造工事

4) 大断面集成材

大断面集成材の品質等
強度等級は、次による
構成するひき板の品質等による区分　JASによる強度等級等
・ 対象異等級集成材　・ E135-F375　・ E120-F330　・ E105-F300　・ E95-F270　・ E85-F255　・ E75-F240　・ E65-F225　・ (　　)
・ 非対称異等級集成材　・ E125-F360　・ E110-F315　・ E100-F285　・ E90-F255　・ E30-F240　・ E70-F225　・ E60-F210　・ (　　)
・ 国土交通大臣が認定したもの　・ (　　)
断面の品質　※ 2種　・ 3種
接着性能　・ 使用環境1　・ 使用環境2
樹種　・ べいまつ　・ からまつ　・ すぎ　・(　　)　・(　　)

5) 接合金物等の材質

鋼材の材質
※ SS400　・ SN400A　・(　　)　・(　　)

6) 製作精度

※ 精度基準は次による

部位等	精度基準
短辺	製作図寸法の±1.5mm以内
長辺	製作図寸法の±1.5mm以内、かつ、±5mm以内
材長	工作図寸法の±5mm以内
断面直角精度	直角とのひずみ±1/100mm

7) 表面仕上げ

仕上げの程度　・ A種　※ B種

8) アンカーボルト

材質　※ SS400　・(　　)
寸法　※ 図示　・(　　)
アンカーボルトの保持及び埋込み工法　・ A種　※ B種　・ C種

9) 柱底均し仕上げ

柱底均しモルタルの厚さ　※ 30mm程度　・(　　)
柱底均しモルタルの工法　・ A種　※ B種

10) 普通ボルト

普通ボルトの材料等　※〔県:第2編 表12-2.4.5〕による。　・(　　)
ボルトに用いる座金の寸法及び厚さ
※ 図示及び〔県:第2編 表12-2.4.6〕による。
ボルトが受ける応力の種類
※ 図示による。

11) ボルト孔

ボルト孔の径
※〔県:第2編 表12-2.4.7〕及び〔県:第2編 表12-2.4.8〕による。
・ 集成材の場合　(　　)
・ 集成金物の場合　(　　)

12) ラグスクリュー

ラグスクリューの形状、寸法　※ 図示　・(　　)

13) ドリフトピン

ドリフトピンの形状、寸法等　※ 図示　・(　　)

14) ジベル

ジベルの種類及び材質　種類　(　　)　材質　(　　)
ジベルの形状、寸法等　※ 図示　・(　　)

15) 錆止め塗装

錆止め塗装による防錆処理を行う構造金物及び接合具等
※ 見え掛かりとなるすべての構造金物及び接合具等　・(　　)
錆止め塗装の種類　・ A種　※ B種

16) 亜鉛めっき

亜鉛めっきによる防錆処理を行う材料等
※ すべての構造金物及び接合具等
・(　　)
亜鉛めっきの種類　※ HDZT77　・ HDZT63　・ HDZT49

17) 防火被覆材

防火被覆材　・ 厚さ25mm以上の木材　・ 厚さ15mm以上の強化せっこうボード
・ 厚さ12mm以上のけい酸カルシウム板　・(　　)

18) 防火被覆処理

ボルト、ドリフトピン等の防火被覆処理　・ 行う　・ 行わない

⑪ 屋根及びとい工事

1 長尺金属板葺

(13.2.2～3)

施工箇所	板及びｺｲﾙの種類	塗膜の耐久性の種類	めっき付着量	厚さ	屋根葺形式	備考
	※ JIS G 3322の屋根用コイル(CGLCCR-20-AZ150) ・				・ 心木なし瓦棒葺 ・ 立平葺 ・ 蟻掛葺 ・ 横葺 ・	

下葺材料　・ アスファルトルーフィング 940
・ 改質アスファルトルーフィング下葺材
(・ 一般ﾀｲﾌﾟ　・ 粘着層付ﾀｲﾌﾟ　)
雪止め　※ 設置する(図示)　・ 設置しない

2 折板葺

(13.2.2)(13.3.2～3)(表13.2.1)

施工箇所	形式	山高、山ﾋｯﾁによる区分		耐力による区分	材料による区分	厚さ	軒先面戸板	耐火性能
		山高	山ﾋｯﾁ					
			(　)種	・ 鋼板製 ・ ｱﾙﾐﾆｳﾑ合金板製	・ 鋼板製		・ 有り ・ 無し	・ 30分 ・ 無し

材料 ※JIS G 3322の屋根用コイル(CGLCCR-20-AZ150)
・(　　)
断熱材　・ 有り(種別:　厚さ(mm):　防火性能: 時間)
・ 無し

③ とい

といの材種　(13.5.2～3)(表13.5.1)

種別	材種	径	施工箇所	備考
たてどい	⊙硬質ポリ塩化ビニル管	125φ	図示	
	⊙配管用鋼管 溶融亜鉛メッキ品	80A	図示	
	・ ステンレス鋼管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管(カラー) ・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発砲三層管 □G			SUS304、厚2
	⊙アルミ製既製品	125φ	図示	
軒どい	⊙		図示	

ロックウール保温筒及びフェノールフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量
※ F☆☆☆☆　・(　　)
鋼管製といの防露巻き　・ 適用する(工法:※標仕 表13.5.4による・)
・ 適用しない
とい受金物 ※ステンレス製・鋼製(亜鉛めっき)　(13.5.2)(表13.5.2)

ルーフドレン

種別	施工箇所
⊙ろく屋根用 (⊙縦型　⊙横型)	図示
・ バルコニー用	
・ バルコニー中縦用	

⑫ 金属工事

① あと施工アンカーの確認試験

(14.1.3(1)(エ)) による確認試験を行う。 (14.1.3)

② 鉄鋼の亜鉛めっき (14.2.2)(表14.2.2)

表面処理方法	種別	施工箇所(手すり、タラップ以外)
溶融亜鉛めっき	⊙ A種	図示
	⊙ B種	図示
	・ C種	
	・ D種	
電気亜鉛めっき	・ E種	
	・ F種	

③ 軽量鉄骨天井下地

野縁等の種類 (14.4.2～4)
屋外 (※ 25形 ・ 19形) 屋内 (※ 19形 ・ 25形)
・ 屋外の軒天井、ピロティ天井等
工法
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重に対応した工法
※ 適用する
(建築基準法に基づき定まる風圧力の(・1 ・1.15 ・1.3)
倍の風圧力に対応した工法)
・ 適用しない
野縁受、吊りボルト及びインサートの間隔
※ 900程度 ・ ( )
周辺部の端からの間隔
※ 図示による ・ ( )
野縁の間隔
※ 300程度 ・ ( )
・ 補強 ※ 図示による ・ ( )
⊙ 吊りボルトの間隔が900mmを超える場合
補強方法 ※ 図示による ・ ( )
⊙ 天井のふところが1. 5m以上3. 0m以下の場合
補強方法 ※ 標仕 14.4.4(8)(ア)(イ)による) ・ 図示による
⊙ 天井のふところが3. 0mを超える場合
補強方法 ※ 図示による ・ ( )
⊙ 天井下地材における耐震性を考慮した補強
補強箇所 ※ 図示による ・ ( )
補強方法 ※ 図示による ・ ( )

④ 軽量鉄骨壁下地

スタッド、ランナーの種類 (14.5.3)(表14.5.1)
(表14.5.1)によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ※ 図示による
スタッドの高さが5. 0mを超える場合 ※ 図示による ・ ( )

⑤ 金属成形板張り

材種	⊙ アルミニウム ・ ( )
製法	・ 押出し ・ プレス ⊙ ロール
寸法	板幅 ・ 100 ⊙ (900mm) 板厚 ・ 1. 0 ⊙ (2.0mm)
形状	・ スパンドレル形 ⊙ パネル形
表面処理	・ B－1種 ・ C－1種 ・ ( )
等	⊙ B－2種 ・ C－2種
伸縮調整継手	⊙ 設ける ・ 設けない

⑥ アルミニウム製笠木

部材の種類 ・ 250形 ⊙ 300形 ・ 350形 ・
・ 板折り曲げ形 (本体幅 mm)
板厚(mm) ・ ( )

表面処理 (14.7.2～3)(表14.2.1)
表面処理の種類 ※ 標仕 表14.2.1による ・ ( )
被膜等の種類 ※ 標仕 表14.2.1による ・ ( )
着色 ( )

⑬ 左官工事

1 仕上塗材仕上げ

・ 薄付け仕上塗材 (15.6.2)(表15.6.1)

呼び名	仕上げの形状	工法	
・ 外装薄塗材Si	・ 砂壁状	・ 吹付け	
・ 可とう形外装薄塗材Si	・ ゆず肌状	・ 吹付け	・ ローラー塗り
・ 外装薄塗材E	・ さざ波状	・ ローラー塗り	
・ 可とう形外装薄塗材E	・ 平たん状	・ こて塗り	
・ 防水形外装薄塗材E	・ 凹凸状	・ 吹付け	・ こて塗り
・ 外装薄塗材S	・ 着色骨材砂壁状	・ 吹付け	・ こて塗り
・ 内装薄塗材C	・ 砂壁状じゅらく	・ 吹付け	
・ 内装薄塗材L	・ 京壁状じゅらく	・ 吹付け	
・ 内装薄塗材Si			
・ 内装薄塗材E			
・ 内装薄塗材W			

吸放湿性 ・ 適用する ・ 適用しない

・ 厚付け仕上塗材

呼び名	仕上げの形状	工法	
・ 外装厚塗材C	・ 吹放し	・ 吹付け	
・ 外装厚塗材Si	・ 凸部処理	・ 吹付け	
・ 外装厚塗材E	・ 平たん状	・ こて塗り	・ ローラー塗り
・ 内装厚塗材C	・ 凹凸状	・ こて塗り	・ ローラー塗り
・ 内装厚塗材L	・ ひき起こし	・ こて塗り	・ ローラー塗り
・ 内装厚塗材G	・ かき落とし	・ こて塗り	
・ 内装厚塗材Si			
・ 内装厚塗材E			

・ 複層仕上塗材

呼び名	仕上げの形状等			
・ 複層塗材CE	・ ゆず肌状	・ 凸部処理	・ 凹凸模様	
・ 複層塗材RE				
・ 複層塗材Si	上塗り材			
・ 複層塗材E	耐候性	※ 耐候形3種	・ ( )	
・ 可とう形複層塗材CE	溶媒	※ 水系	・ 溶剤系	・ 弱溶剤系
・ 防水形複層塗材CE	樹脂	※ アクリル系	・ ( )	
・ 防水形複層塗材RE	外観	※ つやあり	・ つやなし	・ メタリック
・ 防水形複層塗材E	増量材	・ 適用する	・ 適用しない	

・ 軽量骨材仕上塗材

呼び名	防火材料	仕上げの形状等
・ 吹付用軽量塗材	・	
・ こて塗用軽量塗材	・	

2 ALCパネルの場合の下地処理

内壁目地部の形状 ※ V形目地付き ・ ( ) (15.6.4)

3 マスチック塗料塗り

種別 ・ A種 ・ B種 (仕上材塗り:EP－G ※B種 ・A種) (15.7.2)(表15.7.1)

④ ロックウール吹付け (15.12.2～4)

種 類	色 彩		吹付け厚さ			
⊙ 一般用 ・ ( )	・ 着色	⊙ 原色	・ 10	・ 15	・ 20	⊙ 25

⑭ 建具工事

① アルミニウム製建具

性能等級 (16.2.2～5)(表16.2.1)
外部に面する建具 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種
⊙ 耐風圧:S4 気密性:A4 水密性:A5
・ 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級 ( ) ⊙ 図示による
・ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 断熱性の等級 ( ) ⊙ 図示による

枠の見込み寸法 ⊙ 建具表による
表面処理
外部に面する建具 ・ BA-1種 ・ BA-2種 ・ BB-1種 ⊙ BB-2種 ・ ( )
皮膜等の種類 (※ 標仕表14. 2. 1による ・)
着色 ⊙ 標準色 ・ 特注色
屋内の建具 ・ BC-1種 ⊙ BC-2種 ・ ( )
皮膜等の種類 (※ 標仕表14. 2. 1による ・)
着色 ⊙ 標準色 ・ 特注色
ステンレス鋼板の種類
※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ・ ( )
ステンレス製くつずりの仕上げ
※ HL ・ ( )
結露水の処理方法
※ 図示による ・ ( )
水切り板、ぜん板
※ 図示による ・ ( )
木下地の内付け建具
・ 適用する(建具の製造所の仕様) ・ 適用しない

② 網戸等 (16.2.3(5))

種類	材種	線径	網目
⊙ 防虫網	※ 合成樹脂製 ・ ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ ステンレス(SUS316)製	※ 0. 25mm以上 ・ ( )	※ 16～18メッシュ ・ ( )
⊙ 防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1. 5mm	網目寸法15mm

3 樹脂製建具

性能等級 (16.3.2)(表16.3.1～3)
外部に面する建具 ・ A種 ・ B種 ・ C種 ・ D種 ・ E種
・ 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級 (・ T-1 ・ T-2) ・ 図示による
・ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 断熱性の等級 (・ H-4 ・ H-5 ・ H-6 ・ H-7 ・ H-8)
・ 図示による
外部に面する建具の日射熱取得性の等級 (・ N-1 ・ N-2 ・ N-3)
枠の見込み寸法 ・ 建具表による
ガラス ※ 複層ガラス ・ ( )
ステンレス製くつずりの仕上げ
※ HL ・ ( )
表面色 ・ 標準色 ・ 特注色
水切り板、ぜん板
※ 図示による ・ ( )
木下地の内付け建具
・ 適用する(建具の製造所の仕様) ・ 適用しない

④ 鋼製建具

性能等級 (16.2.2)(16.4.2～4)(表16.4.2)
簡易気密型ドアセット ⊙ 適用する ・ 適用しない (表16.4.1)
外部に面する建具の耐風圧性 ・ S－4 ⊙ S－5 ・ S－6 (表16.4.2)
・ 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級 ( ) ⊙ 図示による
・ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 断熱性の等級 ( ) ⊙ 図示による
・ 耐震ドアとする場合 面内変形追随性の等級 ( ) ・ 図示による
ステンレス鋼板の種類
※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1 ・ ( )
点検口の類のくつずりの材料 ⊙ (SUS304)
鋼板類の厚さ(mm)
⊙ 表16.4.2による ・ ( )
ステンレス製くつずりの仕上げ
※ HL ・ ( )
標準型鋼製建具の有効内法寸法
⊙ 建具表による ・ ( )

⑤ 鋼製軽量建具

(16.2.2)(16.5.2～4)
性能等級
簡易気密型ドアセット ⊙ 適用する ・ 適用しない
外部に面する建具の耐風圧性 ・ S－4 ・ S－5 ・ S－6
・ 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級 ( ) ・ 図示による
・ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 断熱性の等級 ( ) ・ 図示による
・ 耐震ドアとする場合 面内変形追随性の等級 ( ) ・ 図示による
鋼板
材料 ⊙ 鋼板 ・ ビニル被膜鋼板 ・ カラー鋼板 ・ ステンレス鋼板
厚さ ⊙ 表16.5.1による
召合せ、縦小口包み板等の材質 ※ 鋼板 ・ ステンレス鋼板 ・ アルミニウム合金
ステンレス製くつずりの仕上げ
※ HL ・ ( )

⑥ ステンレス製建具

(16.2.2)(16.4.2)(16.6.2～4)
性能等級
簡易気密型 ・ 適用する ⊙ 適用しない
外部に面する建具の耐風圧性 ・ S－4 ⊙ S－5 ・ S－6
・ 防音ドア、防音サッシとする場合 遮音性の等級 ( ) ・ 図示による
・ 断熱ドア、断熱サッシとする場合 断熱性の等級 ( ) ・ 図示による
・ 耐震ドアとする場合 面内変形追随性の等級 ( ) ・ 図示による
ステンレス鋼板 ※ SUS304、SUS430J1L 又は SUS443J1 ・ ( )
表面仕上げ ※ HL ・ 鏡面仕上げ
ステンレス鋼板の曲げ加工 ※ 普通曲げ ・ 角出し曲げ (補強あり) (16.6.5)
ステンレス製くつずりの仕上げ
※ HL ・ ( )

⑦ 木製建具

(16.7.2～4)(表16.7.1)
建具材の加工、組立時の含水率 ※ A種 ・ B種

⊙ フラッシュ戸
表面材の合板の種類

合板の種類	規格等		備考
※ 普通合板	表面の樹種 生地、透明塗料塗り 不透明塗料塗り 板面の品質 接着の程度	 (※ ラワン程度 ・) (※ しな程度 ・) (・ 1類 ・ 2類)	
⊙ 天然木化粧合板	樹種名 接着の程度	(杉) (・ 1類 ⊙ 2類)	県産材
・ 特殊加工化粧合板	化粧加工の方法 表面性能 接着の程度	(・ オーバーレイ ・ プリントタイプ ・ 塗装) ( ) (・ 1類 ・ 2類)	
・ MDF (ミディアムデンシティファイバーボード)	表裏面の状態による区分 曲げ強さによる区分 耐水性による区分 難燃性による区分	・ ( ) ・ ( ) ・ ( ) ・ ( )	
ホルムアルデヒド放散量	※ F☆☆☆☆	・ ( )	
表面板の厚さ	※ 表16.7.6による	・ ( )	

⑭ 建具工事

⑧ 建具用金物

標準型建具 (16.4.6)(16.8.4)
⊙ マスターキー ※ 製作する (※ 新規 ・ 既存にあわせる) ・ 製作しない
※ シリンダー箱錠
※ レバーハンドル
※ ドアクローザー

標準型建具以外の建具 (16.8.2)(表16.8.1)
⊙ マスターキー ※ 製作する (※ 新規 ・ 既存にあわせる) ・ 製作しない
※ シリンダー箱錠
※ レバーハンドル
・ 握り玉
⊙ 本締り錠
・ 空錠
※ レバーハンドル
・ 握り玉
⊙ グレモン錠
⊙ 点検口錠 (平面ハンドル錠)
・ 非常錠
・ ( )
⊙ ピボットヒンジ
・ フロアヒンジ
・ ヒンジクローザー (丁番形)
・ ヒンジクローザー (ピボット形)
⊙ ドアクローザー
⊙ 閉鎖順位調整器
⊙ 押棒、押板
⊙ アームストッパー
⊙ クレセント
⊙ 排煙オペレーター
・ レール

⑨ 鍵箱

形式 (16.8.4)
・ 30本 (個) ⊙ 120本 (2 個)
・ 60本 (個) ・ ( )本 (個)
鋼製既製品とし、監督員の承諾による。

⑩ 自動ドア開閉機構

(16.9.2～3)

自動ドア	性能	防錆	センサーの種類	凍結防止
⊙ SSLD-1 ・ SSLD-2 ⊙ DSLD-1 ・ DSLD-2 ・ 図示による	※ 表16.9.1による ・ ( ) ・ ( )	⊙ 適用する ・ 適用しない	・ マットスイッチ ※ 光線(反射)スイッチ ・ 熱線スイッチ ・ 音波スイッチ ・ 光電スイッチ ・ 電波スイッチ ・ タッチスイッチ ・ 押しボタンスイッチ ・ ペダルスイッチ ・ 多機能トイレスイッチ	⊙ 行う (適用箇所は建具表による) ・ 行わない

駆動力 ※ 電気式または油圧式 ・ ( )
補助センサー ※ 光電スイッチ1組 ・ ( )
工事範囲 一次側配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次側配線は本工事に含む。

⑪ 自閉式上吊り引戸装置

性能 ※ 標仕 表16.10.1による (16.10.2～3)(表16.10.1)

⑫ 重量シャッター

(16.11.2～4)(表16.11.1)

種類	シャッターケース	耐風圧強度(Pa)	開閉形式	備考
・ 一般重量シャッター	・ 設ける ・ 設けない	・ 1600 ・ ( )	※ 電動式 (手動併用)	
・ 外壁用防火シャッター ⊙ 屋内用防火シャッター ⊙ 屋内用防煙シャッター	※ 設ける		・ 手動式	※ 危害防止機構 ※ 障害物感知装置(自動閉鎖型) ・ シャッターの二段降下方式

電動シャッターの急降下制動装置、急降下停止装置の設置箇所
⊙ 図示 ・ ( )
電動シャッターの障害物感知装置の設置箇所
⊙ 図示 ・ ( )
屋内防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構の設置箇所
⊙ 図示 ・ ( )

スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類 ・ JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板)
⊙ JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板)
めっきの付着量 ※ Z12又はF12 ・ ( )

電動式の場合の電源 ※ 三相200V0. 75kw以下(過電流保護装置付)
・ ( )
工事範囲
一次側配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次側配線は本工事に含む。

13 軽量シャッター

(16.12.2～4)

開閉形式	シャッターケース	耐風圧強度 (Pa)
※ 手動式 ・ 電動式 (手動併用)	※ 設ける ・ 設けない	・ 1600 ・ ( )

スラットの材質	めっき量
・ JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板)	※ Z06又はF06
・ JIS G 3322(塗装溶融55%アルミニウム－亜鉛合金めっき鋼板)	※ AZ90

スラットの形状	ガイドレール・座金の材質
※ インターロッキング形 ・ オーバーラッピング形	※ ステンレス(SUS304) ・ 溶融亜鉛めっき鋼板

電動式の場合の安全装置
急降下停止装置
・ 設置する (・ 図示による ・ ( )) ・ 設置しない
※ 障害物感知装置(自動閉鎖型)
電源 ※ 単相 100V (過電流保護装置付)
・ ( )
工事範囲
一次側配線は別途工事とし、開閉機構以降の二次側配線は本工事に含む。

⑭ 建具工事

14 オーバーヘッドドア

(16.13.2～3)

セクション材料による区分	耐風圧(Pa)	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質
・スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・1250 ・1000 ・750 ・500	※ バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	※ 溶融亜鉛めっき鋼板 ・ステンレス鋼板(SUS304)

電動式の場合の障害物感知装置の設置場所
※ 図示による

⑮ ガラス

・フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類
・図示(※建具表 ・)による ・

・型板ガラスの厚さによる種類
・図示(※建具表 ・)による ・

・網入りガラス及び線入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類
・図示(※建具表 ・)による ・

・合わせガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに合わせガラスの合計厚さ
・図示(※建具表 ・)による ・
形状による種類
・平面合わせガラス ・曲面合わせガラス
落球衝撃はく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類
・Ⅰ類 ・Ⅱ－1類 ・Ⅱ－2類 ・Ⅲ類

⊙強化ガラス
形状による種類、材料板ガラスの種類による名称 ⊙図示(※建具表 ・)による ・
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類 ・Ⅰ類 ・Ⅲ類

・熱線吸収板ガラス
板ガラスによる種類、厚さによる種類 ・図示(※建具表 ・)による ・
性能による種類 ・1類 ・2類

⊙複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ ・図示(※建具表 ・)による
断熱性による区分 ・T1 ⊙T2 ・T3 ・T4 ・T5 ・T6
日射取得性、日射遮蔽性による区分 ・G ・S
乾燥気体の種類 ⊙空気 ・アルゴン

・熱線反射ガラス (16. 14. 2)(16. 14. 4)
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ・図示(※建具表 ・)による ・
日射熱遮蔽性による区分 ・1種 ・2種 ・3種
耐久性による区分(日射熱遮蔽性による区分が2種の場合) ・A類 ・B類

・倍強度ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さによる種類 ・図示(※建具表 ・)による ・

ガラスの留め材及び溝の大きさ (16.14.2～4)(図16.14.1)

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	※ グレイジングチャンネル ・シーリング材 ・( )	※ 建具の製造所の仕様による ・図示による
樹脂製	※ 押縁及びグレージングガスケット ・	
鋼製及び鋼製軽量	※ シーリング材 ・( )	
ステンレス製	※ シーリング材 ・( )	

ガラス端部で枠にのみ込まない部分の小口加工
・建具表による ・( )

ガラスブロック積み
JIS A 5212によるもの又は評価名簿によるもの (16.14.5)

表面形状	呼び寸法(mm)	厚さ(mm)	色調 クリア	色調 乳白	目地幅 平積み	目地幅 曲面積み	伸縮目地調整位置	防火認定
・正方形	・160x160	95	・	・	※ 8～15	外側 ※ 15以下 内側 ※ 6以上	※ 6m以下ごとに幅10～25mm ・図示による	・なし ・防火設備 ・防火設備
	・200x200	95	・	・	・			
・長方形	・		・	・				
	・		・	・				

⑯ ガラス用フィルム

名称	種類	張り面	性能値
※ ガラス飛散防止フィルム	第2種	※ 内張り ・外張り	飛散防止率 95%以上
・( )			

品質 JIS A 5759による。

⑮ カーテンウォール工事

① 取付方法、性能等

性能 (図示) (17.1.3)

耐風圧性	耐震性 水平方向(kH)	耐震性 垂直方向(kV)	水密性	気密性	耐火性	耐温度差性(℃)	遮音性	断熱性
	・1.0 ・	・0.5 ・			・30分 ・1時間	・80 ・70 ・60		

② メタルカーテンウォール

カーテンウォールの材料 (17.2.2)

材料	規格		映像調整
※ アルミニウム製 ・ステンレス	※ 標仕 16.2.3による ・( )	・A－1種 ・A－2種 皮膜の種類 (※標仕 表14.2.1による) 着色( )	・行う ・行わない

製品及び取付位置の寸法許容差 ※ 標仕 表17.2.1～3による
ガラス溝の寸法、形状 ※ 製造所の仕様による
シーリング材の種類 ・( )
ガラスの取付方法 ・( )

3 PCカーテンウォール

カーテンウォールの材料 (17.3.2～5)
コンクリート ※ 標仕 17.3.2(1)(ｱ)～(ｳ)による
鉄筋 ※ SD295 (・D13 ・D10)
補強鉄線 径(mm) ※ 3.2 ・4.0 ・5.0 ・6.0
網目寸法 ・
配筋 ※ 図示による
先付けの材料 ・サッシ枠 ・ ゴンドラ用ガイドレール
表面仕上げ剤 ・セラミックタイル
・石材 (・花こう岩 ・大理石 ・)
ガスケットを用いる場合のアンカー溝の寸法及び寸法許容差(mm)
・h＝1～+2、W1及びW2＝±1
製品及び取付位置の寸法許容差 ※ 標仕 表17.2.2、表17.3.2による
・( )

⑯ 塗装工事

① 材料

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量 ※ F☆☆☆☆
・防火材料
※ 屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・次の箇所を除き防火材料とする。(箇所:)

② 素地ごしらえ

種別 (18.2.2～7)(表18.2.1～7)

下地面等		種別
木部	不透明塗料塗りの場合	※ A種 ・B種
	透明塗りの場合	※ B種 ・A種
鉄鋼面	耐候性塗り(DP)の場合	※ B種 ・A種 ・C種
	耐候性塗り(DP)以外の場合	※ C種 ・A種 ・B種
亜鉛めっき鋼面 注)		・A種 ⊙B種
モルタル面及びせっこうプラスター面		※ B種 ・A種
コンクリート面、ALCパネル面及び押出成形セメント板面	耐候性塗り(DP)の場合	・B種 ⊙A種
	耐候性塗り(DP)以外の場合	※ B種 ・A種
せっこうボード面及びその他ボード面	目地:継目処理工法	※ A種 ・B種
	目地:継目処理工法以外	※ B種 ・A種

注)亜鉛めっき鋼面の素地ごしらえの種別

種別	施工部位及び塗料種別
A 種	鋼製の建具の場合又は2溶形ポリウレタンエナメル塗 若しくは常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗の場合
B 種	A種、C種以外

③ 錆止め塗料塗り

錆止め塗料の種別 (18.3.2)(表18.3.1)

下地面等		塗料の種別	備考
鉄鋼面	SOP	※ As種	
	DP	※ 1回目 Cs種、2･3回目 Ds種	
	EP-G	※ Bz種 ・Az種	
亜鉛めっき構面	SOP 鉄鋼建具等	※ Az種 ・Bz種	
	SOP その他	※ Bz種 ・Az種	
	DP	※ Bz種	
	EP-G	※ Cz種	

工程の種別 (18.3.3)(表18.3.3～6)

下地面等			工程の種別	備考
鉄鋼面	SOP	見え掛り部分	※ A種 ・B種	
	EP-G	見え隠れ部分	※ B種 ・A種	
	DP		※ 表18.3.4による	
亜鉛めっき構面	SOP	鉄鋼建具等	※ A種 ・B種	
	EP-G	その他	※ B種 ・A種	
	DP		※ 表18.3.6による	

④ 塗装 (18.4.1～18.12.2)

塗装		種別	塗料の種類
⊙合成樹脂調合ペイント塗り(SOP)	木部屋外	※ A種 ・B種	※ 1種 ・2種
	木部屋内	※ B種 ・A種	※ 1種 ・2種
	鉄鋼面	※ B種 ・A種	※ 1種 ・2種
	亜鉛めっき鋼面	—	※ 1種 ・2種
・クリヤラッカー塗り(CL)		※ B種 ・A種	—
・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り(NAD)		※ B種 ・A種	—
⊙耐候性塗料塗り(DP)	鉄鋼面	—	上塗り等級( )級
	亜鉛めっき鋼面	—	上塗り等級(1)級
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	⊙A種 ・B種 ・C種	電気硝子建材:SGセラトップ 超耐候性ハイブリッド型ナノ水性無機塗料 同等品
⊙つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(EP－G)	コンクリート面等	※ B種 ・A種	—
	屋内の鉄鋼面	※ B種 ・A種	—
・合成樹脂エマルションペイント塗り(EP)		※ B種 ・A種	—
・合成樹脂エマルション模様塗料塗り(EP-T)		※ B種 ・A種	—
・ウレタン樹脂ワニス塗り(UC)		※ B種 ・A種	—
・ラッカーエナメル塗り(LE)		※ B種 ・A種	—
・ピグメントステイン塗り		—	—
⊙木材保護塗料塗り(WP)		※ B種 ・A種	—

⑰ 内装工事

① 接着剤

ホルムアルデヒド放散量 ※F☆☆☆☆ (19.2.2)
接着剤に含まれる可塑剤は、難揮発性のものとする。

② ビニル床シート

(19.2.2～3)

種類	JIS記号	色柄	特殊機能	厚さ	工法
⊙発泡層のないもの	※ FS (複層ビニル床シート)	・ ・	・帯電防止 ・耐動過重性 ⊙防滑性 ・耐薬品性	※2.0	※ 熱溶接 ・突付け
・発泡層のあるもの		・ ・			

③ ビニル床タイル

(19.2.2～3)

JIS記号	色柄	寸法	特殊機能	厚さ
・KT(コンポジションビニル床タイル) ⊙(ホモジニアスビニル床タイル) ⊙(置敷きビニル床タイル(OAフロア部分))	・無地 ・	・300角 ⊙450角 ⊙500角	・帯電防止 ⊙防滑性	・2.0 ・2.5 ⊙3.0 ⊙5.0

参考品番_ホモジニアスビニル床タイル:マティルドNW(TAJIMA)同等品
_置敷きビニル床タイル:レイフラットタイル(TAJIMA)同等品 ※サーバー室はレイフラットタイルLF-5000同等品(帯電防止)

④ 視覚障害者用床タイル

	種類	寸法(mm)	厚さ(mm)	
屋内	⊙ 図示による ・( )	・300角	・( )	(11.2.2)
屋外	⊙ 図示による ・( )	・300角	・( )	(19.2.3)

ブロックパターンはJIS T 9521による

⑤ ビニル幅木

(19.2.2)

材種	厚さ	高さ
※ 軟質 ・硬質 ・溶接	※ 2.0 ・	※60 ・75 ・100

6 ゴム床タイル

(19.2.2)

色柄	厚さ	寸法(mm)
・( )	・3.0 ・4.5 ・6.0 ・9.0	・( )

⑦ カーペット敷き

⊙タイルカーペット (19.3.2～3)

パイルの形状	種別	寸法	総厚さ(mm)	色柄	帯電性
※ ループパイル ⊙カットパイル ・カット、ループ併用	※ 第一種 ・第二種	⊙500角 ⊙(600角)	・6.5 ⊙(7.5) ⊙(7.5)	※ 無地 ⊙柄物	※ 3kV以下 ・その他

タイルカーペットの敷き方 平 場 ※市松敷き ・模様流し
階段部分 ※模様流し ・市松敷き
(材質、形状等 ※図示 ・)
見切り、押え金物 ⊙適用する
・適用しない

参考品番_TCP①:TS-7000 (タジマ)同等品
_TCP②_プレミアムバンク ソロ (川島織物セルコン)同等品

⑰ 内装工事

⑧ 合成樹脂塗床

(19.4.2～3)(表19.4.1～8)

種別	工法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 ・弾性ウレタン樹脂系塗床		※ 平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
・厚膜型塗床材 ・エポキシ樹脂系塗床	・薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材 ・( )		※ 平滑仕上げ

⑨ フローリング張り

フローリング張り (19.5.2)

種類	工法	厚さ、幅、長さ	樹種	仕上塗装
・フローリングボード1等	・釘留め工法(根太張り) ・釘留め工法(直張り) ・接着工法	15×75×400 12×75×400 08×75×400	・ひのき ・なら	・塗装品 ・無塗装品
・フローリングブロック1等	・接着工法	・( )	・ひのき ・なら	
・複合フローリング(天然木化粧)	・釘留め工法(根太張り) ⊙釘留め工法(直張り) ・接着工法	⊙A種 ・B種 ・C種	・ひのき ⊙なら (県産材)	

ホルムアルデヒド放出量 ※ F☆☆☆☆ ・( )
接着剤工法の場合の緩衝材 ※ 合成樹脂発泡シート

9 畳敷き

(19.6.2)(表19.6.1)

種別
・A種 (畳表: ・JS J1)
・B種
・C種 (畳床: ・PS-C20 ・PS-C25 ・PS-C30
・D種 (畳床: ・KT-Ⅰ ・KT-Ⅱ ・KT-Ⅲ ・KT-K ・KT-N)
下地の種類 ・標仕 表12.6.1による床組
・ポリスチレンフォーム床下地(ノンフロン)
・
畳表及び畳床はホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

・衝撃緩和型畳
畳表(JIS A 5902) ・C1 ・C2

⑩ せっこうボードその他ボード張り

(19.7.2～3)(表19.7.1)

規格名称	種類	厚さ等
⊙木質系セメント板	硬質木片セメント板	25mm
・繊維強化セメント板		
・火山性ガラス質複層板		
・繊維板		
・パーティクルボード		
・吸音材料		
⊙せっこうボード製品	図示	

普通合板
表板の樹種名 ⊙(ラワン、シナ、針葉樹、OSB)
板面の品質 ・( )
厚さ ⊙(図示)
防虫処理 ・行う ・行わない

天然木化粧合板
化粧板の樹種名 ⊙(杉)
厚さ ⊙(図示)
防虫処理 ・行う ・行わない

特殊加工化粧合板
化粧加工の方法 ⊙オーバーレイ ・プリント ・塗装 ・( )
表面性能 ⊙(メラミン化粧板)
厚さ ・( )
防虫処理 ・行う ・行わない

天井のボードの重ね張り ⊙行う ・行わない
合板類の張付け ・A種 ・B種
せっこうボードの目地工法 ⊙仕上表による

⑪ 壁紙張り

ホルムアルデヒド放散量 (19.8.2)
壁紙
※ F☆☆☆☆
接着剤
※ F☆☆☆☆

(19.8.2)

施工箇所	壁紙の種類	防火種別	商品名(程度)
図示		・不燃 ・準不燃 ・不燃 ・準不燃 ・不燃 ・準不燃 ・不燃 ・準不燃	

商品名は、品質の程度を示すための参考商品名である。

素地ごしらえの種別 (19.8.3)

モルタル面及びせっこうプラスター面	・A種	※ B種
コンクリート面	・A種	※ B種
せっこうボード面	・A種	※ B種
けい酸カルシウム板面	・A種	※ B種

⑫ 断熱材

⊙断熱材打込み工法 (19.9.3)

種類		厚さ(mm)
・ビーズ法ポリスチレンフォーム保温材		
※ 押出法ポリスチレンフォーム保温材(スキン層なし)	・2種b ※ 3種b	※ 25
・A種硬質ウレタンフォーム保温材		
・フェノール保温材(3種2号を除く)		

⊙断熱材現場発泡工法 (19.9.3)

種類	厚さ(mm)	施工箇所
・A種1 ⊙A種1H	・25 ・30	※ 図示による

株式会社 佐藤総合計画	工事名称 南相馬市新庁舎建設建築主体工事	一級建築士事務所 登録番号 宮城県知事登録 第22210181号 建設コンサルタント 登録番号 建01第843号	種別 G-007
	図面名 建築関係工事特記仕様書 (6)	総括 一級建築士第315658号 飯柴耕一 / 担当 一級建築士第323340号 高橋英雄 / 一級建築士第374585号 古川侑慧	通し番号
	設計番号 04632-010 / 作成日 – / 縮尺 A1 N=S/150 A3 N=S/300	構造関係規定に適合することを確認した 一級建築士 第306020号 構造設計一級建築士 第5334号 檜垣 邉司 / 設備関係規定に適合することを確認した 一級建築士 第359849号 設備設計一級建築士 第4808号 渡邉 森	

⑱ ユニット及びその他工事

① フリーアクセスフロア

フリーアクセスフロア及び表面仕上げ材 (20.2.2)

構法	・パネル構法　・溝構法
寸法(mm)	⊙450角以上600角以下
高さ(mm)	・100　・110　（床版から仕上材天端までの寸法 ）⊙図示
耐震性能	⊙1.0G　・0.6G
所定荷重(N)	⊙3000　⊙5000
帯電防止性能	⊙0.6以上　⊙1.2以上
漏えい抵抗	・（　）
表面仕上げ材	⊙タイルカーペット　⊙帯電防止床タイル
床パネルの材質	⊙アルミ合金ダイカスト製、スチール製又は複合材等
構造材の材質	⊙アルミニウム製　・鋼製（仕上げ:　）
配線用取り出しパネル	フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合　⊙20～30%
配線取り出し開口	⊙パネル1枚につき、40mm×80mm程度の開口1箇所以上 ・図示による
空調用吹き出し(吸い込み)ﾊﾟﾈﾙ	・なし　⊙あり（形式、施工箇所:図示による）
ﾛｰﾘﾝｸﾞﾛｰﾄﾞ性能	⊙適用しない　・適用する（適用室:　）

② 可動間仕切

(20.2.3)

構造形式	構成基材の種類 スタッド	構成基材の種類 パネル	総厚さ(mm)	遮音性(db)
⊙スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・パネル式 ・スタッドパネル式	・アルミ ⊙スチール	・木質系 ⊙スチール系 ・ガラス系 ・アルミニウム合金系	※　30以上 ・（　） ※　60以上 ・（　）	・0 ・12 ・20 ・28 ⊙36

③ 移動間仕切

表面仕上げ材 (20.2.4)

材質	厚さ(mm)	パネル表面仕上げ
⊙鋼板 ・（　）	・0.6 ⊙0.8	⊙メラミン樹脂焼付 又はアクリル樹脂焼付 ・壁紙張り

パネル内に取り付ける建具　⊙あり(※図示による)　・なし

(20.2.4)

操作方法	圧縮装置操作方法	総厚さ(mm)	表面仕上げ材 材質	表面仕上げ材 パネル表面仕上	遮音性(db/500Hz)
⊙手動式 ・電動式 ・部分電動式	・ブッシュ式 ⊙ハンドル式	⊙60程度 ・100程度	⊙鋼板	※焼付塗装 ・壁紙張り	・36未満 ⊙36以上

④ トイレブース

(20.2.5)

表面材の種類	脚部形状	ドアエッジ 形状	ドアエッジ 材質
※メラミン樹脂系化粧板 ・ポリエステル樹脂系化粧板	※幅木タイプ	⊙標準 ・R	・アルミニウム製 ・ステンレス製 ⊙表面材と同等

参考品番:ピュアコアブース(アイカ)同等品

⑤ 手すり

(20.2.6)

材種	表面仕上げ	直径(mm)	備考
・タモ ・ステンレスパイプ ⊙鋼製パイプ ⊙ビニル製ハンドレール	・クリアラッカー ・HL ・EP-G　⊙SOP ・	⊙35 ・45 ・（　）	⊙1段手すり ⊙2段手すり (指づめ防止材共)

⑥ 階段滑り止め

(20.2.7)

材種	幅(mm)	取付工法
⊙ステンレス製(SUS304) ビニルタイヤ入り	※　35 ・（　）	※接着工法 ・（　）

⑦ 床目地棒

床仕上げの異なる箇所には目地棒を入れる。 (20.2.8)
※ ステンレス製　□型（幅40程度 ｱ1.5）
⊙ステンレス製　6×12　・黄銅製　6×12

⑧ 視覚障害者用床タイル

	種類		寸法(mm)	厚さ(mm)
屋内	・塩化ビニル製 ・磁器質タイル ・レンジコンクリート製	⊙SUS点鋲、線鋲 ・せっ器質タイル ・コンクリート製	・300角	・7.0
屋外	・磁器質タイル ⊙レンジコンクリート製	・せっ器質タイル ⊙SUS点鋲、線鋲 ・コンクリート製		

ブロックパターンはJIS T 9251による

9 黒板及びホワイトボード

(20.2.9)

種類	取付方法	形状	備考
・鋼製黒板 ・ほうろう黒板 ・ほうろう白板	直付け	※平面 ・曲面	アルミニウム製枠、チョーク溝、 チョーク入れ、チョーク粉入れ付き マーキングペン受け付き

⑩ タラップ

(20.2.12)

種類	仕上げ	備考
※ステンレス製(SUS304) ・（　）	※研磨なし ・	背かご付

11 煙突ライニング

材料 (20.2.13)
煙突用成形ライニング材　適用安全使用温度　・400℃　・650℃　・（　）
工法
・（　）

12 ブラインド

(20.2.14)

形式	※横型ブラインド	・縦型ブラインド
開閉方式	※ギヤ式　・コード式　・操作棒式	※2本操作コード方式
スラットの幅	※25　・35	・80　・100

13 ロールスクリーン

(20.2.15)

材種	操作方式	備考
※ポリエステル ・綿 ・ガラス繊維	※チェーン式 ・プルコード式 ・電動式	

14 カーテン

(20.2.16)(表20.2.1)

形式		開閉操作	ひだの種類	生地の種別 品質、特殊加工
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・つまみひだ ・箱ひだ、片ひだ ・プレーンひだ	・（　）

15 カーテンレール

レール及びブラケットの強さによる区分　※10－90　・（　） (20.2.16)
レールの材料による区分　※アルミニウム及びアルミニウム合金の押出し成型材
・（　）
仕上げ　※アルマイト　・（　）
形状　※角型　・（　）
フック　※鋼製　・樹脂製

⑯ カーテンボックス

材質　・アルミニウム製既製品　（・シルバー　・着色　）
⊙鋼製
・木製

⑱ ユニット及びその他工事

⑯ コーナービート(壁ボード出隅保護金物)

材質　※アルミニウム押出形材差込型
・シルバー　⊙焼付　・（　）
・コーナー保護金物付きジョイントテープ

⑰ 天井見切縁

材質　・アルミニウム押出形材
※塩化ビニル製
施工箇所　※仕上表による　・（　）

⑱ 点検口

形式	材種	寸法	形式	備考
天井	⊙アルミニウム製 ・	⊙450角 ⊙600角	・一般形 ⊙目地タイプ	⊙鍵付き
床	・アルミニウム製目地 ⊙ステンレス鋼製目地	・450角 ⊙600角		⊙断熱材裏打ち

⑲ 収納・収納家具

合板類
ホルムアルデヒド放出量　※F☆☆☆☆　・（　）
ミディアムデンシティファイバーボード(MDF)及びパーティクルボード

⑳ 消火器ボックス

※既製品(埋込みタイプ)　参考品番:UFB-1F-3025(ユニオン)同等品

材質	仕上	寸法	扉	表示
※鋼製	※焼付塗装 ・	※W300×H900程度	※　有り	※絵・文字表示 ・

㉑ ステンレス流し台

※既製品　⊙優良住宅部品(セクショナルキッチン) 参考品番:流し台 GSE-S-120MXT、吊戸棚:GSE-A-120(LIXIL)同等品
上板及びシンク底部はステンレス製、単槽シンク、トラップ付

22 コンロ台

※既製品　・優良住宅部品(セクショナルキッチン)
テーブルトップはステンレス製、バックガード　（※有り・無し）

㉓ 吊戸棚

※既製品　・優良住宅部品(セクショナルキッチン)

㉔ 水切棚

※既製品ステンレス製一般型　・（　）

25 くつふきマット

材種　・ステンレス製ノンスリップ型（縁金物：ステンレス製）
・硬質アルミニウム製（縁金物：硬質アルミニウム製）
・塩化ビニル製またはゴム製（縁金物：ステンレス製）

㉖ 旗竿

材種	形状	操作方法	固定方法	備考
※アルミニウム合金製 ・	⊙テーパー式 ・同一断面式	・ロープ式 ⊙ハンドル式	・埋込式 ⊙ベース式 ・バンド式	高さ:8m

㉗ 旗竿受金物

材種　※ステンレス製(SUS304)

㉘ フェンス

フェンスの種類　⊙ビニル被覆エキスパンドフェンス　参考品番:UNフェンス A型(朝日スチール工業)同等品
・樹脂塗装メッシュフェンス
・鋼管フェンス
・アルミフェンス

㉙ 敷地境界標

・花こう岩(文字記号入り)
⊙コンクリートブロック製の市販品程度
・金属製(真ちゅう製50角 アンカー共)

30 止水板

形状　・差込式　・据置式　・壁張り式

㉛ 定礎板

⊙御影石t30(掘り込み文字30文字程度)　寸法:W600 H450程度(監督員指示により調整)
・定礎箱(タイムカプセル)　・設ける　・設けない
※1.0銅板製W＝500 H＝300 D＝50

⑲ 排水工事

① 排水管

材種　・遠心力鉄筋コンクリート管 (21.2.1)(表21.2.1)
⊙硬質ポリ塩化ビニル管　（※VP　・VU　・RS-VU）
・排水用リサイクル硬質塩化ビニル管

② 鋳鉄製ふた

鋳鉄製マンホールふた (21.2.1)

種類	適用荷重	蝶
・水封形 ・簡易密閉形(パッキン形) ⊙密閉形(テーパ・パッキン形) ・中ふた付き密閉形(テーパ・パッキン形) ・RS-VU	・T-2用 ⊙T-6用 ⊙T-20用 ・	⊙有り ・無し

上記以外の品質等は(公社)空気調和衛生工学会SHASE－S209による。
※表面には用途別の標準文字付きとする。

③ グレーチング

(21.2.1)

材質	形式	用途	適用荷重	メインバーピッチ	亜鉛めっき(付着量)	上面形状
⊙鋼製 ホールふた ・ステンレス製	⊙受枠付き、ボルト固定	⊙溝ふた(横断用) ・溝ふた(側溝用) ・枡ふた ⊙U字溝用	⊙歩行用 ・T－2用 ・T－6用 ・T－14用 ⊙T－20用	⊙細め ・（　） ・普通目 ⊙細め	⊙(450g/㎡以上	⊙凹凸形 ・（　） ・平形

④ 埋戻し土

※B種　・（　）

20 舗装工事

1 路床

路床の材料 (22.2.2～3)

種別	材料
・盛土	・A種　※B種　・C種　・D種　・建設汚泥から再生した処理土
・遮断層	・川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下)
・凍上抑制層	・再生クラッシャラン　・クラッシャラン ・川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量10%以下)
・フィルター層	・川砂、海砂又は良質な山砂(75μmふるい通過量10%以下)
・路床安定処理用添加材料	・普通ポルトランドセメント　・高炉セメントB種 ・フライアッシュセメントB種　・生石灰(特号)　・生石灰(1号) ・消石灰(特号)　・消石灰(1号)

試験　砂の粒度試験　・行う　・行わない (22.2.5)
路床度の支持力比(CBR)試験　・行う　・行わない
路床締固め度の試験　・行う　・行わない

20 舗装工事

2 路盤

路盤の材料 (22.3.3)
・砕石 C-40
※再生クラッシャラン RC-40
・クラッシャラン鉄鋼スラグ CS-40
試験 (22.3.5)
路床締固め度の試験　・行う　・行わない

3 アスファルト舗装

加熱アスファルト混合物の種類 (22.4.4)

・一般地域	・密粒度アスファルト混合物（13） ・細粒度アスファルト混合物（13）
・寒冷地	・密粒度アスファルト混合物（13F） ・細粒度ｷｬｯﾌﾟｱｽﾌｧﾙﾄ混合物（13F）

シールコートの施工　・行う　・行わない (22.4.5)
試験 (22.4.6)
アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない

4 コンクリート舗装

早強セメント　※使用しない　・使用する (22.5.3)
溶接金網　※使用しない　・使用する
試験 (22.5.6)
コンクリート版の厚さの試験　・行う　・行わない

5 ブロック系舗装

・コンクリート平板舗装 (22.8.2～3)
・インターロッキングブロック舗装

6 車止め

車止め用既製コンクリート W200×L600×H120 小型反射板付き
全面接着アンカー併用固定(掘り込み30mm埋め込み65mm以上)

7 区画線等

トラフィックペイント　JIS規格品
※溶融型（ｱ1.5）　・加熱型（ｱ1.0程度）
区画線幅　※150　・（　）
・身障者専用駐車スペース表示（1300角）
・駐車スペースナンバー表示（350角）

21 植栽及び屋上緑化工事

1 植栽地の確認等

土壌の水素イオン濃度(pH)試験　・行う　・行わない (23.1.3)
水溶性塩類(EC)の試験　・行う　・行わない

2 植栽基盤の整備

土壌改良材　・適用する　・適用しない (23.2.2)

3 植込み用土

※建設発生土の良質土　・客土 (23.2.3)

4 土壌改良材

・適用する　（施工範囲　※図示による ） (23.2.3)

5 芝

種類　※コウライ芝　・ノシバ (23.4.2)

6 樹木札

図示による

7 枯損樹木などの植替え

※引渡し日から1年
・（　）

8 その他

株式会社 佐藤総合計画	工事名称	南相馬市新庁舎建設建築主体工事	一級建築士事務所 登録番号 宮城県知事登録 第22210181号 建設コンサルタント 登録番号 建01第843号	種別 G-008
	図面名	建築関係工事特記仕様書（7）	総括 一級建築士第315658号 飯柴耕一 担当 一級建築士第323340号 高橋英雄 一級建築士第374585号 古川侑慧	通し番号
	設計番号 04632-010	作成日 － / 縮尺 A1 N/S A3 N/S	構造関係規定に適合することを確認した 一級建築士 第306020号 構造設計一級建築士 第5334号 椎堀 進司 設備関係規定に適合することを確認した 一級建築士 第359849号 設備設計一級建築士 第4808号 渡邊 森	

㉒ その他

① 揮発性有機化合物の室内濃度の測定

下記の室の揮発性有機化合物の室内濃度を測定し、厚生労働省が定める指針値以下であることを確認し、監督員に報告する。

1)対象揮発性有機化合物（VOC）

⊙ホルムアルデヒド　・アセトアルデヒド
⊙トルエン　⊙キシレン　・パラジクロロベンゼン　⊙スチレン　⊙エチルベンゼン
・（　　）

2)測定室

⊙(40箇所とし、適用室は監督員との協議による　)
・(　)

3)測定方法

※ 簡易測定法による。

VOCの種別	測 定 方 法
※ホルムアルデヒド	・検知紙法　・検知管法　・定電位電解法　・吸光光度法 (⊙ﾊﾟｯｼﾌﾞ型採取
※トルエン※キシレン※スチレン※エチルベンゼン	⊙ﾊﾟｯｼﾌﾞ型採取

・厚生労働省の標準的測定方法による。

VOCの種別	採 取 方 法	測 定 方 法
・ホルムアルデヒド ・アセトアルデヒド	・DNPH誘導体化固相吸着／溶媒抽出	・高速液体ｸﾛﾏﾄｸﾞﾗﾌ法
	・固相吸着／溶媒抽出法	
・トルエン ・キシレン ・パラジクロロベンゼン ・スチレン ・エチルベンゼン	・固相吸着／溶媒抽出法	・(　　)
	・固相吸着／加熱脱着法	
	・容器採取法	

② 県産材・地域材の活用

1)木工事

県産材を使用部位及び樹種については下記による。(代用樹種は使用できない)
　使用部位(図示　　)　　樹種(杉　　)
地域材を使用する部位及び樹種については下記による。
　使用部位(　　)　　樹種(　　)

2)木造工事

県産材を使用部位及び樹種については下記による。(代用樹種は使用できない)
　使用部位(　　)　　樹種(　　)
地域材を使用する部位及び樹種については下記による。
　使用部位(　　)　　樹種(　　)

3)石工事

県産材を使用部位及び石材については下記による。(代用石材は使用できない)
　使用部位(　　)　　石材(　　)
地域材を使用する部位及び石材については下記による。
　使用部位(　　)　　石材(　　)

4)その他（　）工事

県産材を使用部位及び材については下記による。(代用材は使用できない)
　使用部位(　　)　　材（　　)
地域材を使用する部位及び材については下記による。
　使用部位(　　)　　材（　　)

23 東日本大震災の復旧・復興事業における積算方法等

1　資材調達

次の資材については、以下の調達地域等から調達することを想定しているが、安定的な確保を図るために、当該調達地域等以外から調達せざるを得ない場合は、事前に監督員と協議するものとする。また、購入費用及び輸送費等に要した費用について、証明書類(実際の取引伝票等)を監督員に提出するものとし、その費用について設計変更の対象とする。

資材名	規格	調達地域等

2　労働者確保

(1)本工事は元請業者が必要とする共通費における、「共通仮設費のうち仮設建物費」及び「現場管理費のうち労務管理費」の下記に示す費用(以下「実績変更対象間接費」という。)について、契約締結後、労働者確保に要する方策に変更が生じ、建築関係工事積算基準(福島県土木部)に基づく金額相当では適正な工事の実施が困難になった場合は、事前に監督員と協議を行い、協議の結果により実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて最終精算変更時点で設計変更する「労働者確保に関する積算方法の試行工事」である。
営繕費(共通仮設費における仮設建物費):労働者送迎費・宿泊費・借上費
労務管理費:募集及び解散に要する費用・賃金以外の食事・通勤費等に要する費用・福利厚生等に要する費用・純工事費に含まれない作業用具及び作業被服等の費用・安全、衛生に要する費用及び研修訓練等に要する費用・労災保険法による給付以外に災害時に事業主が負担する費用

(2)本工事の予定価格の算出の基礎とした設計額(建築関係工事積算基準に基づき算出した額)における実績変更対象間接費について、その金額または率に占める割合は次のとおりである。
　1)共通仮設費に占める、実績変更対象間接費(営繕費):設計書に積上げ計上された金額
　2)現場管理費に占める、実績変更対象間接費(労務管理費)の割合:　　%

(3)受注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更を希望する場合は、実績変更対象間接費に係る費用の内訳を記載した「労働者確保に係る実績報告書(様 式1)」及び実績変更対象間接費について実際に支払った全ての証明書類(領収書、領収書の出ないものは金額の適切性を証明する金額計算書など。)を監督員に提出し、設計変更の内容について協議するものとする。

(4)受注者の責めによる工事工程の遅れ等受注者の責めに帰すべき事由による増加費用については、設計変更の対象としない。

(5)発注者は、実績変更対象間接費の支出実績を踏まえて設計変更する場合、受注者が実績変更対象工事費について実際に支払った額のうち、証明書類において確認された費用から、建築関係工事標準積算基準に基づき算出した額における実績変更対象間接費を差し引いた費用を加算して算出する。
なお、全ての証明書類の提出がない場合であっても、提出された証明書類をもって設計変更を行うものとする。

(6)受注者から提出された資料に虚偽の申告があった場合については、法的措置及び入札参加資格制限等の措置を行う場合がある。

(7)受注者は、実績変更対象間接費にかかる設計変更について疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。

㉔ 施工条件

① 工程関係

※ 調整無し
⊙ 別途工事との工程調整が必要有り
　調整項目　　・資材等の流用　　⊙ 仮設及び工事用道路等の調整　　⊙ 建設機械等の調整
　　⊙ 施工順序の調整　　・図示による　　・その他（　　）

② 施工時期
施工時間
施工方法

※ 制限無し
・ 制限有り
　・ 制限する工種名　（　　）
　・ 施工時期　（・土日祝日のみ　　・図示による　　・その他（　　））
　・ 施工時間　（・　　・　　時～　　時まで　　・　　）
　・ 施工方法　（　　）

工事を施工しない日

・ 有（・　年　月　日　　・別紙のとおり　）
・ 無

工事を施工しない時間帯

・ 有（・　：　～　：　　・別紙のとおり　）
・ 無

3　他機関との協議

協議が必要な機関名　（　　）
協議完了見込み時期　（　　）

④ 工事用地

⊙ 下記以外は図示等による。
(1) 工事車両の駐車場　（※構内　・（　　））
(2) 資材置き場　（※構内　・（　　））
(3) 建設発生土(埋戻し、盛り土用)の仮置場所　（※構内　・（　　））

⊙ 仮設ヤード　※ 無し　・有り（※ 図示による　・（　　））

⑤ 公害対策

※ 施工方法の制限無し
・ 施工方法の制限有り
　・ 騒音　・振動　・水質　・粉じん　・排出ガス　・その他（　　）
・ 施工方法等
　・ 指定工法名（　　）　・別途協議による　・図示による

・ 事業損失防止に関する調査
　・ 騒音測定　・振動測定　・水質調査　・近隣家屋の事前・事後調査　・地盤沈下測定
　・ その他（　　）
・ 調査箇所
　・ 図示による　・別途協議
・ 調査時期
　・ 図示による　・（　　）

6　安全対策

・ 近接公共施設等に対する制限
　・ 近接公共施設名等　（・鉄道　・電気　・ガス　・水道　・電話　・その他(　　)）
　・ 制限を受ける工種　（　　）

⑦ その他

※ 敷地内は禁煙とし、喫煙場所は別途協議による。
※ 当該工事現場を使用した技術研修会の開催に関する依頼を受けた場合はこれに協力するものとする。

㉔ 施工条件

別表－1の記入上の注意:「※を基本とし、他の発注工種が適用する場合には・を○に変え、※を・に変えること。
　また、空欄を適用する場合には○を記入し、※を・に変えること。」

別表－1　設備工事との工事区分表

工 事 内 容				建築工事	電気設備工事	機械設備工事	その他
機器の基礎	電 気 関 係	配電盤 ・ 制御盤の基礎	屋内	※	・		
			屋外	※	・		
			屋上	※	・		
		自家発電機の基礎(アンカーボルトを除く)		※	・		
		テレビアンテナ基礎(　〃　)		※	・		
		避雷針の基礎(　〃　)		※	・		
	機 械 関 係	屋内設備(架台、アンカーボルトを除く)		※		・	
		屋上設備(　〃　)		※		・	
		屋外設備(　〃　)		※		・	
	架台、アンカーボルト			・	※	※	
	特記した基礎			※	・	・	
開 口 部	梁、床、壁 貫通スリーブ	補強を要するもの		・	※	※	
		補強を要しないもの		・	※	※	
	梁、床、壁 貫通部型枠	補強を要するもの		※			
		補強を要しないもの		※			
	軽量鉄骨下地、壁、天井ボード類の切込	補強を要するもの		※			
		補強を要しないもの(ｱｳﾄﾚｯﾄﾎﾞｯｸｽは除く)		※			
	埋込形分電盤、端子盤等の仮枠	補強を要するもの		・	※	・	
		補強を要しないもの		・	※	・	
	上記開口部の補強			※			
	上記開口部の墨出し			※	※	※	
	スリーブの穴埋め（型枠の穴埋めを含む）			・	※	※	
	フリーアクセスフロア用配線器具			※			
点 検 口	床、壁、天井			※			
外部取付ガラリ	ダクト、チャンバーの接続用フランジを含む			※			
湯沸室のフード				※	・	・	
換気扇の取付枠				・	・	(⊙)	
流 し 台	排水トラップ共			※		・	
防 油 堤	オイルサービスタンクの防油堤		自家発用	※	・		
	タンク基礎		空調用	※		・	
床下水槽のマンホールふた				※			
屋外排水管	雨水			※		・	
	汚水、雑排水					※	
雨水立管（たてとい）				※			
トイレ手すり				※		・	
化粧鏡(衛生器具まわり)				・		※	
はめ込形洗面器用カウンター（前板共）				※		・	
ガスボンベ転倒防止用の鎖						※	
電気配管配線	自動ドア及び電動シャッタなどの制御部と操作スイッチ間の配管配線及び操作スイッチ			※			
	防火扉レリーズ				※		
	電極棒				・	※	
	配線ピット及びふた			※	・		
	機器などへの接続（1次側）				※	・	
	機器付属の制御盤以降の2次側の配線配管（接地共）					※	
	機器付属の制御盤への電源供給配管配線				※		
	自動制御盤と動力盤との電源供給の渡り配管配線				※		
	自動制御盤と動力盤との操作回路の渡り配管配線				※		
	天井吊り形FCU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器と付属操作スイッチの埋込ボックスと、その渡り配管（接地共）				※	・	
	天井吊り形FCU、個別パッケージ、全熱交換ユニット等の機器と付属操作スイッチと、その渡り配線				・	※	
	個別パッケージの室内機、室外機の渡り配線(接地共)				・	※	
	煙感知器から連動制御盤を経て防煙ダンパに至る配管配線				※		
	小便器用節水装置の制御盤以降の2次側の配管配線				・	※	
ガス漏れ検知器					・	※	
電 気 錠	電気錠及び通電金具			※	・		
	TENキー及び制御盤			※	・		
エレベーター出入口三方枠（金属製）				※		・	
エレベーター出入口三方枠（石製）				※		・	
シャワーユニット				※		・	
バスユニット				※		・	
洗濯機パン				・		※	
システム天井	ボード ・ Tバー			※			
	照明ライン設備プレート				※		
	空調ライン設備プレート					※	
消火器ボックス				※			
自動制御設備関連のインバーター装置及び盤					・	・	
自動制御設備関連のインバーター装置(別途、盤に組込む)						・	

25 現場環境改善（快適トイレの設置）

1 内容

① 受注者は、現場環境改善の一環として、工事場所毎に設置するトイレのうち男女別に1基ずつ以下の(1)～(11)の仕様をすべて満たす快適トイレを設置することとする。ただし、快適トイレの設置が困難な場合は監督員と協議する。
(12)～(17)の仕様については、満たしていればより快適に出来ると思われる項目であり、必須ではない。

【快適トイレに求める標準仕様(全項目必須)】
(1) 洋式(洋風)便座
(2) 水洗及び簡易水洗機能(し尿処理装置含む)
(3) 臭い逆流防止機能
(4) 容易に開かない施錠機能
(5) 照明設備
(6) 衣類掛け等のフック、又は荷物のおける棚(耐荷重を5kg以上とする)

【付属品として備えるもの(全項目必須)】
(7) 現場に男女がいる場合に男女別の明確な表示
(8) 周囲からトイレの入口が直接見えない工夫
(9) サニタリーボックス(女性用トイレに必ず設置)
(10) 鏡と手洗器
(11) 便座除菌クリーナー等の衛生用品

【推奨する仕様、付属品(任意)】
(12) 室内寸法900mm×900mm以上(面積A=0.81m2以上ではない。幅・奥行き各900mm以上)
(13) 擬音装置(機能を含む)
(14) 着替え台
(15) 臭気対策機能の多重化
(16) 室内温度の調整が可能な設備
(17) 小物置き場等(トイレットペーパー予備置き場等)

② 受注者は、快適トイレの設置にあたっては、①の内容を満たす参考見積書(標準仕様、付属品の内訳を明示したもの)を添付し、規格・基数等の詳細について監督員と協議の上決定し、快適トイレ仕様チェックシート及び資料等(カタログなど)を施工計画書提出に合わせ提出する。

③ 現場事務所等の屋内に設けるトイレには適用しない。

2 設置に要する費用

快適トイレに要する費用については、当初契約時は計上していない。
月額の支出実態がわかる資料により、監督員と協議の上、51,000円/基・月を上限とし、設計変更の対象とする。
ただし、運搬費・設置費等は対象外とし、従来品相当額(10,000円/基・月)は差し引くものとする。
なお、設計変更数量の上限は、男女別で各1基ずつ合計2基までとする。

26 熱中症対策

(1)工期・工程等

・ 猛暑による作業不能日数

本工事は、猛暑による作業不能日数を次のとおり見込んでいる。

ⅰ) 作業不能日数:14日間

ⅱ)上記ⅰ)は、環境省が公表する東北地方　相馬※1(福島)地点における WBGT 値
(気温、湿度、日射・輻射を考慮した暑さ指数)過去5年分(令和3年～7年)について、本工事の工期に対応する期間(行政機関の休日に関する法律(昭和 63年法律第 91 号)に定める行政機関の休日及び夏季休暇(3日)を除く。)において、8時から17時の間にWBGT 値が31以上となった時間を算定し、日数に換算したもの5年分を平均したもの。

ⅲ)気象状況により工期中に発生した猛暑による作業不能日数(当該現場における定時の現場作業時間において、環境省が公表する東北地方　相馬(福島)地点における WBGT値が31以上となり、かつ受注者が契約工事単位で全作業を中断し、又は現場を閉所した時間を算定し、日数に換算したもの(小数点以下 第一位を四捨五入する。))がⅰ)の日数から著しく乖離した場合には、受注者は発注者へ工期の延長変更を協議することができる。

※1 下表の観測地点を記入
(参考)

建設事務所管内	観測地点
県北	茂庭,梁川,福島,鷲倉,二本松
県中	船引,郡山,湯本,小野新町,石川
県南	白河,東白川
会津若松	金山,若松
喜多方	桧原,喜多方,西会津,猪苗代
南会津	只見,南郷,田島,桧枝岐
相双	相馬,飯舘,浪江,川内,広野
いわき	山田,小名浜

27 準備期間確保工事・フレックス工事

1 準備期間確保工事

準備期間確保工事における事務処理要領
この工事は準備期間確保工事であり、受注者は契約締結日から準備期間(○○日間)内に着工日を任意に設定できる。なお、契約の締結日までに別紙様式により、着工日(工事の始期)を通知すること。また、契約締結後に、受注者の準備が整った場合は、協議のうえ、工期に係る契約を変更することにより、工事に着手することができるものとする。

2 フレックス工事

フレックス工事試行要領
この工事はフレックス工事であり、受注者は発注者が示した工期までの間で、工事の始期及び終期を任意に設定できる。なお、契約の締結日までに別紙様式により、工事の始期及び終期を通知すること。

3 着工届の提出

着工届は、着工後速やかに提出すること。

4 コリンズの登録

受注時の「コリンズ登録」は、着工後に監督員の確認を受け、着工後、速やかに登録機関に登録申請しなければならない。

5 福島県元請・下請関係適正化指導要綱関係

施工体制台帳については、福島県元請・下請関係適正化指導要綱第 10 に基づき、提出すること。

6 その他

・ 準備期間内は、主任技術者又は監理技術者の配置することを要しない。また、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、準備期間内に行う準備は受注者の責任により行うものとする。(準備期間確保工事)

・ 工事の始期までの着工猶予期間は、主任技術者又は監理技術者の配置することを要しない。また、現場に搬入しない資材等の準備を行うことができるが、資材の搬入や仮設物の設置等、工事の着手を行ってはならない。なお、着工猶予期間中に行う準備は受注者の責任により行うものとする。(フレックス工事)

28 再生資源利用（促進）計画

① 再生資源利用計画書

受注者は、コンクリート、コンクリート及び鉄から成る建設資材、木材、アスファルト混合物等を工事現場に搬入する場合には、法令等に基づき、再生資源利用計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。
また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

② 再生資源利用促進計画書

受注者は、建設発生土、コンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、建設発生木材、建設汚泥または建設混合廃棄物等を工事現場から搬出する場合には、法令等に基づき、再生資源利用促進計画書を作成し、施工計画書に含め監督員に写しを提出しなければならない。
また、受注者は、法令等に基づき、再生資源利用促進計画を工事現場の公衆が見やすい場所に掲げなければならない。

29 総合評価方式における技術提案書の確認

1 内容

※総合評価方式(標準型・簡易型)における技術提案書に記載された事項の実施状況の確認について

総合評価方式において、受注者が技術提案書に記載した事項の具体的な実施方法等を、施工計画書に「総合評価方式における技術提案事項の実施計画」として記載し、提出しなければならない。
なお、施工計画書に記載された「総合評価方式における技術提案事項の実施計画」については、実施状況について発注者の確認を受けなければならない。
確認の方法については、「土木工事共通仕様書　Ⅲ編　2. 様式　第8号様式(確認書)」を用いることとし、監督員へ提出の上確認を受けることを原則とする。
また、技術提案事項の履行が確認できない場合は、工事成績評定において減点とする場合があるとともに、入札参加資格制限措置の対象となる場合がある。

株式会社 佐藤総合計画	工事名称	南相馬市新庁舎建設建築主体工事	一級建築士事務所　登録番号　宮城県知事登録　第22210181号 建設コンサルタント　登録番号　建01第843号		図面 G-010
	図面名	建築関係工事特記仕様書（9）	監理 一級建築士第315658号　飯柴耕一	担当 一級建築士第323340号　高橋英雄 一級建築士第374585号　古川侑葉	差し替え
	設計番号 04632-010	作成日 －	縮尺 A1 N/S A3 N/S	構造図形成定に適合することを確認した 一級建築士　第306020号 構造設計一級建築士　第5334号 檜垣　道司	設備図形成定に適合することを確認した 一級建築士　第359849号 設備設計一級建築士　第4936号　渡邊　森

工 事 概 要 書

1. 工事名称その他

工事名称	南相馬市新庁舎建設 建築主体工事	建 築 主（発注者）	南相馬市	建 設 地 地名地番	福島県南相馬市原町区三島町二丁目地内	主要用途	庁舎	工事種別	□ （ 新築 ・ 増築 ・ 改築 ・ 模様替 ・ その他 ）

2. 敷 地 状 況

敷地面積	都市計画区域	用途地域	防火地域	道路種別幅員	都市計画道路	規制地域の指定	その他の許可届出等（根拠法令等・届出・許可番号・年月日）
13,785.24㎡	⊙内 ⊙区域区分未設定都市計画区域（法22条指定区域） ・市街化調整区域 ・外	⊙有 （ 準工業地域 ） ・無	・防 火 ・準防火 ⊙無 （法22条区域）	・東側：市道南町北町線 16.0 m ・北側：2項道路 4.0 m ・北西側：市道原町高倉線 16.35 m ・左側面：市道三島町牛越線 3.70 m	⊙無・計画決定・事業決定 ・名称幅員 ・処置	⊙騒音規制 ⊙振動規制 ・その他	

3. 構造・規模面積

	計 画 部 分	計画以外の部分	合 計
建 築 面 積	2,982.83 ㎡	㎡	2,982.83 ㎡
延 べ 床 面 積	9,247.96 ㎡	㎡	9,247.96 ㎡

増築予定
・有
⊙無

その他（ピロティ・バルコニー・ドライエリア・屋外階段・ぬれえん・吹抜等）

棟 別 名	構 造	基礎工法	階 数	建築面積	床面積 1階	2階	3階	4階	PH階	合計
庁舎棟	鉄骨鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造	べた基礎（免震構造）	4	2,509.60 ㎡	2,390.77	2,359.81	2,359.37	1,884.32	53.87	9,048.14㎡
キャノピー1-1	鉄骨造	べた基礎	1	64.30 ㎡	64.30					64.30㎡
キャノピー1-2	鉄骨造	べた基礎	1	119.56 ㎡	－					－
キャノピー2	鉄骨造	独立基礎	1	153.85 ㎡	－					－
駐輪場1	鉄骨造	独立基礎	1	33.88 ㎡	33.88					33.88㎡
駐輪場2	鉄骨造	独立基礎	1	33.88 ㎡	33.88					33.88㎡
駐輪場3	鉄骨造	独立基礎	1	33.88 ㎡	33.88					33.88㎡
駐輪場4	鉄骨造	独立基礎	1	33.88 ㎡	33.88					33.88㎡

4. 法 規 制 概 要

	項 目		計画実施概要	規制概要	備考（参照図面等）
一般事項	建ぺい率		26.61%	60%	面積表
	容 積 率		64.42%	200%	面積表
	斜線制限	道路	27.6m（7.2+4.0+7.2）×1.5	適用距離20m 勾配1.5	断面図
		隣地	31m以下	立上り31m 勾配2.5	断面図
		北 側（日影規制）	適用外	－	－
	最 高 の 高 さ		22,700mm	斜線制限による	断面図
	最高の軒の高さ		22,600mm	－	断面図
	床 高		－	居室の床が非木造のため該当なし	－
	地域・規模等による構造（耐火・準耐火）		耐火構造	延床面積1,500㎡超で耐火建築物	－
一般構造及び設備規制	階 段	幅員（踊場）	1,250mm（1,300mm）	1,200mm	階段詳細図
		蹴上・踏面	160mm・280mm	200mm以下・240mm以上	階段詳細図
		手摺高	850mm	－	階段詳細図
	屋上広場等の手摺高（バルコニー含）		1,200mm	1,100mm以上	－
	有効採光面積		－	該当なし	－
	居 室 の 換 気		機械換気	居室面積の1/20以上	法チェック図
	避 雷 針		設置	高さ20m以上のため設置	避雷設備図
	便所・浄化槽		浄化槽なし（水洗）	水洗	衛生設備平面図

	項 目		計画実施概要	規制概要	備考（参照図面等）
防火規制	屋 根		30分耐火構造	30分耐火	仕上表
	延焼のおそれのある部分	外壁（軒裏）	不燃材料	不燃材料	仕上表
		開口部	防火設備	防火設備	建具表
	防火区画	位置	1500㎡以内	1500㎡以内	法チェック図
		構造	1時間耐火壁	準耐火構造	仕上表
		区画部の外 壁	90cm以上の準耐火構造壁	90cm以上の準耐火構造壁	法チェック図
	貫通部の処理		不燃材料で埋める	不燃材料で埋める	電気設備・機械設備図
	開口部に設けられる防火設備（開口部設備）		特定防火設備	特定防火設備	法チェック図・建具表
	開口部設備 感知器 とその位置		感知器連動閉鎖装置	感知器連動閉鎖装置	法チェック図・建具表
	内装制限		不燃・準不燃の仕様	排煙免除廊下・階段	仕上表
避難規制	廊 下 の 幅 員		両側居室1.6m以上 片側居室1.4m以上	両側1.6m以上 片側1.4m以上	法チェック図
	階段の数及び種類		直通階段3つ	直通階段の設置	法チェック図
	階段までの歩行距離		居室 ≦50m 無窓居室 ≦30m	居室 ≦50m 無窓居室≦30m	法チェック図
	排 煙		自然排煙・告示対応	階数≧3かつ500㎡以上	法チェック図
	非 常 用 照 明		LED照明にて床面2lx以上確保	LED照明にて床面2lx以上	非常照明・誘導灯設備図
	非常用の進入口		代替進入口の設置	階数3以上	法チェック図
	敷地内避難通路		道路等に通じる1.5m以上通路を確保	道路等に通じる1.5m以上通路	配置図
	非常出口の解錠方法及び表示		非常錠（サムターン）の設置	非常錠の設置	建具表

	項 目	計画実施概要	規制概要	備考（参照図面等）
消防規制	無窓階判定	すべて無窓階	各階床面積の1/30以上の有効開口面積	普通階・無窓階算定書
	消火器具	ABC10型消火器を設置	延床面積≧300㎡	衛生設備平面図
	屋内消火栓設備	広範囲型2号を設置	延床面積≧3,000㎡	衛生設備平面図
	スプリンクラー設備	該当なし	11階以上お	－
	不活性ガス消火設備	該当なし	ボイラー室≧200㎡ 電気室 ≧200㎡	－
	屋外消火栓設備	該当なし	1，2階の面積の合計≧9,000㎡	－
	自動火災報知設備	GR型受信機盤を設置	延床面積≧1,000㎡ 300㎡以上の3階以上の階	自動火災報知設備図
	消防機関へ通報する火災報知設備	一般加入電話	延床面積≧1,000㎡	－
	非常警報設備	放送設備を設置	収容人員50人以上	非常放送設備図
	誘導灯・誘導標識	誘導灯を設置	－	非常照明・誘導灯設備図
	消防用水	該当なし	敷地面積≧20,000㎡かつ1，2階面積計≧15,000㎡	－
その他				

株式会社 佐藤総合計画	工事名称 南相馬市新庁舎建設建築主体工事	一級建築士事務所 登録番号 宮城県知事登録 第22210181号 建設コンサルタント 登録番号 建01第843号	図面 G-011
	図面名 工事概要書	担当 一級建築士第315658号 飯柴耕一 / 設計 一級建築士第323340号 高橋英雄 一級建築士第374585号 吉川侑慧	通し番号
	設計番号 04632-010 / 作成日 － / 縮尺 A1 N/S A3 N/S	構造関係規定に適合することを確認した 一級建築士 第306020号 構造設計一級建築士 第5334号 檜垣 進司 / 設備関係規定に適合することを確認した 一級建築士 第359949号 設備設計一級建築士 第4806号 渡邊 斉	

5. 工事範囲

（○印をつけたものが該当する）

種別		有 含む	有 別途	無	備考
電気	電灯・コンセント		○		
	非常照明・誘導灯		○		
	動力		○		
	受変電		○		
	蓄電池		○		
	発電		○		
	構内情報通信網		○		
	構内交換・電話		○		
	情報表示		○		
	映像・音響		○		
	拡声		○		
	誘導支援		○		
	呼出し		○		
	住宅情報			○	
	テレビ・ＦＭ共同受信		○		
	テレビ電波障害防除		○		
給排水衛生	衛生器具		○		
	給水		○		
	排水・通気		○		
	給湯		○		
	厨房機器	○			
	消火設備		○		
	消火器		○		
	浄化槽				
	ガス				
空気調和	空気調和		○		
	暖房		○		
	冷房		○		
	換気		○		
	自動制御		○		
昇降機	エレベーター	○			
	小荷物専用昇降機			○	
	エスカレーター			○	
備品等	非常用救助袋	○			
	造付家具	○			
	移動家具	○			
	カーテン類	○			
	カーペット類	○			
	マット類	○			
	郵便受	○			
	サイン	○			
	表示板文字	○			
	掲示板	○			
	装飾物			○	
	可動間仕切	○			
	その他の備品		○		
外構	造園・植栽		○		
	門		○		
	塀		○		
	外灯		○		
	屋外排水		○		
	駐車場		○		
	敷地整地		○		
	擁壁		○		
	その他の構内施設		○		
	道路補償			○	
その他	解体工事	○			
	移転工事		○		

6. 建築・電気機械各工事の分担区分表

（※適用欄○印が該当する。）

工事項目	適用	工事内容 ＼ 工事区分	建築	空調	衛生	電気	昇降機		備考
各工事共通事項	○	機械搬入口の設置（ＥＬＶ用含む）	○						開口部補強及び搬入後閉鎖含む
	○	機械搬入用吊り下げビーム又はフック	○						位置、ｔ数
	・	ボイラー用、発電機用煙突工事（接続フランジ、耐火被覆の穴あけを含む）	○						煙突までの煙導及び接続は各設備工事
	○	梁の貫通スリーブの補強	○						スリーブ及び周辺モルタル充填は設備工事
	○	床・壁の貫通穴及び貫通スリーブ		○	○	○			周辺補強は建築工事
	○	各壁面ガラリ、フード並びに遮風板	○						機械換気用については設備工事
	○	パイプシャフト、ダクトスペース及びシャフト内デッキ	○						パイプユニット取付用金物は設備工事
	○	天井・壁・床の改め口（点検操作用）	○						
	○	天井・壁・床・貫通パイプ箇所の穴埋め		○	○	○			
	○	屋内外トレンチ及びピットの築造	○						
	○	外装開連貫通パイプ等周辺のコーキング	○						
	○	鉄骨貫通鋼管スリーブ	○						
	○	開口部の型枠・補強	○						
	○	貫通スリーブ・開口部の墨出し	○	○	○	○	○		
	○	貫通スリーブ・開口部の穴埋め	○	○	○	○	○		
	○	予備スリーブの穴埋め	○	○	○	○	○		
	○	ボード類の切り込み	○						
	○	下地材の切込み・補強	○						
	○	切込み・補強	○						
	○	各種ボックス類	○	○	○	○			
	○	感知器連動防火戸のレリーズ用切込み	○						
電気設備	○	電力ケーブル引込みマンホール				○			特殊なものは建築工事
	○	電話ケーブル引込みマンホール				○			〃
	・	電気等の床ピット及びセパレータ、蓋工事	○						
	・	変圧器等床ピット基礎工事	○						
	○	発電機の床補強・機器基礎工事	○						
	○	〃 の床ピット及び蓋工事	○						
	・	〃 の天井ビーム・フック工事	○						
	○	〃 の地下オイルタンク、オイル配管工事				○			自家発室内は電気工事
	○	〃 の地下オイルタンク躯体工事	○						〃
	・	〃 の排水管工事			○				〃
	○	埋込照明器具及びスピーカの取付用下地及補強	○						切込み並びに補強共（墨出しは電気）
	・	軽鉄間仕切壁に取付ける熱パイプ貫通の補強	○						〃
	○	電動シャッターの配管配線（一次側接続迄）				○			本体は建築
	○	オートドアーの電源供給配管・配線（一次側接続迄）				○			〃
	○	防火戸の煙連動制御盤及び配管・配線（一次側接続迄）				○			〃
	・	可動間仕切内配管工事（一次側接続迄）				○			〃
	○	アンテナ・マスト等基礎工事	○						
空調設備	・	蓄熱槽の築造工事	○						耐熱工事、連通管、マンホール、タラップ、清掃を含む
	・	オイルタンク基礎及び外廻のコンクリート工事	○						
	○	室外機等の床補強、機器基礎工事	○						機器アンカー並びに仕上工事は空調
	○	ポンプ、空調機、ファン等の機器基礎工事	○						〃
	○	天井、吹出し等の取付用下地枠		○					切込み補強共（墨出しは空調）
	・	照明器具併設吹出し口				○			
	○	吸排気ガラリ	○						
	・	窓下ファンコイルユニットの化粧囲い	○						吹出口、点検口を含む
	○	ファンコイル用配管配線（3Ｐコンセント迄）		○		○			100Ｖ電源
	○	〃 手元調整器		○					
	○	自動制御関係計器類		○					
	○	自動盤（現場）以降の配管配線		○					
	○	天井換気扇（100Ｖ単独運転の電源は電気工事）		○					全熱交換形のコントロールスイッチは空調
	○	壁換気扇				○			
	○	空調用の制御配管配線		○					

工事項目	適用	工事内容 ＼ 工事区分	建築	空調	衛生	電気	昇降機		備考
空調設備	・	地震感知器の配管配線				○			感知器は空調
	・	ぱい煙濃度計の指示計までの配管配線				○			
	・	ぱい煙濃度計の指示計以降の配管配線		○					
	○	天井吊形ファンコイルユニットと操作スイッチ間の渡り配管配線		○					
	・	防煙ダンパと連動制御部までの配管配線及び連動制御器から煙感知器までの配管				○			
	○	換気扇、全熱交換機及びガス器具排気連動装置の配管配線				○			
	○	自動制御設備、制御用の配管配線		○					
	・								
衛生設備	○	地下各種水槽及びピットの躯体	○						マンホール・タラップ清掃を含む
	○	地上受水槽基礎、フェンス築造	○						
	○	貯湯槽ポンプ等の床補強及び機器基礎	○						機器アンカー及び仕上工事は衛生
	○	機械室厨房等の排水溝および蓋工事	○		○				ガソリントラップ・グリストラップを含む
	○	天井・床・壁の点検口	○						点検用梯子・保守台を含む
	○	造り付流し（配管の特殊な穴あけを含む）	○						台内配管の周辺ふさぎは衛生
	○	便器取付開口部	○						切込み・補強共（墨出し・枠は衛生）
	○	雨樋	○						縦樋受以降の横引配管は衛生
	○	フロートスイッチ、フロートレススイッチ取付			○				
	○	同上用配管配線			○				
	・	浄化槽用動力工事				○			
	○	鏡及び化粧棚（洗面器上部）	○						意匠図に図示した特殊なものは建築
	・	屋外防火用水槽	○						
	・	屋外浄化槽躯体及周囲フェンス築造	○						
	○	軽鉄間仕切に取り付ける消火栓、湯沸器等の補強（パイプ貫通を含む）	○						切込み並びに補強（墨出しは衛生）
	○	流し台配管の接続			○				流し台（トラップ含む）は建築
	○	厨房機器配管等の接続			○				
	・								
昇降機設備	○	機械室・シャフト・ピット躯体	○						機械室軽量コンクリート打設含む
	○	出入口・インジケーター押釦の穴あけ	○						補強は建築
	○	機械室床機械据付用穴あけ	○						（墨出しは昇降機）
	○	機械室内配線ダクト穴あけ	○						（ 〃 は電気）
	○	機械室内仕上げ及び天井機械吊り上げ用フック	○						
	○	出入口等取付後の床・壁・天井仕上	○						
	○	換気設備及び付属電気設備				○			
	○	電源引込				○			
	○	接地工事				○			
	○	昇降路外の監視盤・操作用線及びインターホン用配線引込み					○		配管は電気
	・	ＢＧＭ用配線引込工事				○			
	○	機械室ピット内コンセント工事				○			
	○	エレベーター監視盤製作及び据付					○		
	○	昇降路がＳ造の中間ビームブラケット受けピース	○						
	○	昇降路がＳ造の中間ビーム本体及びブラケット受け					○		
	○	シャフト頂部搬入用フック・トロリービーム	○						
	・								
	・								
	・								
	・								
	・								
	・								
	・								
	・								
	・								
	・								
	・								
	・								

株式会社 佐藤総合計画

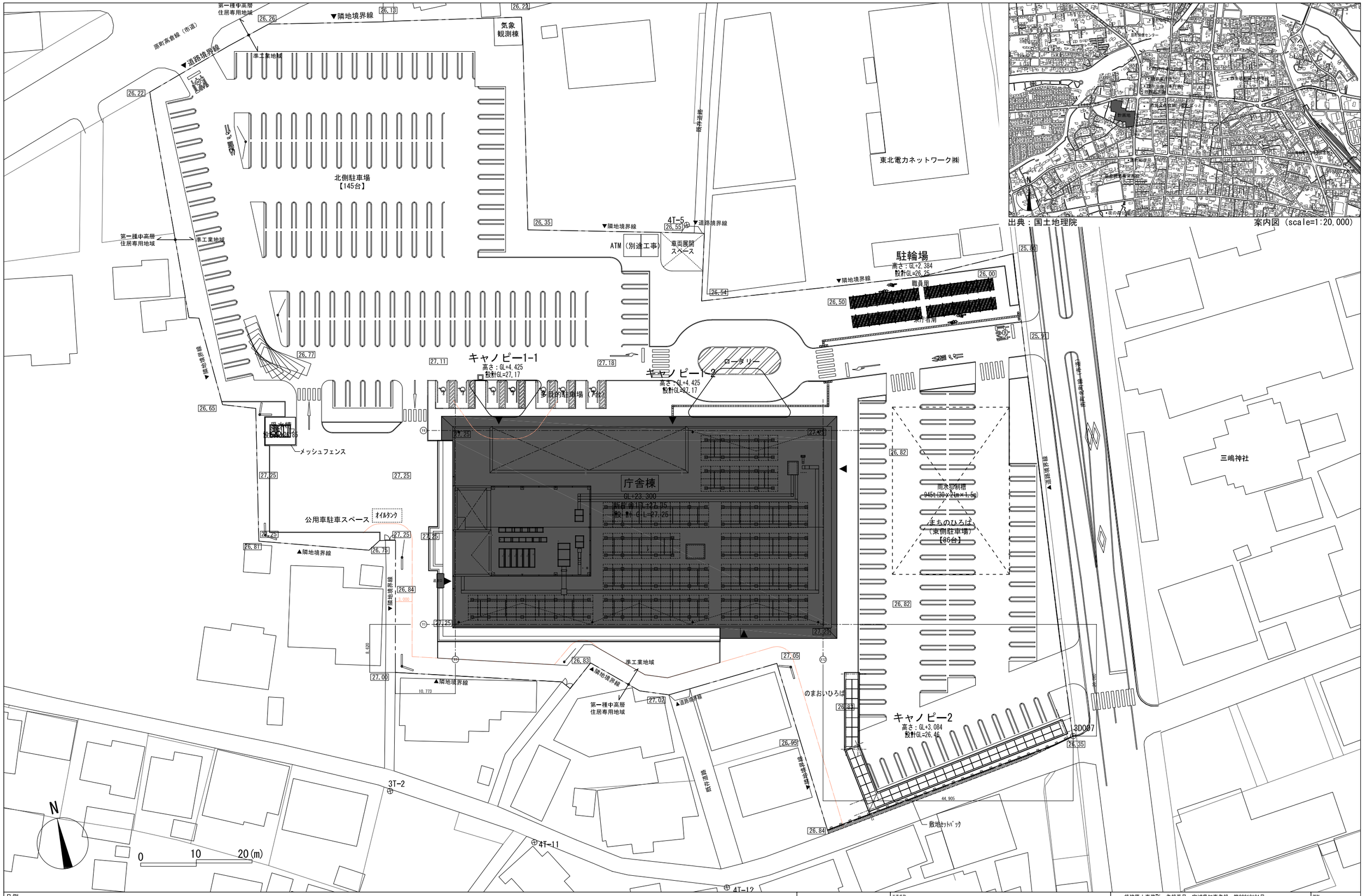
工事名称	南相馬市新庁舎建設建築主体工事	一級建築士事務所 登録番号 宮城県知事登録 第22210181号 建設コンサルタント 登録番号 建01第843号	種別 G-012
図面名	工事区分表	担当 一級建築士第323340号 高橋英雄 一級建築士第374585号 古川侑慧	通し番号
設計番号 04632-010	作成日 -	縮尺 A1 N/S A3 N/S	
構造関係規定に適合することを確認した 一級建築士 第306020号 構造設計一級建築士 第5334号 権堀 遠司	設備関係規定に適合することを確認した 一級建築士 第359849号 設備設計一級建築士 第4808号 渡邊 森	一級建築士第315658号 飯柴耕一	

基準点座標一覧

点名	X座標	Y座標
3D007	182576.608	99124.497
3T-1	182743.805	98997.932
3T-2	182594.099	99003.416
4T-1	182741.615	99036.402
4T-2	182746.966	99100.525
4T-3	182760.070	99142.425
4T-4	182674.593	99021.462
4T-5	182681.501	99077.714
4T-6	182660.365	99132.802
4T-7	182642.381	99013.001
4T-8	182643.080	99073.691
4T-9	182628.859	99129.498
4T-10	182616.012	99055.758
4T-11	182579.417	99026.659
4T-12	182563.912	99058.587
S-2	182712.149	99000.637

株式会社 佐藤総合計画

工事名称	南相馬市新庁舎建設建築主体工事	一級建築士事務所 登録番号 宮城県知事登録 第22210181号 建設コンサルタント 登録番号 建01第843号	図別 G-013
図面名	敷地現況図	監理 一級建築士第315658号 飯柴耕一 担当 一級建築士第323340号 高橋英雄 一級建築士第374585号 吉川侑慧	通し番号
設計番号 04632-010	作成日 -	縮尺 A1 S=1/300 A3 S=1/600	構造耐低減設定に適合することを確認した 一級建築士 第306020号 構造設計一級建築士 第5334号 檜垣 達司 設備耐低減設定に適合することを確認した 一級建築士 第359649号 設備設計一級建築士 第4806号 渡邊 森



出典：国土地理院

案内図（scale=1:20,000）

凡例		
---:---:---	敷地境界線	基準点座標
---:---:---	延焼ライン	3D007　(X:182576.608, Y:99124.497)
00.00	外構レベル	

株式会社 佐藤総合計画

工事名称	南相馬市新庁舎建設建築主体工事	一級建築士事務所　登録番号　宮城県知事登録　第22210181号 建設コンサルタント　登録番号　建01第843号	縮尺 G-014
図面名	案内図・配置図	総括 一級建築士第315658号　飯柴耕一	担当 一級建築士第323340号　高橋英雄 一級建築士第374585号　古川侑慧
設計番号 04632-010	作成日 –	縮尺 A1 S=1/300 A3 S=1/600	構造関係規定に適合することを確認した 一級建築士　第306020号 構造設計一級建築士　第5334号 増垣　進司
			設備関係規定に適合することを確認した 一級建築士　第359049号 設備設計一級建築士　第4808号　渡邊　森

通し番号

一般共通事項

地　下

1. GLより低い位置のコンクリート打継ぎ箇所には止水板6×200か止水ゴム10×20を打ち込む。
2. 土に接する部分と水槽部分の壁はみ出しセパ止水型とする。また、無収縮モルタルを充填する。
3. 地中梁点検口（人通孔）はφ600とし、1スパンにつき通水孔はφ150半割り×2、通気孔はφ100×2硬質塩ビ管とする。
4. 人通孔上部にはつかまり棒として、SUSφ19を打ち込む。また、人通孔下端から床まで600以上の場合、
   @300にSUSφ19タラップを打ち込む。
5. ピットの仕様は以下とする。(各釜場の仕様は各水槽と同様とする)

部位	床	壁	天井
ピット（清水釜場）	ケイ酸系塗布防水	コンクリート打放し仕上げ薬	コンクリート打放し仕上げ薬
雨水水槽 雨水貯留槽、汚水槽	樹脂製自硬性樹脂防水（ポリマーセメント防水）	樹脂製自硬性樹脂防水（ポリマーセメント防水）	樹脂製自硬性樹脂防水（ポリマーセメント防水）
揚排水槽 雑排水槽	エポキシ樹脂＋補強材　1プライ張覆	エポキシ樹脂＋補強材　1プライ張覆	エポキシ樹脂＋補強材　1プライ張覆

躯　体

1. コンクリート打放し壁面は特記なき限り外部t25、内部t20(塗装、クロス下地の柱・壁面含む)の増打ちとする。
2. コンクリート打放し面の出隅部は、外部（●ピン角、・面木）仕上げ、内部（●ピン角、・面木）仕上げとする。
3. コンクリート打放し仕上げの場合、仕上げ面（内外部とも）の施工図は、型枠・セパレーター・誘発目地・
   設備機器類等の割付を記入し、監督員の承諾を受けるものとする。施工に関する特記事項は下記とする。

   A. 合板型枠（ t=12）は、ウレタン４回塗り新品を使用し、コンクリート打放し部分には再利用しないこと。
   B. 打放し面の出・入隅部の止水対策として、スポンジテープ押さえ等を施す事。
   C. 打継部の位置及び打設量は監理者と協議の上決定する。
   D. 地上部の打放し作業に先立ち、２～３回程度の試打を行う。
   E. 施工後、充分な意匠上の結果が得られない（ジャンカ・コールドジョイント等）時は、適切なコンクリート補修
      の上、専用工法（吉田工法程度）にて補修するものとする。
4. 外装タイル張りの場合、ひび割れ誘発目地、打ち継ぎ目地、構造スリット等の位置はタイル目地と一致させる。

断　熱

1. 外気に接する壁の内側には、吹付け硬質ウレタンフォームA種1H t=50を施す。
2. 外気に接するサッシ廻りは無収縮モルタル充填の上、吹付け硬質ウレタンフォームA種1 t=50を施す。
3. 外気に接するスラブのインサート・天井吊りボルト当ての部分は、スラブ厚2倍の長さに吹付け硬質ウレタンフォー
   ムA種1を施す。
4. 外部に断熱材を施していない屋根スラブの室側には、吹付け硬質ウレタンフォームA種1H t=60を施す。
   (天井あらわし部は不燃断熱材とする)
5. 外気に接する金属パネルは全てグライト断熱材t=4.0を施す。
6. 直接土に接する室の床スラブ下面には、ポリエチレンフィルムシートt=0.15（重幅300以上）敷込みの上、
   A種硬質ウレタンフォーム保温板2種1号 t=50を敷込む。（耐圧盤、ピット底盤は除く）
7. ピットを有する室の床スラブ下面にはA種硬質ウレタンフォーム保温板2種1号 t=25を打込む。
   （耐圧盤、ピット底盤は除く）

外　装

1. 外部のモルタル塗りには防水モルタルを使用する。
2. 外部に使用する鉄部は全て溶融亜鉛メッキA種を施す。
3. 外部天井見切縁・廻り縁は、特記なき限りアルミ製(天井材同色焼付け)ジョイナーとする。
4. 軒天金属パネル 及び 外壁金属パネル最下部には、全てに水抜孔を設ける。
5. 外部のコンクリート打ち放し仕上げには、耐候性塗料を施すこと。

下　地

1. 張り物（フローリングボード、ビニル床シート、カーペット等）の床下地は、
   特記なき限りコンクリート直均しとし、10mm増打ちとする。

2. 壁・天井面仕上げ(塗装・クロス等)の下地については、特記なき限り下記による。
   A. コンクリート下地表面は、打放し仕上げB種とする。
   B. 亀裂誘発目地を設ける場合は既製目地材6mm以上を用い、縦目地は@3000以内及び建具両脇とし、
      横目地は階高毎とする。
   C. 乾式下地タイル壁、流し台廻り等、けい酸カルシウム板・シージング石膏ボードを使用する箇所は、耐火壁は
      増貼り、それ以外は表面石膏ボードを読み替える。
   D. 天井仕上材が塗装、ビニルクロス、岩面吸音板、けい酸カルシウム板化粧シート貼り、化粧石膏ボードの場合、
      捨貼下地はGB-R t=12.5(不燃)とする。
   E. ボードの目地工法（継ぎ目処理）は、テーパーエッジ継目処理工法とする。

3. 手摺等取付け箇所で下地がLGSの場合、必要に応じてスチール補強t=1.6プレート（300×500程度）を施す。
4. 床組下地、壁下地の木材には防腐処理を施す。
5. 建具裏面（防火区画の耐火ボード、背面ボード等）はガラスの熱割れ、内部結露の防止を考慮した納まり（熱抜き孔
   を適宜設ける等）とする。
6. 塗床立上部については、特記なき限りRC立上りを見込む。（RC立上部に塗床立上）
7. 特記なき限り、モルタル下地内には溶接金網を見込む。

内　装

1. 内装材及び天井裏等に使用する建材、接着剤等は全て規制対象外、又はF☆☆☆☆の製品を使用すること。
2. ホルムアルデヒド及び総揮発性有機化合物を含む接着剤・建材は、原則使用しない。
   ※「ホルムアルデヒド規制値 及び ガイドライン値CECA」「VOCガイドライン値(WHO)」に準ずる。
3. 内装材の仕様は、特記なき限り不燃の製品を使用する。
4. 床仕上げについては、割付の検討を行い監理者の確認を得ること。
5. 床仕上材の異なる箇所の見切り、くつ摺り（エアタイト等は除く）は、特記なき限りSUS304 FB-5×15HLとする。
6. ビニル床シートは、特記なき限り熱溶接工法とする。
7. フリーアクセスフロアのパネルは、30%をコンセント取り出し穴加工済み、蓋付とする。
8. フリーアクセスフロア内部床は、特記無き限り防塵塗装を施す。
9. PS、EPS、DS等の床は、特記無き限り防塵塗装を施す。
10. ユニットバス，ユニットシャワー，ユニットトイレを設置する床下地は防塵塗装とする。
11. SUS巾木は特記なき限りt=1.5 HLとする。
12. 壁ボード張りの下地（RC、CB、LGS、W等)が異なる取合い部分は伸縮調整目地を設ける。また、入り隅部分及び開口
    部両サイド上部も伸縮調整目地(シーリング)を設ける。
    ただし、耐火壁は増し貼りに目地を設ける。目地材は入り隅部分を除き塩ビ製ハット型ジョイナーとする。
13. 廊下等大壁面のボード張りは、同一下地であっても伸縮調整目地を設ける（縦横@3,000程度）。
    ただし耐火壁は増し貼りに目地を設ける。
    目地材は塩ビ製ハット型ジョイナーとする。
14. 異種材料取合い部（コンクリートとボード、鉄骨とボード等）は目地を設けシーリングを施す。
15. 防火上主要な乾式間仕切壁が上下階と接する部分には耐火シール(認定品)を施す。
16. 機械室関係諸室の内側（壁・柱・梁型・スラブ底）には t=25グラスウールガラスクロス貼りを施す。
17. グラスウールマットはガラス繊維布でくるみ塩ビアンカー押えとする。
18. 天井ケイ酸カルシウム板は、特記なき限りリカット突きつけとする。
18. 天井廻縁は特記なき限り、塩ビ製天井見切り型とする。
19. 天井木製廻縁は特記なき限り、スプルースとする。
19. 目透かし貼りは、目地底をテープ貼り・小口を表面同色塗装もしくは同材巻き込みとする。
20. 照明ボックスには、防虫網付熱抜き孔を適宜設ける。
21. 露出している鉄部は、特記なき限りSOPとする。
22. 竪樋は、白ガス管防露巻きとし、樋継ぎ手部分は満水検査を行うこと。
23. 木の仕上は特記なき限りCLとする。
24. 石綿、クロルビリホスは使用しないこと。

建　具

1. 「建具共通事項」による。
   (1) ドアチェックは室側設置を基本とする。
   (2) 外部サッシ水切の出は壁面より20mmとし、両サイドに水返しを設け壁面の汚れ防止仕様とする。
   (3) 外部に面するガラリは防鳥ネット付(SUS製)とし、ダクト受けアングル(断熱材吹付け)まで建築工事とする。
   (4) アルミ製建具廻りのシーリングは2重シールとする。

点検口

1. 天井点検口は特記なき限りアルミ既製品（450×450目地タイプ）とし、表面仕上げ材は天井と同様とする。
   表面に目的表示、裏面には使用目的を記入する。
2. 化粧床点検口は、特記なき限りSUS製規格品（600×600）とし、表面仕上げ材は床と同様とする。
3. 蓋下部にはSUSタラップを設ける。
4. 床点検口は、特記なき限り鋳鉄製防水防臭型マンホール（水槽名文字記入、施錠装置付）とし、
   蓋下部にはSUSタラップを設ける。
5. 二重床部分（RCスラブ下地インターロッキングブロック舗装等）に設ける床下点検口のマンホール上部には特記なき
   限り、床仕上げ材貼用アルミ既製品800×800程度の点検口を設ける。
6. タラップはSUS規格品@300で、最下段は底部から＋500程度とする。
7. 建具のないPS,EPSには壁点検口600×600を設ける。

その他

1. シーリングの寸法は特記なき限り、20×10とする。
2. パラペット及び内部と取合う外壁立上り部は、H=300以上をスラブと一体でコンクリート打設する。
3. 外装、特殊な工法（性能発注）については技術委員会を設けて、専門知識を持つ責任者（外部を含め）を定め、
   施工者の責任においてまとめること。技術委員会の設置が必要な項目は監理方針説明会で提示する他、施工者が
   自主的に行うこと。
4. 外装カーテンウォール・外装ルーバー等については、予想される風圧力、変形、外気温の変化などによる変形及び
   摩擦音等の発生が構造耐力上、起こらないものとすること。
5. 外部に面した出入口の前面床には長さ（開口巾＋200）のSUSグレーチング側溝（W100）を設ける。
6. エキスパンションジョイントには、耐火性能に応じた耐火帯を設ける。
7. EPS及PS・DSを構成する壁はスラブまで立ち上げるものとする。
8. 造作家具等の扉が壁面等と取り合う箇所には、戸当り(衝撃防止ゴム)を設ける。
9. 外部に露出するアンカーボルトには、塩ビキャップ（防水用）を施す。
10. 吊りボルトのインサートは打ち込みとし、あと施工アンカーは原則禁止とする。
11. コーナーガードはFL+1,500まで立ち上げとする。
12. 屋内に設ける基礎は天端、立ち上がり共に防塵塗装仕上げとする。
13. 埋込み以外の消火器BOXは特記なき限り、UFB-2F-3007-PIMH（半埋込み型）/UFB-3F-2401-SIL（床置き型）同等品以上とする。

外部仕上げ表

項　目		
庁舎棟	屋根1	・コンクリート金ゴテ下地 + 硬質ウレタンフォームt=65 + 合成高分子系ルーフィングシート防水
	屋根2	・コンクリート金ゴテ下地 + 硬質ウレタンフォームt=65 + 合成高分子系ルーフィングシート防水
	屋根3	・メンテナンスパルコニー：コンクリート金ゴテ下地 + アスファルト防水(A I-1工法) + 保護コンクリートt80 ・室外機置場(4階)：コンクリート金ゴテ下地 + アスファルト防水(A I-1工法)+ 保護コンクリートt80
	屋根4	・室外機置場(2階)：コンクリート金ゴテ下地 + 硬質ウレタンフォームt=65 + 合成高分子系ルーフィングシート防水
	笠木水切り	・StPL-t4.5×200　溶融亜鉛メッキ
	外壁1	・コンクリート化粧打ち放し(A種) + 保護塗装A
	外壁2	・ECP(A種)t60フラットパネル + 保護塗装A
	外部建具1	・アルミサッシ
	外部建具2	・アルミカーテンウォール
	外部建具3	・アルミガラリ
	外部建具4	・スチールドア + DP塗装
	庇1	・PCa庇 + ウレタン塗膜防水
	庇2	・PCa庇 + ウレタン塗膜防水
	軒天	・コンクリート化粧打ち放し(A種) + 保護塗装A
	その他	・東側外部ルーバー：鉄骨下地+アルミカットパネルt3.0(焼付塗装) 200×400 ・ルーフドレイン：鋳鉄製 差込式φ125 ・丸環：SUS製19φ（既製品）打込み@3,000内外 打込み箇所：屋根1、2 ・タラップ：SUS製 背かご付 （既製品） ・目隠し遮音ルーバー：ECP(A種)t60フラットパネル + 保護塗装A ・タテ樋：アルミタテ樋 125φ バンドレスタイプ 丸型 ・定礎：御影石　W600×H450 t30 ・EXP.J：アルミ製 （既製品） ・機械基礎：ウレタン塗膜仕上 ・犬走：コンクリート金ゴテ仕上 ・免震ピット：コンクリート打ち放し仕上げC種 ・免震ピット擁壁外周側：コンクリート打ち放し仕上げC種 + ゴムアスファルト系塗膜防水(Y-1) ・ドライエリア：コンクリート打ち放し仕上げC種 ・外部手摺：St溶融亜鉛ﾒｯｷ処理+DP ・旗竿：アルミニウム合金製（ベース式）
ハト小屋 ※共通	屋根	・コンクリート金ゴテ下地 + ウレタン塗膜防水
	壁	・コンクリート化粧打ち放し(A種) + 保護塗装A

項　目		
付属棟	キャノピー1-1 キャノピー1-2	・屋根：木毛セメント板　+　合成高分子系塩ビシート防水 ・幕板：ガルバリム鋼板ｔ0.4塗装品 ・軒天：FKｔ8.0目透かし貼　DP ・柱：φ190.7 溶融亜鉛メッキ　下地（素地）調整+プライマー+SOP塗装 ・竪樋：St-89.1φ 溶融亜鉛メッキ　下地（素地）調整+プライマー+SOP塗装
	キャノピー2	・屋根：木毛セメント板　+　合成高分子系塩ビシート防水(ソーラーパネル設置用乾式基礎部材 @910) ・四周見切材：St-L100×100×7 溶融亜鉛メッキ仕上 ・軒天：あらわし (EP) ・柱：φ101.6 溶融亜鉛メッキ　下地（素地）調整+プライマー+SOP塗装 ・端部水切り:塩ビ被覆鋼板端部溶着処理
	歩道 ※外構工事	・アスファルト舗装 ・視覚障害者誘導用ブロック：インターロッキングブロック同材品
	駐車場 ※外構工事	・アスファルト舗装 ・車止めブロック：既製品 ・車両白線引き：W150（溶融式） ・取り外し式バリカー（鍵付き） ・車両白線引き：W150※車椅子マーク7台（溶融式）
	駐輪場	・屋根：木毛セメント板　+　合成高分子系塩ビシート防水(ソーラーパネル設置用乾式基礎部材 @910) ・四周見切材：St-L100×100×7 溶融亜鉛メッキ仕上 ・軒天：あらわし (EP) ・柱：φ101.6 溶融亜鉛メッキ ・端部水切り:塩ビ被覆鋼板端部溶着処理 ・自転車アーチ：SUSφ42.7ジョイント式@1,500

耐火種別

耐火建築物

部　位	耐火性能	仕　様	部　位	耐火性能	仕　様
屋根	30分間耐火	耐火・遮音認定番号リストによる	間仕切壁(耐力壁)(1階～4階)	1時間耐火	H12建告第1399号に適合する構造とする
梁(1階～4階)	1時間耐火	耐火・遮音認定番号リストによる	床(1階～4階)	1時間耐火	H12建告第1399号に適合する構造とする
柱(1階～4階)	1時間耐火	H12建告第1399号に適合する構造とする	階段	30分間耐火	H12建告第1399号に適合する構造とする
外壁(耐力壁)(1階～4階)	1時間耐火	H12建告第1399号に適合する構造とする			

略記号・防火材料認定番号リスト

	略記号	表示事項	防火材料認定番号
床・壁・天井	RC(　)	コンクリート(　)内は打放し種別Ａ・Ｂ・Ｃ	
	M	モルタル	
	CB	コンクリートブロック積み	
	ALC	軽量気泡コンクリートパネル	
	ECP	押出成形セメント板	
	S	鉄骨	
	LGS	軽量鉄骨	
	W	木(木製)	
	SUS	ステンレス	
	PB	パーティクルボード	
床	SL	セルフレベリング	
	FF	フリーアクセスフロアー	
	VS(A)	ビニル床シート	
	VS(B)	ビニル床シート(耐尿・防滑)	
	VT	ビニル床タイル(半硬質)	
	VTS	ビニル床タイル(軟質)	
	VT(E)	耐電防止ビニル床タイル	
	HT	ホモジニアス系ビニル床タイル	
	TCP(A)	タイルカーペット	
	TCP(B)	タイルカーペット	
	TCP(C)	タイルカーペット	
	D(U)	弾性ウレタン塗り床材	
	D(E)	エポキシ樹脂塗り床材	
巾木	VB	ビニル巾木	
	WB	木製巾木t9.0 + WP	
	VB(H)	ビニル巾木(長尺)	
	MB	モルタル巾木(金ゴテ)	

	略記号	表示事項	防火材料認定番号
壁・天井	J工法	せっこうボード(テーパー付)の縦目処理工法	
	GL工法	せっこうボードのせっこうによる直張り工法	
	GB-R	せっこうボード	t=9.5　QM-9828
			t=12.5,15.0　NM-8612,NM-8619
	GB-NC	不燃積層せっこうボード(化粧無し：下地張り用)	NM-0441,NM-0296,NM-8613
	GB-NC(T)	化粧不燃積層せっこうボード(トラバーチン模様)	NM-0441
	GB-D	化粧せっこうボード	NM-8614,QM-9824
	GB-D(W)	化粧せっこうボード(木目)	NM-0127
	GB-S	シージングせっこうボード	t=9.5,12.5　QM-9826
			t=12.5　NM-9346
	GB-F	強化せっこうボード	NM-8615
	GB-P	吸音用あなあきせっこうボード	QM-9827
	GB-L	せっこうラスボード	NM-8617
	FK	無石綿セメントけい酸カルシウム板	
	FK-D	化粧無石綿セメントけい酸カルシウム板	NM-1453,NM-3468,NM-3614,NM-2439
	FK-DK	抗菌性化粧無石綿セメントけい酸カルシウム板	
	FK-DW	天然木練付化粧無石綿セメントけい酸カルシウム板	
	FK-F	繊維強化無石綿セメントけい酸カルシウム板	
	FK-P	吸音用穴あき無石綿セメントけい酸カルシウム板	
	F(CB)	木毛セメント板	
	FC	塩ビシート	
	FC(D)	塩化ビニル樹脂フィルム張り	金属板　　NM-0095
			金属板以外 NM-0131
	KC	クロス(織物)	NM-9750～9841 (金属板を除く)
	VC	ビニルクロス	NM-9888～9954(金属板、不燃せっこうボードを除く)
	GC	ペンキ下地用ガラスクロス	NM-0223
	DR	ロックウール化粧吸音板(フラットタイプ)	NM-8599
	DR(凹凸)	ロックウール化粧吸音板(凹凸タイプ)	
	DR(軒天)	ロックウール化粧吸音板(軒天井用：フラットタイプ)	
	DR(軒天凹凸)	ロックウール化粧吸音板(軒天井用：凹凸タイプ)	
	PF	ポリスチレンフォーム保温板	
	UF	吹付硬質ウレタンフォーム	
	RW-G	ロックウールガラスクロス張り	
	GW-B	グラスウール 吸音ボード	NM-8605

	略記号	表示事項	防火材料認定番号
塗料	GW-G	グラスウールガラスクロス張り	NM-8606,NM-8610
	GB-H	硬質せっこうボード	NM-9645
		メラミン化粧板	NM-2183,NM-3846
	カラー ガルバリウム鋼板	塗装溶融55%アルミニウム-亜鉛めっき鋼板	NM-8697
		不燃木練付合板	NM-1262
		不燃木ルーバー	NM-3887
		スチールパーティション	NM-4125
	SOP	合成樹脂調合ペイント塗り	
	EP	合成樹脂エマルションペイント塗り	NM-8585 不燃材料
	EP-T	合成樹脂エマルションペイント模様塗料塗り	
	EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り	NM-8585 不燃材料
	EP-M	多彩模様塗料塗り	
	AE	アクリル樹脂エナメル塗り	
	FE	フタル酸樹脂エナメル塗り	
	2-FUE	常温乾燥形ふっ素樹脂エナメル塗り	
	2-UE	2液形ポリウレタンエナメル塗り	
	2-ASE	アクリルシリコン樹脂エナメル塗り	
	CL	クリヤラッカー塗り	
	UC	ウレタン樹脂ワニス塗り	
	OS	オイルスティン塗り	
	AC	アクリル樹脂ワニス塗り(アクリル樹脂クリヤー塗り)	
	NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り	
	XE	2液型エポキシエナメル塗り	
	PU	ポリウレタン塗り	
	LE	ラッカーエナメル塗り	
	A(BE)	アクリルエナメル塗料(焼付)	
	X(BE)	エポキシ系塗料(焼付)	
	F(BE)	ふっ素樹脂塗料(焼付)	
	WP	木材保護塗装塗り	
	WP(外部)	木材保護塗装塗り(外部用)	
	DP	耐候性塗料塗り	
	保護塗装(A)	外部RC超耐候性ハイブリッド型ナノ水性無機塗料(カラークリア、クリア)	
	保護塗装(B)	内部RC超耐候性ハイブリッド型ナノ水性無機塗料(カラークリア、クリア)	

耐火・遮音認定番号リスト

使　用　材　料		認定番号	使用部位
発泡性耐火塗料被覆：鉄骨梁	1時間耐火	FP060BM-9419	梁
発泡性耐火塗料被覆：鉄骨柱	1時間耐火	FP060CN-9472	柱
吹付けロックウール被覆 t=25：鉄骨梁	1時間耐火	FP060BM-9408	梁
吹付けロックウール被覆 t=25：鉄骨柱	1時間耐火	FP060CN-9460	柱
GB-F t=12.5 + GB-F t=12.5（両面）：防火区画	1時間耐火	FP060NP-0174	間仕切壁
GB-F t=21.0 + GB-F t=21.0（片面）：防火区画	1時間耐火	FP060NP-0046	間仕切壁
GB-F t=21.0 + GB-R-H t=9.5（両面）+ グラスウール t=50：防火区画	1時間耐火	FP060NP-0198	間仕切壁
押出成形セメント版 t=60（タテ張）	1時間耐火	FP060NE-9035	外壁(非耐力壁)

内部仕上表（1）

凡例			
	F1	C(金ｺﾞﾃ)	CT 磁器質タイル
	F2	モルタル	SCT 半磁器(陶磁器)タイル
	F3	ころばし床組	NCT せっき質タイル
	F4	鋼製床組	VT ビニル床タイル
	F5	OAフロア	VT(H) ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ(ﾎﾓｼﾞﾆｱｽ系)
	F6	免震床+OAﾌﾛｱ	VS ビニル床シート
	F7	A防水	CP カーペット
	F8	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	CP(NP) ﾆｰﾄﾞﾙﾊﾟﾝﾁｶｰﾍﾟｯﾄ
			TCP① タイルカーペット
			TCP② タイルカーペット
			D 防塵塗料塗

凡例	
W1	C打放し仕上
W2	C打放し補修
W3	Cのまま
W4	モルタル
W5	LGS
W6	LGS+GB-R12.5+GB-R12.5(両面)
W7	LGS+GB-R12.5
W8	GB-R12.5(GL)
W9	乾式耐火間仕切(1h耐火) LGS+GB-F12.5+GB-F12.5(両面)
W10	遮音壁B(TLD64) LGS+GB-F21+GB-R-H9.5(GW充填)(両面)
W11	遮音壁B(TLD52) LGS+GB-F12.5+GB-R-H9.5(GW充填)(両面)

凡例	
C1	C打放し仕上
C2	C打放し補修
C3	Cのまま
C4	LGS
C5	LGS+GB-R12.5
C6	鉄骨
C7	LGS+GB-S12.5

凡例	
GB-D	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ
DR①	ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(直張用 t12)
DR(2)	ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(直張用 t12)+EP
DR(K)	ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(ｷｭｰﾌﾞ)
GW-B	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音板(ｶﾞﾗｽｸﾛｽ押え)

凡例	
PR	ピクチャーレール
CR	カーテンレール（別途工事）
BB	ブラインドボックス

階	室名	居室 内装制限	スラブレベル	床 下地	床 仕上げ	巾木 仕上げ / 高さ	壁 下地	壁 仕上げ	天井 下地	天井 仕上げ	廻り縁	天井高	備考
1階	風除室1	非居室 準	FL-70	F2	TCP t10 (ダストコントロールタイル)	SUS-HL 60	壁種別図参照	EP	C4	ｱﾙﾐｶｯﾄﾊﾟﾈﾙ t3.0	-	2,600	ドアガード
	風除室2	非居室 準	FL-70	F2	TCP t10 (ダストコントロールタイル)	SUS-HL 60		EP	C4	ｱﾙﾐｶｯﾄﾊﾟﾈﾙ t3.0	-	2,600	ドアガード
	風除室3	非居室 準	FL-70	F2	TCP t10 (ダストコントロールタイル)	SUS-HL 60		EP	C4	ｱﾙﾐｶｯﾄﾊﾟﾈﾙ t3.0	-	2,600	ドアガード
	風除室4	非居室 準	FL-70	F2	TCP t10 (ダストコントロールタイル)	SUS-HL 60		EP	C4	ｱﾙﾐｶｯﾄﾊﾟﾈﾙ t3.0	-	2,600	ドアガード
	守衛室	居室 不	FL-100	F1	VS t2.0	VB 60		EP	C4	DR①	塩ビ	2,700	BB、カウンター
	休憩スペース	居室 不	FL-100	F1	VS t2.0	VB 60		EP	C4	DR①	塩ビ	2,700	BB、ベット
	会議室11（兼相談室）	居室 不	FL-100	F5	VT t3.0	VB 60		EP	C4	DR①	塩ビ	2,700	BB
	会議室12	居室 不	FL-100	F5	VT t3.0	VB 60		EP	C4	DR①	塩ビ	2,700	BB
	会議室13	居室 不	FL-100	F5	VT t3.0	VB 60		EP	C4	DR①	塩ビ	2,700	BB
	会議室14（兼相談室）	居室 不	FL-100	F5	VT t3.0	VB 60		EP	C4	DR①	塩ビ	2,600	BB
	エントランスロビー	居室 準	FL-300	F2,ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭ ﾊﾞｲﾋﾞﾝｸﾞﾌﾟﾚｰﾄ 断熱材,RC直均し	CT 600角t10	SUS-HL 60		EP	C4 / 天井内壁	不燃木製ルーバー30×150@400 NM-4389 / EP	-	3,000～3,300	PR（掲示ｺｰﾅｰ）
	待合スペース1	居室 準	FL-300	F2,ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭ ﾊﾞｲﾋﾞﾝｸﾞﾌﾟﾚｰﾄ 断熱材,RC直均し	CT 600角t10	SUS-HL 60		EP	C4 / 天井内壁	不燃木製ルーバー30×150@400 NM-4389 / EP	-	3,000～3,300	
	市民ホール	非室 準	FL-300	F2,ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭ ﾊﾞｲﾋﾞﾝｸﾞﾌﾟﾚｰﾄ 断熱材,RC直均し	CT 600角t10	SUS-HL 60		EP	C4 / 天井内壁	不燃木製ルーバー30×150@400 NM-4389 / EP	-	3,000～3,300	
	展示スペース	居室 準	FL-300	F2,ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭ ﾊﾞｲﾋﾞﾝｸﾞﾌﾟﾚｰﾄ 断熱材,RC直均し	CT 600角t10	SUS-HL 60		EP	C4 / 天井内壁	不燃木製ルーバー30×150@400 NM-4389 / EP	-	3,000～3,300	
	相談室11	居室 不	FL-100	F5	TCP①	VB 60		EP	C4	DR①	塩ビ	2,700	
	相談室12	居室 不	FL-100	F5	TCP①	VB 60		EP	C4	DR①	塩ビ	2,700	
	相談室13	居室 不	FL-100	F5	TCP①	VB 60		EP	C4	DR①	塩ビ	2,700	
	相談室14	居室 不		F5	TCP①	VB 60		EP	C4	DR①	塩ビ	2,700	
	執務室11	居室 難	FL-300	F5	TCP①（床冷暖房）	VB 60		EP	C4 / 天井内壁	不燃木製ルーバー30×150@400 NM-4389 / EP	-	3,000～3,300	BB、壁面収納（別途工事）
	更衣室11	非居室 不	FL-100	F1	VT t3.0	VB 60		EP	C4	GB-D	塩ビ	2,700	CR、壁面収納（別途工事） 姿見鏡、洗面カウンター
	更衣室12	非居室 不	FL-100	F1	VT t3.0	VB 60		EP	C4	GB-D	塩ビ	2,700	CR、壁面収納（別途工事） 姿見鏡、洗面カウンター
	書庫11	非居室 -	FL-100	F5	TCP①	- -		OSB合板t12.0+WP ※柱・梁・火打部にもWP	天井無し		-	-	集密書架
	耐火書庫	非居室 不	FL-100	F1	VT t3.0	VB 60		EP	C4	DR①	塩ビ	2,700	集密書架
	会計課	居室 不	FL-100	F5	TCP①	VB 60		EP	C4	DR①	塩ビ	2,700	壁面収納

階	室名	居室 内装制限	スラブレベル	床 下地	床 仕上げ	巾木 仕上げ / 高さ	壁 下地	壁 仕上げ	天井 下地	天井 仕上げ	廻り縁	天井高	備考
1階	法務局	居室 不	FL-100	F5	TCP①	VB 60	壁種別図参照	EP	C5	DR①	塩ビ	2,600	BB、CR、カウンター
	喫茶客席	居室 難	FL-300	F2,ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭ ﾊﾞｲﾋﾞﾝｸﾞﾌﾟﾚｰﾄ 断熱材,RC直均し	CT 600角t10	SUS-HL 60		EP	C4 / 天井内壁	不燃木製ルーバー30×150@400 NM-4389 / EP	塩ビ	3,000～3,300	
	喫茶厨房	居室 不	FL-300	F4	VS t2.0(溶接)	床材立上げ 100		FK t6 EP	C4	FK t6 + EP	塩ビ	2,600	厨房機器、カウンター
	バックヤード	非居室 不	FL-300	F4	VS t2.0(溶接)	床材立上げ 100		FK t6 EP	C4	FK t6 + EP	塩ビ	2,600	
	WC11（M）	非居室 不	FL-10	F1	VS t2.0(消臭)	床材立上げ 100		FK t6 EP	C4	FK-D t6	塩ビ	2,600	洗面カウンター、化粧鏡W450、姿見鏡 傘掛フック
	WC11（W）	非居室 不	FL-10	F1	VS t2.0(消臭)	床材立上げ 100		FK t6 EP	C4	FK-D t6	塩ビ	2,600	洗面カウンター、化粧鏡W450、姿見鏡
	HWC11	非居室 不	FL-10	F1	VS t2.0(消臭)	床材立上げ 100		FK t6 EP	C4	FK-D t6	塩ビ	2,600	
	SK11	非居室 不	FL-10	F1	VS t2.0(消臭)	床材立上げ 100		FK t6 EP	C4	FK-D t6	塩ビ	2,600	ライニング
	WC12（M）	非居室 不	FL-100	F1	VS t2.0(消臭)	床材立上げ 100		化粧フィルム貼り (3M:ﾀﾞｲﾉｯｸﾌｨﾙﾑFW同等品)	C4	FK-D t6	塩ビ	2,600	洗面カウンター、姿見鏡 傘掛フック
	WC12（W）	非居室 不	FL-100	F1	VS t2.0(消臭)	床材立上げ 100		化粧フィルム貼り (3M:ﾀﾞｲﾉｯｸﾌｨﾙﾑFW同等品)	C4	FK-D t6	塩ビ	2,600	洗面カウンター、姿見鏡
	HWC12	非居室 不	FL-100	F1	VS t2.0(消臭)	床材立上げ 100		化粧フィルム貼り (3M:ﾀﾞｲﾉｯｸﾌｨﾙﾑFW同等品)	C4	FK-D t6	塩ビ	2,600	化粧鏡W450
	SK12	非居室 不	FL-100	F4	VS t2.0(消臭)	床材立上げ 100		FK t6 EP	C4	FK-D t6	塩ビ	2,600	ライニング
	授乳室	居室 不	FL-300	F5	VT t3.0	VB 60		VC	C4	FK t6 + EP	塩ビ	2,600	洗面カウンター
	メンテナンス階段	非居室 不	FL-10	F1	VS t2.0	VB 60		EP	-	-	-	直	
	消火ポンプ室	非居室 不	FL-10	F1	D	床材立上げ 100		EP	デッキ	素地	-	直	
	ギアポンプ室	非居室 不	FL-10	F1	D	床材立上げ 100		GW-B t25	C2	GW-B t25	-	直	
	機械室11	非居室 不	FL-10	F1	D	床材立上げ 100		GW-B t25	C2	GW-B t25	-	直	
	機械室12	非居室 不	FL-10	F1	D	床材立上げ 100		GW-B t25	C2	GW-B t25	-	直	
	ｼｬｯﾀｰ収納ｽﾍﾟｰｽ	非居室 難	FL-10	F1	D			素地	デッキ / 鉄骨	素地 / 吹付RW t25（耐火被覆）	-	直	
	廊下11	非居室 不	FL-100	F4	CT 600角t10(接着貼り)	VB 60		EP	C4	DR①	塩ビ	2,700	
	廊下12	非居室 不	FL-10	F1	VS t2.0	VB 60		EP	C4	DR①	塩ビ	2,700	
	ゴミ置場1	非居室 不	FL-10	F1	VS t2.0(消臭)	VB 60		EP	C4	FK t6 + EP	塩ビ	2,700	
	EVホール1	非居室 準	FL-300	F2,ﾜｲﾔｰﾒｯｼｭ ﾊﾞｲﾋﾞﾝｸﾞﾌﾟﾚｰﾄ 断熱材,RC直均し	CT 600角t10	SUS-HL 60		EP	C4 / 天井内壁	不燃木製ルーバー30×150@400 NM-4389 / EP	-	3,000～3,300	

内装制限	
-	内装仕上げ：制限なし
難	内装仕上げ：難燃材料
準	内装仕上げ：準不燃材料
不	内装仕上げ：不燃材
不	内装仕上げ・下地共：不燃材

株式会社 佐藤総合計画

工事名称	南相馬市新庁舎建設建築主体工事	一級建築士事務所 登録番号 宮城県知事登録 第22210181号 建設コンサルタント 登録番号 建01第843号	種別 G-016
図面名	内部仕上げ表（1）	総括 一級建築士第315658号 飯柴耕一 / 担当 一級建築士第323340号 高橋英雄 一級建築士第374585号 古川侑慧	通し番号
設計番号 04632-010 / 作成日 - / 縮尺		構造関係規定に適合することを確認した 一級建築士 第306020号 構造設計一級建築士 第5334号 樋堀 道司	設備関係規定に適合することを確認した 一級建築士 第359849号 設備設計一級建築士 第4808号 渡邉 森

内部仕上表(2)

凡例	室名	居室 内装制限	スラブレベル	床 下地	床 仕上げ	巾木 仕上げ 高さ	壁 下地	壁 仕上げ	天井 下地	天井 仕上げ	廻り縁	天井高	備考
				F1 C(金ｺﾞﾃ)	CT 磁器質タイル		W1 C打放し仕上		C1 C打放し仕上	GB-D 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ			
				F2 モルタル	SCT 半磁器(陶磁器)タイル		W2 C打放し補修		C2 C打放し補修	DR① ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(直張用 t12)			
				F3 ころばし床組	NCT せっき質タイル		W3 Cのまま		C3 Cのまま	DR② ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(直張用 t12)+EP			
				F4 鋼製床組	VT ビニル床タイル		W4 モルタル		C4 LGS	DR(K) ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(ｷｭｰﾌﾞ)			
				F5 OAフロア	VT(H) ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ(ﾎﾓｼﾞﾆｱｽ系)		W5 LGS		C5 LGS+GB-R12.5	GW-B ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音板(ｶﾞﾗｽｸﾛｽ押エ)			
				F6 免震床+OAﾌﾛｱ	VS ビニル床シート		W6 LGS+GB-R12.5+GB-R12.5(両面)		C6 鉄骨				
				F7 A防水	CP カーペット		W7 LGS+GB-R12.5		C7 LGS+GB-S12.5				
				F8 ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	CP(NP) ﾆｰﾄﾞﾙﾊﾟﾝﾁｶｰﾍﾟｯﾄ		W8 GB-R12.5(GL)						
					TCP① タイルカーペット		W9 乾式耐火間仕切(1h耐火) LGS+GB-F12.5+GB-F12.5(両面)						PR ピクチャーレール
					TCP② タイルカーペット		W10 遮音壁B(TLD64) LGS+GB-F21+GB-R-H9.5(GW充填)(両面)						CR カーテンレール（別途工事）
					D 防塵塗料塗		W11 遮音壁B(TLD52) LGS+GB-F12.5+GB-R-H9.5(GW充填)(両面)						BB ブラインドボックス
2階	会議室21	居室 ㊍	FL-100	F5	TCP①	VB 60	壁種別図参照	EP	C5	DR①	塩ビ	2,700	
2階	会議室22	居室 (難)	FL-100	F5	TCP①	VB 60	壁種別図参照	EP	C4	DR①	塩ビ	2,700	BB
2階	WEB会議室1	居室 ㊍	FL-100	F5	TCP①	VB 60	壁種別図参照	EP	C4	DR①	塩ビ	2,700	
2階	WEB会議室2	居室 ㊍	FL-100	F5	TCP①	VB 60	壁種別図参照	EP	C4	DR①	塩ビ	2,700	
2階	WEB会議室3	居室 ㊍	FL-100	F5	TCP①	VB 60	壁種別図参照	EP	C4	DR①	塩ビ	2,700	
2階	相談室21	居室 ㊍	FL-100	F5	TCP①	VB 60	壁種別図参照	EP	C4	DR①	塩ビ	2,700	
2階	相談室22	居室 ㊍	FL-100	F5	TCP①	VB 60	壁種別図参照	EP	C4	DR①	塩ビ	2,700	
2階	ロビー21 掲示コーナー	居室 (準)	FL-100	F4	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt15+UC	VB 60	壁種別図参照	EP	C4 天井内壁	Mバールーバー @150 EP	-	3,000	PR
2階	執務室21	居室 (難)	FL-100	F5	TCP①	VB 60	壁種別図参照	EP	C4 天井内壁	天井放射パネル EP	-	3,000	BB、壁面収納（別途工事）
2階	執務室22	居室 (難)	FL-100	F5	TCP①	VB 60	壁種別図参照	EP	C4 天井内壁	天井放射パネル EP	-	3,000	BB、壁面収納（別途工事）
2階	大型コピー室21	非居室 (難)	FL-100	F5	TCP①	VB 60	壁種別図参照	EP	C4	DR①	塩ビ	2,700	BB
2階	書庫21	非居室 -	FL-100	F5	TCP①	- -	壁種別図参照	OSB合板t12.0+WP ※柱・梁・火打部にもWP	天井無し		-	-	集密書架
2階	書庫22	非居室 -	FL-100	F5	TCP①	- -	壁種別図参照	OSB合板t12.0+WP ※柱・梁・火打部にもWP	天井無し		-	-	集密書架
2階	倉庫21	非居室 (難)	FL-10	F1	VT t3.0	VB 60	壁種別図参照	EP	C4	GB-D	塩ビ	2,700	BB
2階	教育長室	居室 (難)	FL-100	F5	TCP②	木巾木 WP 100	壁種別図参照	天然木練付パネル(FL+0～+2,075) 木製見切材WP(FL+2,075～+2,100) GB-R + 布クロス(FL+2,100～H)	C4	GB-R t9.5 + 布クロス 天井折上部分EP	塩ビ	2,600 2,900	BB
2階	給湯室21	非居室 ㊍	FL-100	F1	VS t2.0(防滑)	VB 60	壁種別図参照	EP	C4	FK t6 + EP	塩ビ	2,700	流し台
2階	更衣室21	非居室 ㊍	FL-100	F1	VT t3.0	VB 60	壁種別図参照	EP 撥水材(RC柱面)	C4	GB-D	塩ビ	2,700	壁面収納（別途工事） 姿見鏡、洗面カウンター
2階	更衣室22	非居室 ㊍	FL-100	F1	VT t3.0	VB 60	壁種別図参照	EP 撥水材(RC柱面)	C4	GB-D	塩ビ	2,700	CR、壁面収納（別途工事） 姿見鏡、洗面カウンター
2階	休憩室21	居室 (難)	FL-10	F1	VS(防滑)	VB 60	壁種別図参照	EP	C4	DR①	塩ビ	2,700	BB、洗面カウンター
2階	ゴミ置場2	非居室 ㊍	FL-10	F1	VS t2.0	VB 60	壁種別図参照	EP	C4	FK t6 + EP	塩ビ	2,700	
2階	用務員室	居室 ㊍	FL-10	F1	VS t2.0	VB 60	壁種別図参照	EP	C4	GB-D	塩ビ	2,700	
2階	機械室21	居室 ㊍	FL-10	F1	D	床材 立上げ 100	壁種別図参照	GW-B t25	C2	GW-B t25	-	直	
2階	大会議室（正庁） 委員会室	居室 (難)	FL-100	F5	TCP①	VB 60	壁種別図参照	EP 天然木練付けパネル	C4 天井内壁	ｱﾙﾎﾞﾘｯｸt3.0 W200@200 EP・GW-B t25	-	3,000	BB
2階	倉庫22	非居室 ㊍	FL-10	F1	VS t2.0	VB 60	壁種別図参照	EP	C4	GB-D	塩ビ	2,700	
2階	倉庫23	非居室 ㊍	FL-10	F1	VS t2.0	VB 60	壁種別図参照	EP	C4	GB-D	塩ビ	2,700	
2階	倉庫24	非居室 ㊍	FL-10	F1	VS t2.0	VB 60	壁種別図参照	EP	C4	GB-D	塩ビ	2,700	
2階	WC21（M）	非居室 ㊍	FL-10	F1	VS t2.0(消臭)	床材 立上げ 100	壁種別図参照	FK t6 + EP	C4	FK-D t6	塩ビ	2,400	洗面カウンター、姿見鏡 傘掛フック
2階	WC21（W）	非居室 ㊍	FL-10	F1	VS t2.0(消臭)	床材 立上げ 100	壁種別図参照	FK t6 + EP	C4	FK-D t6	塩ビ	2,400	洗面カウンター、姿見鏡
2階	HWC21	非居室 ㊍	FL-10	F1	VS t2.0(消臭)	床材 立上げ 100	壁種別図参照	FK t6 + EP	C4	FK-D t6	塩ビ	2,400	姿見鏡
2階	WC22（M）	非居室 ㊍	FL-300	F4 ウレタン塗膜防水	VS t2.0(消臭)	床材 立上げ 100	壁種別図参照	FK t6 + EP	C4	FK-D t6	塩ビ	2,600	洗面カウンター、姿見鏡 傘掛フック
2階	WC22（W）	非居室 ㊍	FL-300	F4 ウレタン塗膜防水	VS t2.0(消臭)	床材 立上げ 100	壁種別図参照	FK t6 + EP	C4	FK-D t6	塩ビ	2,600	洗面カウンター、姿見鏡
2階	HWC22	非居室 ㊍	FL-300	F4 ウレタン塗膜防水	VS t2.0(消臭)	床材 立上げ 100	壁種別図参照	FK t6 + EP	C4	FK-D t6	塩ビ	2,600	
2階	SK22	非居室 ㊍	FL-300	F4 ウレタン塗膜防水	VS t2.0(消臭)	床材 立上げ 100	壁種別図参照	FK t6 + EP	C4	FK-D t6	塩ビ	2,600	ライニング
2階	廊下21	非居室 ㊍	FL-10	F1	VS t2.0	VB 60	壁種別図参照	EP	C4	DR①	塩ビ	2,700	
2階	廊下22	非居室 ㊍	FL-10	F1	VS t2.0	VB 60	壁種別図参照	EP	C4	DR①	塩ビ	2,700	
2階	廊下23	非居室 (準)	FL-100	F4	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt15+UC	木巾木 WP 60	壁種別図参照	EP	C4 天井内壁	Mバールーバー @150 EP	-	3,000	PR（掲示ｺｰﾅｰ）
2階	廊下24	非居室 (準)	FL-100	F4	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt15+UC	VB 60	壁種別図参照	EP	C4 天井内壁	Mバールーバー @150 EP	-	3,000	
2階	EVホール2	非居室 (準)	FL-100	F4	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt15+UC	木巾木 WP 60	壁種別図参照	EP	C4 天井内壁	Mバールーバー @150 EP	-	3,000	
3階	会議室31	居室 ㊍	FL-100	F5	TCP①	VB 60	壁種別図参照	EP	C4	DR①	塩ビ	2,700	
3階	会議室32	居室 ㊍	FL-100	F5	TCP①	VB 60	壁種別図参照	EP	C4	DR①	塩ビ	2,700	
3階	議員控室（中会議室）	居室 (難)	FL-10	F1	TCP①	VB 60	壁種別図参照	EP	C4	DR①	塩ビ	2,700	BB、可動間仕切り
3階	待合スペース3 （打合せスペース）	居室 (難)	FL-10 FL-100	F1 F4	VT t3.0	VB 60	壁種別図参照	EP	C4 天井内壁	Mバールーバー @150 EP	-	2,700	
3階	執務室31	居室 (難)	FL-100	F5	TCP①	VB 60	壁種別図参照	EP	C4 天井内壁	Mバールーバー @150 EP	-	2,700	BB
3階	執務室31-2・3			F5	TCP①		壁種別図参照	EP	C4	DR①	塩ビ	2,600	
3階	執務室32（選挙管理）	居室 (難)	FL-100	F5	TCP①	VB 60	壁種別図参照	EP	C4	DR①	塩ビ	2,600	BB、可動書架（別途）
3階	執務室33（監査）	居室 (難)	FL-10	F5	TCP①	VB 60	壁種別図参照	EP	C4	DR①	塩ビ	2,600	BB、可動書架（別途）
3階	執務室34（組合事務局）	居室 (難)	FL-100	F5	TCP①	VB 60	壁種別図参照	EP	C4	DR①	塩ビ	2,600	BB、可動書架（別途）
3階	選挙管理倉庫	非居室 (難)	FL-100	F5	VT t3.0	VB 60	壁種別図参照	EP	C4	GB-D	塩ビ	2,600	BB
3階	組合売店	居室 (難)	FL-100	F5	VS t2.0	VB 60	壁種別図参照	EP	C4	DR①	塩ビ	2,600	BB

内装制限	
－	内装仕上げ：制限なし
(難)	内装仕上げ：難燃材料
(準)	内装仕上げ：準不燃材料
㊍	内装仕上げ：不燃材
㊍	内装仕上げ・下地共：不燃材

株式会社 佐藤総合計画

工事名称	南相馬市新庁舎建設建築主体工事	一級建築士事務所 登録番号 宮城県知事登録 第22210181号 建設コンサルタント 登録番号 建01第843号	種別 G-017
図面名	内部仕上げ表（2）	総括 一級建築士第315658号 飯柴耕一 / 担当 一級建築士第323340号 高橋英雄 一級建築士第374585号 古川侑慧	通し番号
設計番号 04632-010 / 作成日 － / 縮尺		構造関係規定に適合することを確認した 一級建築士 第306020号 構造設計一級建築士 第5334号 樋堀 邉司 / 設備関係規定に適合することを確認した 一級建築士 第359849号 設備設計一級建築士 第4806号 渡邉 森	

内部仕上表(3)

凡例 室名	居室 内装制限	スラブレベル	床 下地	床 仕上げ	巾木 仕上げ 高さ	壁 下地	壁 仕上げ	天井 下地	天井 仕上げ	廻り縁	天井高	備考
			F1 C(金ｺﾞﾃ)	CT 磁器質タイル		W1 C打放し仕上		C1 C打放し仕上	GB-D 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ			
			F2 モルタル	SCT 半磁器(陶磁器)タイル		W2 C打放し補修		C2 C打放し補修	DR① ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(直張用 t12)			
			F3 ころばし床組	NCT せっき質タイル		W3 Cのまま		C3 Cのまま	DR② ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(直張用 t12)+EP			
			F4 鋼製床組	VT ビニル床タイル		W4 モルタル		C4 LGS	DR(K) ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(ｷｭｰﾌﾞ)			
			F5 OAフロア	VT(H) ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ(ﾎﾓｼﾞﾆｱｽ系)		W5 LGS		C5 LGS+GB-R12.5	GW-B ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音板(ｶﾞﾗｽｸﾛｽ押エ)			
			F6 免震床+OAフロア	VS ビニル床シート		W6 LGS+GB-R12.5+GB-R12.5(両面)		C6 鉄骨				
			F7 A防水	CP カーペット		W7 LGS+GB-R12.5		C7 LGS+GB-S12.5				
			F8 ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	CP(NP) ﾆｰﾄﾞﾙﾊﾟﾝﾁｶｰﾍﾟｯﾄ		W8 GB-R12.5(GL)						
				TCP① タイルカーペット		W9 乾式耐火間仕切(1h耐火) LGS+GB-F12.5+GB-F12.5(両面)						PR ピクチャーレール
				TCP② タイルカーペット		W10 遮音壁B(TLD54) LGS+GB-F21+GB-R-H9.5(GW充填)(両面)						CR カーテンレール（別途工事）
				D 防塵塗料塗		W11 遮音壁B(TLD52) LGS+GB-F12.5+GB-R-H9.5(GW充填)(両面)						BB ブラインドボックス
3階												
更衣室31	非居室 ㊏	FL-100	F5	VT t3.0	VB 60	壁種別図参照	EP	C5	GB-D	塩ビ	2,700	CR、壁面収納（別途工事） 姿見鏡、洗面カウンター
更衣室32	非居室 ㊏	FL-100	F5	VT t3.0	VB 60		EP	C4	GB-D	塩ビ	2,700	CR、壁面収納（別途工事） 姿見鏡、洗面カウンター
更衣室33	非居室 ㊏	FL-10	F1	VS t2.0	VB 60		EP	C4	GB-D	塩ビ	2,700	CR、壁面収納（別途工事） 姿見鏡、洗面カウンター
更衣室34	非居室 ㊏	FL-10	F1	VS t2.0	VB 60		EP	C4	GB-D	塩ビ	2,700	CR、壁面収納（別途工事） 姿見鏡、洗面カウンター
休憩室31	居室 難	FL-10	F1	VT t3.0	VB 60		EP	C4	DR①	塩ビ	2,700	BB、洗面カウンター
清掃員休憩室 兼更衣室	居室 難	FL-10	F1	VS t2.0	VB 60		EP	C4	DR①	塩ビ	2,700	BB
給湯室31	非居室 ㊏	FL-100	F5	VS(防滑)	VB 60		EP	C4	FK t6 + EP	塩ビ	2,700	流し台
給湯室32	非居室 ㊏	FL-10	F1	VS(防滑)	VB 60		EP	C4	FK t6 + EP	塩ビ	2,700	流し台
書庫31	非居室 -	FL-100	F5	TCP①	- -		OSB合板t12.0+WP ※柱・梁・火打部にもWP	天井無し		-	-	集密書架
書庫32	非居室 ㊏	FL-100	F5	VT t3.0	VB 60		EP	C4	GB-D	塩ビ	2,500	集密書架
議会ロビー （議会図書ｽﾍﾟｰｽ）	居室 準	FL-10	F1	TCP②	VB 60		天然木練付パネル(FL+0～+2.075) 木製見切材WP(FL+2.075～+2.100) GB-R + 布クロス(FL+2.100～H)	C4	GB-R t9.5 + 布クロス	塩ビ	2,700	壁面収納（別途工事）
議場 傍聴席	居室 難	FL-300	F4 (0～+150) F4 (+450) (仕上下地は構造用合板t12)	TCP② TCP②	木巾木 WP 100		杉ルーバー30×45+UC GW-B t25（グレー） EP	C6 デッキ・天井内	アルポリック t3.0 (曲面加工) GW-B t25		議場詳細図を参照	
調整室	居室 ㊏	FL-300	F4	TCP①	VB 60		GW-B t25（グレー）	C4	DR②	塩ビ	2,550	
当局控室	居室 ㊏	FL-300	F4	TCP①	VB 60		EP	C4	DR①	塩ビ	2,550	
議会事務局	居室 ㊏	FL-100	F5	TCP①	VB 60		EP	C4	DR①	塩ビ	2,700	
正副議長室	居室 ㊏	FL-100	F5	TCP②	木巾木 WP 100		天然木練付パネル(FL+0～+2.075) 木製見切材WP(FL+2.075～+2.100) GB-R + 布クロス(FL+2.100～H)	C4	GB-R t9.5 + 布クロス 天井折上部分EP	塩ビ	2,600 2,900	造作家具（壁面収納・机・打合せﾃｰﾌﾞﾙ）
議会応接室	居室 難	FL-10	F1	TCP②	VB 60		EP	C4	DR①	塩ビ	2,700	BB
会派室1	居室 難	FL-10	F1	TCP①	VB 60		EP	C4	DR①	塩ビ	2,700	BB
会派室2	居室 難	FL-10	F1	TCP①	VB 60		EP	C4	DR①	塩ビ	2,700	BB
会派室3	居室 難	FL-10	F1	TCP①	VB 60		EP	C4	DR①	塩ビ	2,700	BB
会派室4	居室 難	FL-10	F1	TCP①	VB 60		EP	C4	DR①	塩ビ	2,700	BB
会派室5	居室 難	FL-10	F1	TCP①	VB 60		EP	C4	DR①	塩ビ	2,700	BB
WC31 (M)	非居室 ㊏	FL-10	F1	VS t2.0(消臭)	床材立上げ 100		FK t6 + EP	C4	FK-D t6	塩ビ	2,400	洗面カウンター、姿見鏡 傘掛フック
WC31 (W)	非居室 ㊏	FL-10	F1	VS t2.0(消臭)	床材立上げ 100		FK t6 + EP	C4	FK-D t6	塩ビ	2,400	洗面カウンター、姿見鏡

凡例 室名	居室 内装制限	スラブレベル	床 下地	床 仕上げ	巾木 仕上げ 高さ	壁 下地	壁 仕上げ	天井 下地	天井 仕上げ	廻り縁	天井高	備考
			F1 C(金ｺﾞﾃ)	CT 磁器質タイル		W1 C打放し仕上		C1 C打放し仕上	GB-D 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ			
			F2 モルタル	SCT 半磁器(陶磁器)タイル		W2 C打放し補修		C2 C打放し補修	DR① ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(直張用 t12)			
			F3 ころばし床組	NCT せっき質タイル		W3 Cのまま		C3 Cのまま	DR② ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(直張用 t12)+EP			
			F4 鋼製床組	VT ビニル床タイル		W4 モルタル		C4 LGS	DR(K) ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(ｷｭｰﾌﾞ)			
			F5 OAフロア	VT(H) ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ(ﾎﾓｼﾞﾆｱｽ系)		W5 LGS		C5 LGS+GB-R12.5	GW-B ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音板(ｶﾞﾗｽｸﾛｽ押エ)			
			F6 免震床+OAフロア	VS ビニル床シート		W6 LGS+GB-R12.5+GB-R12.5(両面)		C6 鉄骨				
			F7 A防水	CP カーペット		W7 LGS+GB-R12.5		C7 LGS+GB-S12.5				
			F8 ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	CP(NP) ﾆｰﾄﾞﾙﾊﾟﾝﾁｶｰﾍﾟｯﾄ		W8 GB-R12.5(GL)						
				TCP① タイルカーペット		W9 乾式耐火間仕切(1h耐火) LGS+GB-F12.5+GB-F12.5(両面)						PR ピクチャーレール
				TCP② タイルカーペット		W10 遮音壁B(TLD54) LGS+GB-F21+GB-R-H9.5(GW充填)(両面)						CR カーテンレール（別途工事）
				D 防塵塗料塗		W11 遮音壁B(TLD52) LGS+GB-F12.5+GB-R-H9.5(GW充填)(両面)						BB ブラインドボックス
3階												
HWC31	非居室 ㊏	FL-10	F1	VS t2.0(消臭)	床材立上げ 100	壁種別図参照	FK t6 + EP	C5	FK-D t6	塩ビ	2,400	
WC32 (M)	非居室 ㊏	FL-10	F1	VS t2.0(消臭)	床材立上げ 100		FK t6 + EP	C4	FK-D t6	塩ビ	2,600	洗面カウンター、姿見鏡 傘掛フック
WC32 (W)	非居室 ㊏	FL-10	F1	VS t2.0(消臭)	床材立上げ 100		FK t6 + EP	C4	FK-D t6	塩ビ	2,600	洗面カウンター、姿見鏡
HWC32	非居室 ㊏	FL-10	F1	VS t2.0(消臭)	床材立上げ 100		FK t6 + EP	C4	FK-D t6	塩ビ	2,600	
SK32	非居室 ㊏	FL-10	F1	VS t2.0(消臭)	床材立上げ 100		FK t6 + EP	C4	FK-D t6	塩ビ	2,600	ライニング
WC33 (M)	非居室 ㊏	FL-10	F1	VS t2.0(消臭)	床材立上げ 100		FK t6 + EP	C4	FK-D t6	塩ビ	2,600	洗面カウンター、姿見鏡
WC33 (W)	非居室 ㊏	FL-10	F1	VS t2.0(消臭)	床材立上げ 100		FK t6 + EP	C4	FK-D t6	塩ビ	2,600	洗面カウンター、姿見鏡
倉庫31	非居室 ㊏	FL-100	F4	VS t2.0	VB 60		EP	C4	GB-D	塩ビ	2,700	
倉庫32	非居室 難	FL-10	F1	VS t2.0	VB 60		EP	C4	DR①	塩ビ	2,700	BB
倉庫33	非居室 ㊏	FL-100	F4	VT t3.0	VB 60		EP	C4	GB-D	塩ビ	2,700	BB
倉庫34	非居室 ㊏	FL-10	F1	VS t2.0	VB 60		EP	C4	GB-D	塩ビ	2,700	
清掃用具庫	非居室 ㊏	FL-10	F1	VS t2.0	VB 60		EP	C4	GB-D	塩ビ	2,700	
機械室31	非居室 ㊏	FL-10	F1	D	床材立上げ 100		GW-B t25	C2	GW-B t25	-	直	
議場機械室	非居室 ㊏	FL-300	F1	D	床材立上げ		GW-B t25	C2	GW-B t25	-	直	
廊下31	非居室 ㊏	FL-10	F1	VS t2.0	VB 60		EP	C4	DR①	塩ビ	2,500	
廊下32	非居室 準	FL-100	F4	VS t2.0	VB 60		EP	C4 天井内壁	Mバールーバー @150 EP	塩ビ	2,700	
廊下33	非居室 準	FL-50	F2+構造用合板t15	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ t15+UC	木巾木 WP 60		EP	C4 天井内壁	Mバールーバー @150 EP	-	2,700	PR（掲示ｺｰﾅｰ）
ラウンジ	居室 準	FL-50	F2+構造用合板t15	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ t15+UC	VB 60		EP	C4 天井内壁	Mバールーバー @150 EP	-	2,700	
記者室	居室 難	FL-50	F2+構造用合板t15	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ t15+UC	VB 60		EP	C4 天井内壁・デッキ	Mバールーバー @150 EP・GW-B t25	-	2,700	BB
ゴミ置場3	非居室 ㊏	FL-10	F1	VS t2.0(消臭)	VB 60		EP	C4	FK t6 + EP	塩ビ	2,500	
EVホール3	非居室 難	FL-50	F2+構造用合板t15	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞ t15+UC	木巾木 WP 60		EP	C4 天井内壁	Mバールーバー @150 EP	-	2,700	

内装制限	
－	内装仕上げ：制限なし
難	内装仕上げ：難燃材料
準	内装仕上げ：準不燃材料
不	内装仕上げ：不燃材
下不	内装仕上げ・下地共：不燃材

株式会社 佐藤総合計画

工事名称	南相馬市新庁舎建設建築主体工事	一級建築士事務所 登録番号 宮城県知事登録 第22210181号 建設コンサルタント 登録番号 建01第843号	種別 G-018
図面名	内部仕上げ表 (3)	総括 一級建築士第315658号 飯柴耕一 / 担当 一級建築士第323340号 高橋英雄 一級建築士第374585号 古川侑慧	通し番号
設計番号 04632-010 / 作成日 - / 縮尺		構造関係規定に適合することを確認した 一級建築士 第306020号 構造設計一級建築士 第5334号 樋堀 遥司	設備関係規定に適合することを確認した 一級建築士 第359849号 設備設計一級建築士 第4808号 渡邊 森

内部仕上表(4)

凡例	室名	居室 内装制限	スラブレベル	床 下地	床 仕上げ	巾木 仕上げ 高さ	壁 下地	壁 仕上げ	天井 下地	天井 仕上げ		廻り縁	天井高	備考
				F1 (C(金ｺﾞﾃ)	CT 磁器質タイル		W1	C打放し仕上	C1 C打放し仕上	GB-D	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ			
				F2 モルタル	SCT 半磁器(陶磁器)タイル		W2	C打放し補修	C2 C打放し補修	DR①	ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(直張用 t12)			
				F3 ころばし床組	NCT せっき質タイル		W3	Cのまま	C3 Cのまま	DR②	ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(直張用 t12)+EP			
				F4 鋼製床組	VT ビニル床タイル		W4	モルタル	C4 LGS	DR(K)	ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(ｷｭｰﾌﾞ)			
				F5 OAフロア	VT(H) ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ(ﾎﾓｼﾞﾆｱｽ系)		W5	LGS	C5 LGS+GB-R12.5	GW-B	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音板(ｶﾞﾗｽｸﾛｽ押エ)			
				F6 免震床+OAﾌﾛｱ	VS ビニル床シート		W6	LGS+GB-R12.5+GB-R12.5(両面)	C6 鉄骨					
				F7 A防水	CP カーペット		W7	LGS+GB-R12.5	C7 LGS+GB-S12.5					
				F8 ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	CP(NP) ﾆｰﾄﾞﾙﾊﾟﾝﾁｶｰﾍﾟｯﾄ		W8	GB-R12.5(GL)						
					TCP① タイルカーペット		W9	乾式耐火間仕切(1h耐火) LGS+GB-F12.5+GB-F12.5(両面)						PR ピクチャーレール
					TCP② タイルカーペット		W10	遮音壁B(TLD54) LGS+GB-F21+GB-R-H9.5(GW充填)(両面)						CR カーテンレール（別途工事）
					D 防塵塗料塗		W11	遮音壁B(TLD52) LGS+GB-F12.5+GB-R-H9.5(GW充填)(両面)						BB ブラインドボックス
4階	会議室41	居室 (難)	FL-100	F5	TCP①	VB 60	壁種別図参照	布クロス	C5	DR①	塩ビ	2,600		BB
	会議室42	居室 (難)	FL-10	F1	TCP①	VB 60		EP	C4 天井内壁・デッキ	Mバールーバー @150 EP・GW-B t25	塩ビ	2,700		BB
	相談室41	居室 (不)	FL-100	F5	TCP①	VB 60		EP	C4	DR①	塩ビ	2,600		
	ロビー41（展示ロビー） 展示スペース	居室 (難)	FL-50	F2+構造用合板t15	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt15+UC	VB 60		EP	C4 天井内壁	Mバールーバー @150 EP	-	2,700		PR 造作展示ケース
	執務室41-1	居室	FL-100	F5	TCP①	VB		EP	C4 天井内壁	天井放射パネル EP	-	2,700		壁面収納（別途工事）、可動書架
	執務室41-2・3	(難)		F5	TCP①	60		EP	C4	DR①		2,600		
	待合スペース41	居室 (難)	FL-100	F5	TCP①	VB 60		EP	C4 天井内壁	Mバールーバー @150 EP	-	2,700		BB
	給湯室41	居室 (不)	FL-100	F5	VS t2.0(防滑)	VB 60		EP	C4	FK t6 + EP	塩ビ	2,600		流し台
	使送便保管庫	非居室 (不)	FL-100	F5	TCP①	VB 60		EP	C4	GB-D	塩ビ	2,600		壁面収納（別途工事）
	書庫41	非居室 (不)	FL-100	F1	VT t3.0	VB 60		EP	C4	GB-D	塩ビ	2,600		集密書架
	放送室	居室 (不)	FL-100	F1	VS t2.0	VB 60		EP	C4	DR①	塩ビ	2,600		
	仮眠室1（打合せスペース）	居室 (難)	FL-10	F1	VS t2.0	VB 60		EP	C4	DR①	塩ビ	2,700		CB、CR
	仮眠室2（打合せスペース）	居室 (難)	FL-10	F1	VS t2.0	VB 60		EP	C4	DR①	塩ビ	2,700		CB、CR
	シャワー室（脱衣ｽﾍﾟｰｽ）	非居室 (不)	FL-10	F1	VS t2.0	VB 60		FK-D t6	C4	FK-D t6	塩ビ	2,700		ユニットシャワー
	防災無線室	非居室 (不)	FL-100	F5	VT t3.0	VB 60		EP	C4	DR①	塩ビ	2,600		防災機器設置（別途工事）
	庁議室（災害対策本部）	居室 (難)	FL-100	F5	TCP②	木巾木 WP 100		布クロス	C4	DR① 天井折上部分EP	塩ビ	2,600 2,900		BB
	サーバー室	非居室 (不)	FL-100	F5（FL+200） 踏込部：木組□30H455 の上構造用合板t12	VT(帯電防止) （踏込部共）	VB 60		EP	天井あらわし		-	直		
	電気室	非居室 (不)	FL-300	耐水性高発泡浮床材t50の上、ｼﾝﾀﾞｰｺﾝｸt250	D	床材立上げ 100		GW-B t25	デッキ面	GW-B t25	-	直		
	機械室	非居室 (不)	FL-10	F1	D	床材立上げ 100		GW-B t25 LGS + GW-B t25(外壁面)	デッキ面	GW-B t25	-	直		
	更衣室41	非居室 (不)	FL-100	F5	VT t3.0	VB 60		EP	C4	GB-D	塩ビ	2,700		壁面収納（別途工事） 洗面カウンター、姿見鏡
	更衣室42	非居室 (不)	FL-100	F5	VT t3.0	VB 60		EP	C4	GB-D	塩ビ	2,700		壁面収納、洗面カウンター、姿見鏡
	待合スペース42（秘書課前）	居室 (不)	FL-100	F5	TCP①	VB 60		EP	C4	DR①	塩ビ	2,700		
	秘書課	居室 (難)	FL-100	F5	TCP①	VB 60		EP	C4	DR①	塩ビ	2,700		BB、流し台
	倉庫42	非居室 (不)	FL-100	F5	VT t3.0	VB 60		EP	C4	GB-D	塩ビ	2,700		
	前室（展示スペース）	非居室 (不)	FL-100	F5	TCP②	VB 60		天然木練付パネル(FL+0～+2.075) 木製見切材WP(FL+2.075～+2.100) GB-R + 布クロス(FL+2.100～H)	C4	GB-R t9.5 + 布クロス	塩ビ	2,700		PR

凡例	室名	居室 内装制限	スラブレベル	床 下地	床 仕上げ	巾木 仕上げ 高さ	壁 下地	壁 仕上げ	天井 下地	天井 仕上げ		廻り縁	天井高	備考
				F1 (C(金ｺﾞﾃ)	CT 磁器質タイル		W1	C打放し仕上	C1 C打放し仕上	GB-D	化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ			
				F2 モルタル	SCT 半磁器(陶磁器)タイル		W2	C打放し補修	C2 C打放し補修	DR①	ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(直張用 t12)			
				F3 ころばし床組	NCT せっき質タイル		W3	Cのまま	C3 Cのまま	DR②	ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(直張用 t12)+EP			
				F4 鋼製床組	VT ビニル床タイル		W4	モルタル	C4 LGS	DR(K)	ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(ｷｭｰﾌﾞ)			
				F5 OAフロア	VT(H) ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ(ﾎﾓｼﾞﾆｱｽ系)		W5	LGS	C5 LGS+GB-R12.5	GW-B	ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音板(ｶﾞﾗｽｸﾛｽ押エ)			
				F6 免震床+OAﾌﾛｱ	VS ビニル床シート		W6	LGS+GB-R12.5+GB-R12.5(両面)	C6 鉄骨					
				F7 A防水	CP カーペット		W7	LGS+GB-R12.5	C7 LGS+GB-S12.5					
				F8 ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	CP(NP) ﾆｰﾄﾞﾙﾊﾟﾝﾁｶｰﾍﾟｯﾄ		W8	GB-R12.5(GL)						
					TCP① タイルカーペット		W9	乾式耐火間仕切(1h耐火) LGS+GB-F12.5+GB-F12.5(両面)						PR ピクチャーレール
					TCP② タイルカーペット		W10	遮音壁B(TLD54) LGS+GB-F21+GB-R-H9.5(GW充填)(両面)						CR カーテンレール（別途工事）
					D 防塵塗料塗		W11	遮音壁B(TLD52) LGS+GB-F12.5+GB-R-H9.5(GW充填)(両面)						BB ブラインドボックス
4階	市長室	居室 (難)	FL-100	F5	TCP②	木巾木 WP 100	壁種別図参照	天然木練付パネル(FL+0～+2.075) 木製見切材WP(FL+2.075～+2.100) GB-R + 布クロス(FL+2.100～H)	C5	GB-R t9.5 + 布クロス 天井折上部分EP	塩ビ	2,600 2,900		BB 木製吊り天井
	副市長室1	居室 (難)	FL-100	F5	TCP②	木巾木 WP 100		天然木練付パネル(FL+0～+2.075) 木製見切材WP(FL+2.075～+2.100) GB-R + 布クロス(FL+2.100～H)	C4	GB-R t9.5 + 布クロス 天井折上部分EP	塩ビ	2,600 2,900		BB
	副市長室2	居室 (難)	FL-100	F5	TCP②	木巾木 WP 100		天然木練付パネル(FL+0～+2.075) 木製見切材WP(FL+2.075～+2.100) GB-R + 布クロス(FL+2.100～H)	C4	GB-R t9.5 + 布クロス 天井折上部分EP	塩ビ	2,600 2,900		BB
	応接室	居室 (難)	FL-100	F5	TCP②	木巾木 WP 100		天然木練付パネル(FL+0～+2.075) 木製見切材WP(FL+2.075～+2.100) GB-R + 布クロス(FL+2.100～H)	C4	GB-R t9.5 + 布クロス 天井折上部分EP	塩ビ	2,600 2,900		BB
	メンテナンスギャラリー	非居室 (難)	FL-10	F2	VS	VB 60		GW-B t25（グレー） EP	C6 デッキ・天井内	アルポリック t3.0 GW-B t25		躯場詳細図を参照		BB
	車椅子席・親子席	居室 (難)	FL-10	F2	TCP②	VB 60		EP	C6 デッキ・天井内	アルポリック t3.0 GW-B t25	塩ビ	躯場詳細図を参照		BB
	WC41（M）	非居室 (不)	FL-10	F1	VS t2.0(消臭)	床材立上げ 100		FK t6 + EP	C4	FK-D t6	塩ビ	2,400		洗面カウンター、姿見鏡 傘掛フック
	WC41（W）	非居室 (不)	FL-10	F1	VS t2.0(消臭)	床材立上げ 100		FK t6 + EP	C4	FK-D t6	塩ビ	2,400		姿見鏡
	HWC41	非居室 (不)	FL-10	F1	VS t2.0(消臭)	床材立上げ 100		FK t6 + EP	C4	FK-D t6	塩ビ	2,400		
	WC42（M）	非居室 (不)	FL-10	F1	VS t2.0(消臭)	床材立上げ 100		FK t6 + EP	C4	FK-D t6	塩ビ	2,600		洗面カウンター、姿見鏡 傘掛フック
	WC42（W）	非居室 (不)	FL-10	F1	VS t2.0(消臭)	床材立上げ 100		FK t6 + EP	C4	FK-D t6	塩ビ	2,600		姿見鏡
	HWC42	非居室 (不)	FL-10	F1	VS t2.0(消臭)	床材立上げ 100		FK t6 + EP	C4	FK-D t6	塩ビ	2,600		
	SK42	非居室 (不)	FL-10	F1	VS t2.0(消臭)	床材立上げ 100		FK t6 + EP	C4	FK-D t6	塩ビ	2,600		
	WC43	非居室 (不)	FL-10	F1	VS t2.0(消臭)	床材立上げ 100		FK t6 + EP	C4	FK-D t6	塩ビ	2,600		
	廊下41	非居室 (不)	FL-10	F1	VS t2.0	VB 60		EP	C4	DR①	塩ビ	2,700		
	廊下42	非居室 (準)	FL-50	F2+構造用合板t15	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt15+UC	木巾木 WP 60		EP	C4 天井内壁	Mバールーバー @150 EP	-	2,700		
	ゴミ置場4	非居室 (不)	FL-10	F1	VS t2.0	VB 60		EP	C4	FK t6 + EP	塩ビ	2,700		
	EVホール4	非居室 (難)	FL-50	F2+構造用合板t15	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt15+UC	木巾木 WP 60		EP	C4 天井内壁	Mバールーバー @150 EP	-	2,700		

内装制限	
－	内装仕上げ：制限なし
(難)	内装仕上げ：難燃材料
(準)	内装仕上げ：準不燃材料
(不)	内装仕上げ：不燃材
(不)	内装仕上げ・下地共：不燃材

株式会社 佐藤総合計画

工事名称	南相馬市新庁舎建設建築主体工事	一級建築士事務所 登録番号 宮城県知事登録 第22210181号 建設コンサルタント 登録番号 建01第843号	種別 G-019
図面名	内部仕上げ表（4）	総括 一級建築士第315658号 飯柴耕一 / 担当 一級建築士第323340号 高橋英雄 一級建築士第374585号 古川侑慧	通し番号
設計番号 04632-010 / 作成日 － / 縮尺		構造関係規定に適合することを確認した 一級建築士 第306020号 構造設計一級建築士 第5334号 椎堀 邉司 / 設備関係規定に適合することを確認した 一級建築士 第359849号 設備設計一級建築士 第4808号 渡邉 森	

内部仕上表(5)

凡例	室名	居室 内装制限	スラブレベル
PF階	階段室	非居室 ㊟	FL+650
	ハト小屋	非居室 –	FL-10
共通	階段1	非居室 ㊟	
	階段2	非居室 ㊟	
	階段3	非居室 ㊟	
	EVピット	非居室 –	
	PS,EPS	非居室 –	
	DS	非居室 –	

凡例	床 下地	床 仕上げ	巾木 仕上げ / 高さ	壁 下地	壁 仕上げ	天井 下地	天井 仕上げ	廻り縁	天井高	備考
PF階	F1	VS t2.0		壁種別図参照	EP	C5	DR①	塩ビ	2,250	BB
	F1	ウレタン塗膜防水	床材立上げ 100		吹付ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑt65	C3	吹付ｳﾚﾀﾝﾌｫｰﾑt65	–	–	
共通	F1	VS	VB 60		EP	最上階C5	DR①	–		
	F2+構造用合板t15	ﾌﾛｰﾘﾝｸﾞt15+UC	木巾木 OP 60		EP(ECP仕上げ) SOP(ボンデ鋼板仕上げ)	最上階C4 天井内壁・デッキ	Mバールーバー @150 EP・GW-B t25	–		
	F1	VS	VB 60		EP	最上階C5	DR①	–		
	F1	塗布防水			素地	デッキ 鉄骨	素地 吹付RW t25（耐火被覆）	–		
	F2	D	床材立上げ 100		素地	デッキ 鉄骨	素地 吹付RW t25（耐火被覆）	–		
	F2	D	床材立上げ 100		素地	デッキ 鉄骨	素地 吹付RW t25（耐火被覆）	–		

凡例	内装仕上げ
–	内装仕上げ：制限なし
㊟	内装仕上げ：難燃材料
㊟	内装仕上げ：準不燃材料
㊟	内装仕上げ：不燃材
㊟	内装仕上げ・下地共：不燃材

凡例	床 下地	床 仕上げ	巾木 仕上げ / 高さ	壁 下地	壁 仕上げ	天井 下地	天井 仕上げ	廻り縁	天井高	備考
	F1	C(金ｺﾃ)	CT 磁器質タイル	W1	C打放し仕上	C1	C打放し仕上 GB-D 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ			
	F2	モルタル	SCT 半磁器(陶磁器)タイル	W2	C打放し補修	C2	C打放し補修 DR① ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(直張用 t12)			
	F3	ころばし床組	NCT せっき質タイル	W3	Cのまま	C3	Cのまま DR② ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(直張用 t12)+EP			
	F4	鋼製床組	VT ビニル床タイル	W4	モルタル	C4	LGS DR(K) ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(ｷｭｰﾌﾞ)			
	F5	OAフロア	VT(H) ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ(ﾎﾓｼﾞﾆｱｽ系)	W5	LGS	C5	LGS+GB-R12.5 GW-B ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音板(ｶﾞﾗｽｸﾛｽ押エ)			
	F6	免震床+OAﾌﾛｱ	VS ビニル床シート	W6	LGS+GB-R12.5+GB-R12.5(両面)	C6	鉄骨			
	F7	A防水	CP カーペット	W7	LGS+GB-R12.5	C7	LGS+GB-S12.5			
	F8	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	CP(NP) ﾆｰﾄﾞﾙﾊﾟﾝﾁｶｰﾍﾟｯﾄ	W8	GB-R12.5(GL)					
			TCP① タイルカーペット	W9	乾式耐火間仕切(1h耐火) LGS+GB-F12.5+GB-F12.5(両面)					PR ピクチャーレール
			TCP② タイルカーペット	W10	遮音壁A(TLD64) LGS+GB-F21+GB-R-H9.5(GW充填)(両面)					CR カーテンレール（別途工事）
			D 防塵塗料塗	W11	遮音壁B(TLD52) LGS+GB-F12.5+GB-R-H9.5(GW充填)(両面)					BB ブラインドボックス

凡例	室名	居室 内装制限	スラブレベル

凡例	床 下地	床 仕上げ	巾木 仕上げ / 高さ	壁 下地	壁 仕上げ	天井 下地	天井 仕上げ	廻り縁	天井高	備考
	F1	C(金ｺﾃ)	CT 磁器質タイル	W1	C打放し仕上	C1	C打放し仕上 GB-D 化粧石膏ﾎﾞｰﾄﾞ			
	F2	モルタル	SCT 半磁器(陶磁器)タイル	W2	C打放し補修	C2	C打放し補修 DR① ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(直張用 t12)			
	F3	ころばし床組	NCT せっき質タイル	W3	Cのまま	C3	Cのまま DR② ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(直張用 t12)+EP			
	F4	鋼製床組	VT ビニル床タイル	W4	モルタル	C4	LGS DR(K) ﾛｯｸｳｰﾙ化粧吸音板(ｷｭｰﾌﾞ)			
	F5	OAフロア	VT(H) ﾋﾞﾆﾙ床ﾀｲﾙ(ﾎﾓｼﾞﾆｱｽ系)	W5	LGS	C5	LGS+GB-R12.5 GW-B ｸﾞﾗｽｳｰﾙ吸音板(ｶﾞﾗｽｸﾛｽ押エ)			
	F6	免震床+OAﾌﾛｱ	VS ビニル床シート	W6	LGS+GB-R12.5+GB-R12.5(両面)	C6	鉄骨			
	F7	A防水	CP カーペット	W7	LGS+GB-R12.5	C7	LGS+GB-S12.5			
	F8	ｾﾙﾌﾚﾍﾞﾘﾝｸﾞ	CP(NP) ﾆｰﾄﾞﾙﾊﾟﾝﾁｶｰﾍﾟｯﾄ	W8	GB-R12.5(GL)					
			TCP① タイルカーペット	W9	乾式耐火間仕切(1h耐火) LGS+GB-F12.5+GB-F12.5(両面)					PR ピクチャーレール
			TCP② タイルカーペット	W10	遮音壁A(TLD64) LGS+GB-F21+GB-R-H9.5(GW充填)(両面)					CR カーテンレール（別途工事）
			D 防塵塗料塗	W11	遮音壁B(TLD52) LGS+GB-F12.5+GB-R-H9.5(GW充填)(両面)					BB ブラインドボックス

株式会社 佐藤総合計画

工事名称	南相馬市新庁舎建設建築主体工事
図面名	内部仕上げ表 (5)
設計番号	04632-010
作成日	–
縮尺	

一級建築士事務所　登録番号　宮城県知事登録　第22210181号
建設コンサルタント　登録番号　建01第843号

総括 一級建築士第315658号　飯柴耕一
担当 一級建築士第323340号　高橋英雄
一級建築士第374585号　古川侑慧

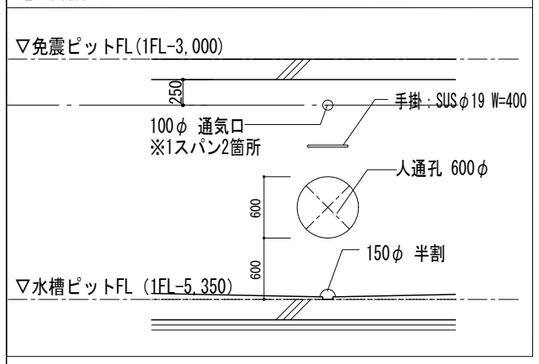
構造関係規定に適合することを確認した
一級建築士　第306020号
構造設計一級建築士　第5334号 椎堀　進司

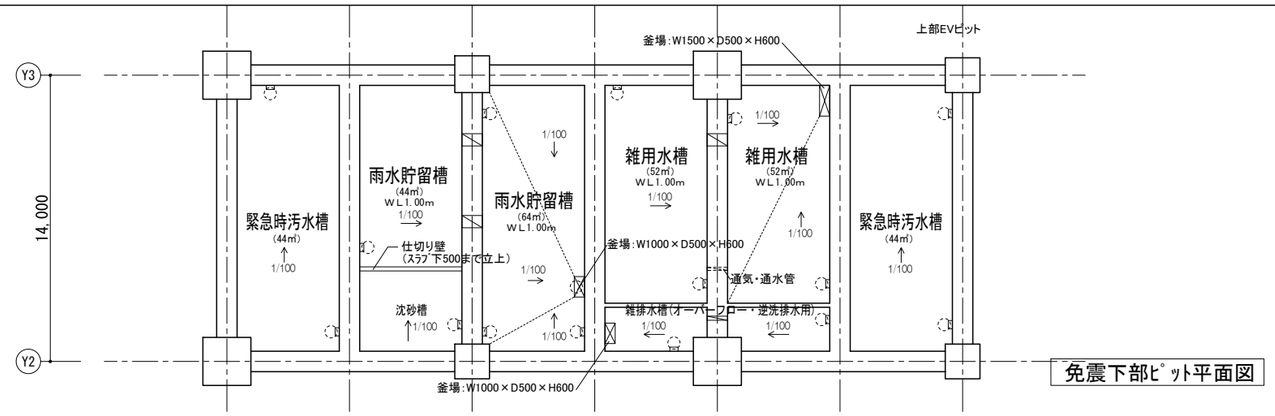
設備関係規定に適合することを確認した
一級建築士　第359849号
設備設計一級建築士　第4806号　渡邊　森

種別 G-020

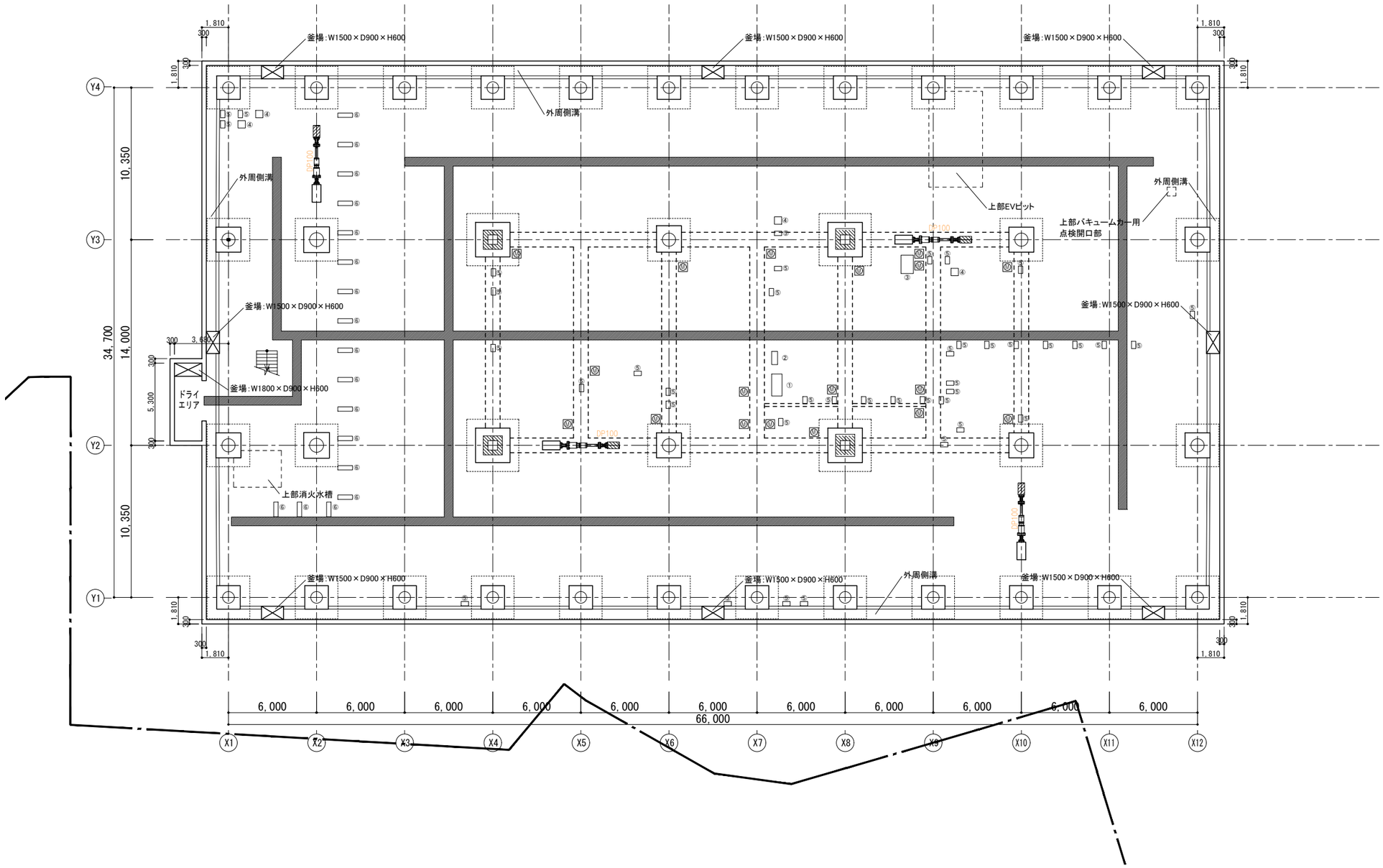
通し番号

人通口部分詳細（Scale＝1：60）





免震下部ピット平面図



■ピット基礎リスト

基礎No.	基礎サイズ	数 量
①	700×1,500×H150	1
②	900×400×H150	1
③	840×1,250×H300	1
④	500×500×H150	4
⑤	300×500×H300	41
⑥	300×1000×H300	17

凡例

EXP.J	エキスパンションジョイント	[FL+000]	フロア基準レベルとの関係	TD	竪樋
	人通□600φ		SUS製床点検□600角（防臭・防水仕様）	RD	鋳鉄製ドレン
	SUSクラップW400×4段@300		鋳鉄製マンホール600φ（防臭・防水仕様）		室内SUSグレーチング
	釜蓋 サイズ図示（600H）		点字鋲（注意喚起・誘導）		ドアガード
	※雨水貯留槽・雑用水槽には通気孔100φを2ヶ所ずつ設ける		屋内消火栓（消火器付）		SUS自在丸環 φ19 径100
	※ハッチング：免震装置の交換ルートを示す		※オーバーフロー管：SUS製 50φ		

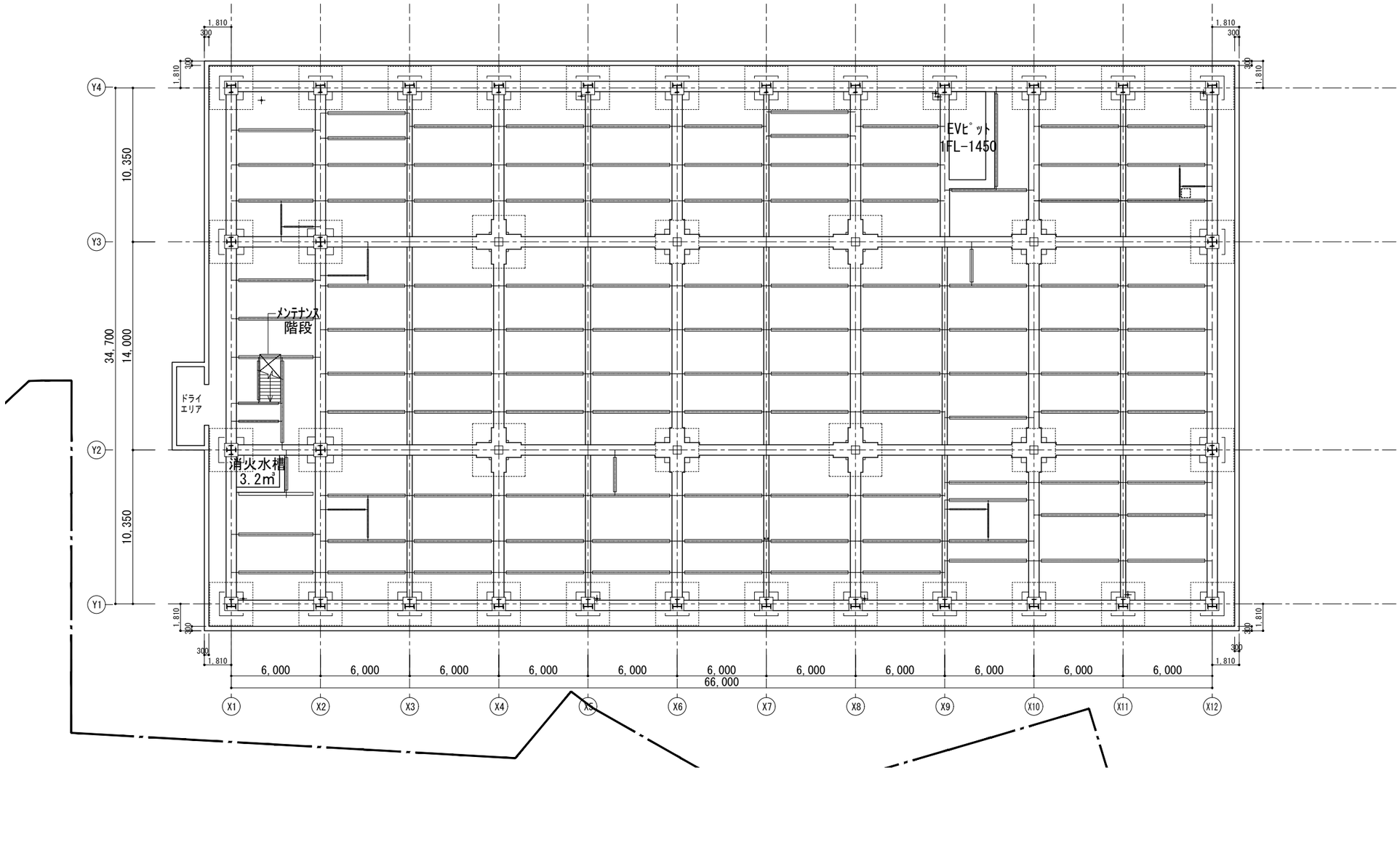
SS	防火シャッター
SHS	防火シャッター（シートシャッター）

消火器ボックス（ボックスのみ建築工事）

A	全埋込み型
B	半埋込み型
C	床置き型

株式会社 佐藤総合計画

工事名称	南相馬市新庁舎建設建築主体工事	一級建築士事務所 登録番号 宮城県知事登録 第22210181号 建設コンサルタント 登録番号 建01第843号	種別 G-021
図面名	免震ピット階(FL±0)平面図	総括 一級建築士第315658号 飯柴耕一 担当 一級建築士第323340号 高橋英雄 一級建築士第374585号 古川侑慧	通し番号
設計番号 04632-010 / 作成日 – / 縮尺 A1 S=1/150 A3 S=1/300		構造関係規定に適合することを確認した 一級建築士 第306020号 構造設計一級建築士 第5334号 檜垣 進司 設備関係規定に適合することを確認した 一級建築士 第359849号 設備設計一級建築士 第4808号 渡邊 森	

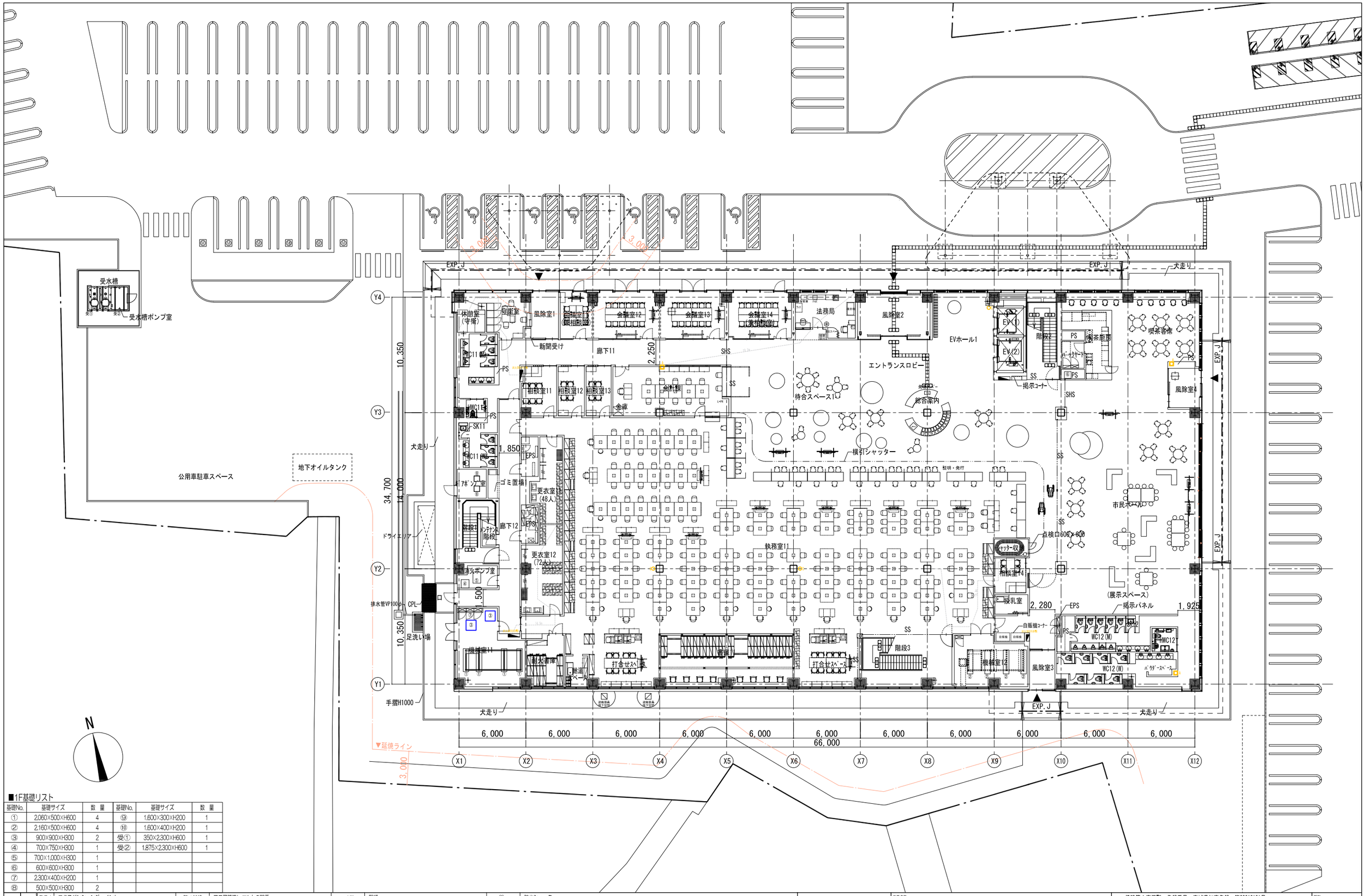


凡例	EXP.J エキスパンションジョイント	【FL+000】 フロア基準レベルとの関係	TD 竪樋	SS 防火シャッター			
	人通□600φ	SUS製床点検□600角（防臭・防水仕様）	RD 鋳鉄製ドレン	SHS 防火シャッター（シートシャッター）			
	SUSクラップW400×4段@300	鋳鉄製マンホール600φ（防臭・防水仕様）	室内SUSグレーチング	消火器ボックス（ボックスのみ建築工事）			
	釜蓋 サイズ図示（600H）	点字鋲（注意喚起・誘導）	ドアガード	A 全埋込み型			
	※雨水貯留槽・雑用水槽には通気孔100φを2ヶ所ずつ設ける	屋内消火栓（消火器付）	SUS自在丸環 φ19 径100	B 半埋込み型			
	※オーバーフロー管：SUS製 50φ			C 床置き型			

株式会社 佐藤総合計画

工事名称	南相馬市新庁舎建設建築主体工事	一級建築士事務所 登録番号 宮城県知事登録 第22210181号 建設コンサルタント 登録番号 建01第843号	種別 G-022
図面名	免震ピット階（FL+2,000）平面図	総括 一級建築士第315658号 飯柴耕一	担当 一級建築士第323340号 高橋英雄 一級建築士第374585号 古川侑慧
設計番号 04632-010	作成日 –	縮尺 A1 S=1/150 A3 S=1/300	構造関係規定に適合することを確認した 一級建築士 第306020号 構造設計一級建築士 第5334号 樽垣 進司
			設備関係規定に適合することを確認した 一級建築士 第359849号 設備設計一級建築士 第4808号 渡邊 森

通し番号



■1F基礎リスト

基礎No.	基礎サイズ	数 量	基礎No.	基礎サイズ	数 量
①	2,060×500×H600	4	⑨	1,600×300×H200	1
②	2,160×500×H600	4	⑩	1,600×400×H200	1
③	900×900×H300	2	受①	350×2,300×H600	1
④	700×750×H300	1	受②	1,875×2,300×H600	1
⑤	700×1,000×H300	1			
⑥	600×600×H300	1			
⑦	2,300×400×H200	1			
⑧	500×500×H300	2			

凡例

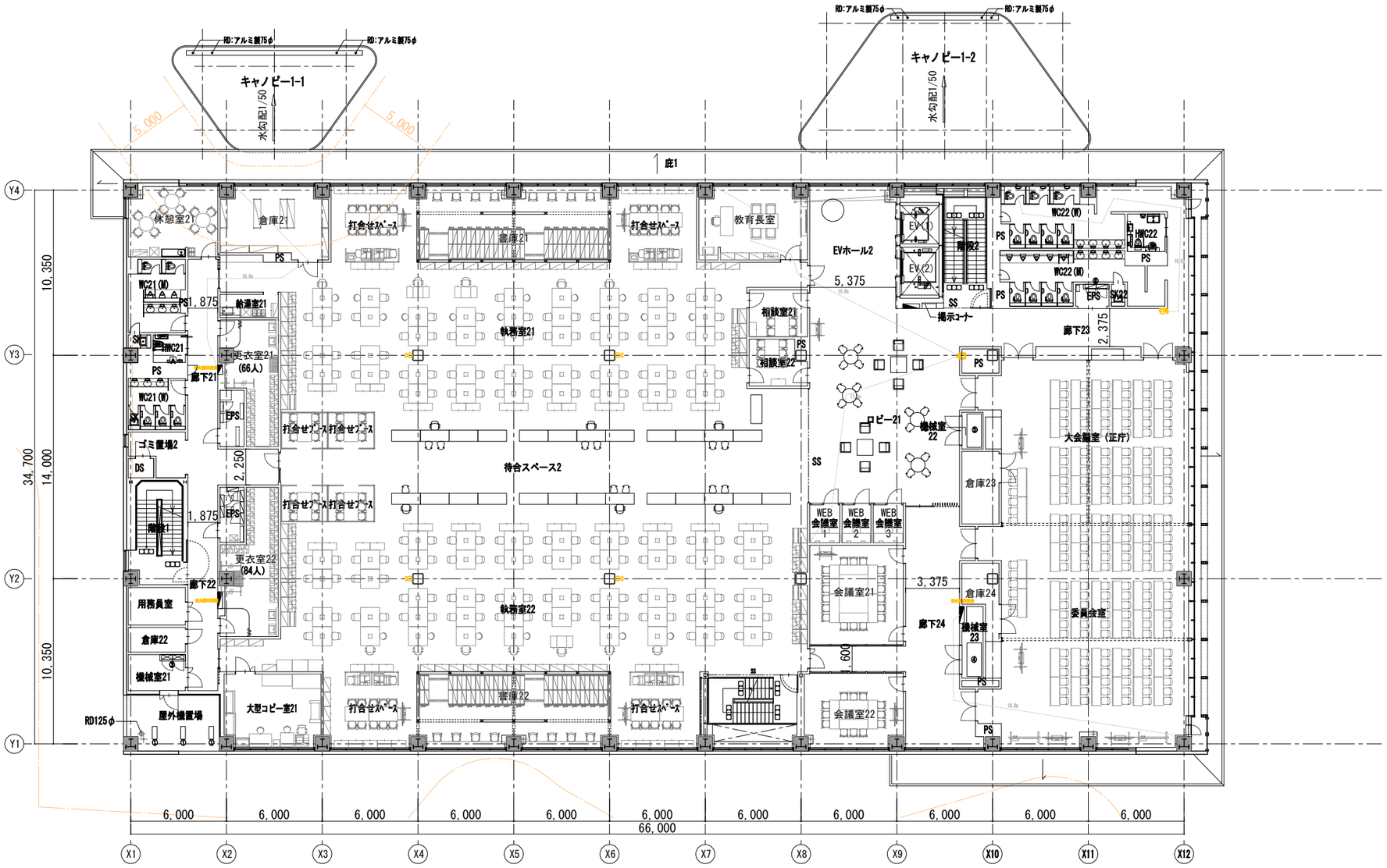
EXPJ	エキスパンションジョイント	【FL+000】	フロア基準レベルとの関係	TD	竪樋
	人通口600φ		SUS製床点検口600角（防臭・防水仕様）	RD	鋳鉄製ドレン
	SUS9ラップW400×4段@300		鋳鉄製マンホール600φ（防臭・防水仕様）		室内SUSグレーチング
	釜場　サイズ図示（600H）		点字鋲（注意喚起・誘導）		ドアガード
	※雨水貯留槽・雑用水槽には通気孔100φを2ヶ所すつ設ける		屋内消火栓（消火器付）		SUS自在丸環　φ19　径100
	※オーバーフロー管：SUS製　50φ				

SS	防火シャッター		
SHS	防火シャッター（シートシャッター）		
消火器ボックス（ボックスのみ建築工事）			
A	全埋込み型		
B	半埋込み型		
C	床置き型		

株式会社 佐藤総合計画

工事名称	南相馬市新庁舎建設建築主体工事	一級建築士事務所　登録番号　宮城県知事登録　第22210181号 建築コンサルタント　登録番号　建01第843号	種別 G-023
図面名	1階平面図	総括 一級建築士第315658号　飯柴耕一	設計 一級建築士第323340号　高橋英雄 一級建築士第374585号　古川侑慧
制作番号 04632-010	作成日 －	縮尺 A1 S=1/150　A3 S=1/300	構造関係規定に適合することを確認した 一級建築士　第306020号 構造設計一級建築士　第5334号　樋口　遥司
			設備関係規定に適合することを確認した 一級建築士　第359849号 設備設計一級建築士　第4808号　渡邊　森

通し番号



■2F基礎リスト

基礎No.	基礎サイズ	数 量
①	300×800×H500	3
②		
③	1,600×400×H200	1
④	900×2,100×H300	1
⑤	900×2,100×H300	1
⑥	1,600×300×H200	1

凡例

	EXPJ	エキスパンションジョイント	[FL+000]	フロア基準レベルとの関係	+TD	誘導	SS	防火シャッター
		人通口600φ		SUS製床点検口600角（防臭・防水仕様）	+RD	鋳鉄製ドレン	SHS	防火シャッター（シートシャッター）
		SUSタラップW400×4段@300		鋳鉄製マンホール600φ（防臭・防水仕様）		室内SUSグレーチング	消火器ボックス（ボックスのみ建築工事）	
		釜場　サイズ図示（600H）		点字板（注意喚起・誘導）		ドアガード	A	全埋込み型
		※雨水貯留槽・雑用水槽には通気孔100φを2ヶ所ずつ設ける		屋内消火栓（消火器付）		SUS白在丸環　φ19　径100	B	半埋込み型
		※オーバーフロー管：SUS製　50φ					C	床置き型

株式会社 佐藤総合計画

工事名称	南相馬市新庁舎建設建築主体工事	一級建築士事務所　登録番号　宮城県知事登録　第22210181号 建設コンサルタント　登録番号　建01第843号	図面 G-024
図面名	2階平面図	担当 一級建築士第315658号　飯柴耕一 / 設計 一級建築士第323340号　高橋英雄 一級建築士第374585号　古川侑葉	通し番号
設計番号 04632-010	作成日 － / 縮尺 A1 S=1/150 A3 S=1/300	構造図構成図に適合することを確認した 一級建築士　第306020号 構造設計一級建築士　第5334号　檜垣　達司	設備図構成図に適合することを確認した 一級建築士　第359849号 設備設計一級建築士　第4606号　渡邊　尚

N

■3F基礎リスト

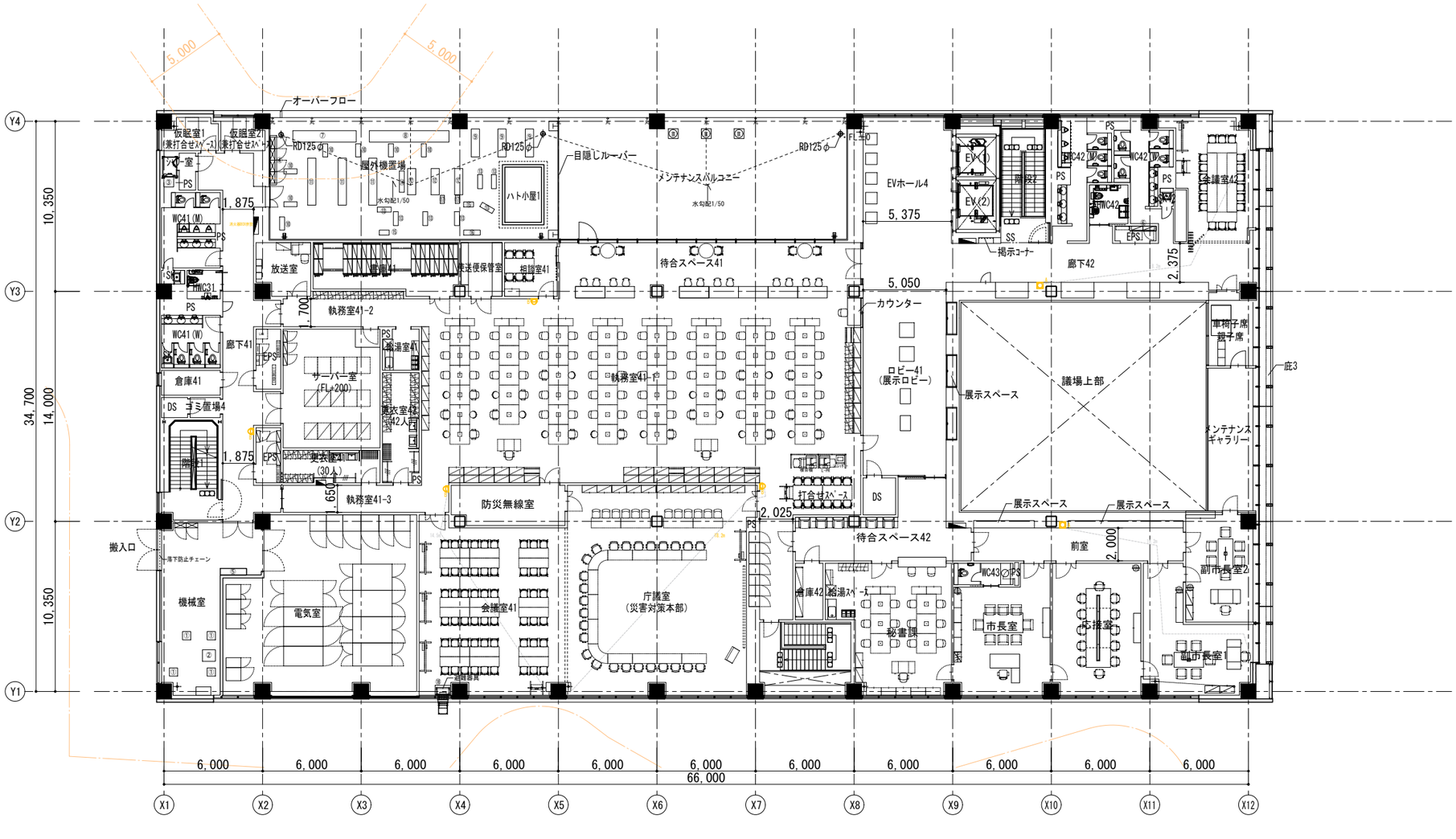
基礎No.	基礎サイズ	数 量
①		
②	900X900XH300	2
③		
④	600X1,500XH300	4
⑤	1,600X400XH200	1
⑥	1,600X300XH200	1
⑦	900X600XH200	1

凡例

	EXPJ	エキスパンションジョイント	[FL+000]	フロア基準レベルとの関係	+TD	竪樋	SS 防火シャッター
		人通口600φ		SUS製点検口600角（防臭・防水仕様）	FD	鋳鉄製ドレン	SHS 防火シャッター（シートシャッター）
		SUSタラップW400×4段@300		鋳鉄製マンホール600φ（防臭・防水仕様）		室内SUSグレーチング	消火器ボックス（ボックスのみ建築工事）
		釜場 サイズ図示（600H）		点字版（注意喚起・誘導）		ドアガード	A 全埋込み型
		※雨水貯留槽・雑用水槽には通気孔100φを2ヶ所ずつ設ける		屋内消火栓（消火器付）		SUS自在丸環 φ19 径100	B 半埋込み型
		※オーバーフロー管：SUS製 50φ					C 床置き型

株式会社 佐藤総合計画

工事名称	南相馬市新庁舎建設建築主体工事	一級建築士事務所 登録番号 宮城県知事登録 第22210181号 建設コンサルタント 登録番号 建01第843号	図面 G-025
図面名	3階平面図	設計 一級建築士第315659号 飯塚耕一 監修 一級建築士第323340号 高橋英雄 一級建築士第374585号 古川侑慧	通し番号
設計番号 04632-010	作成日 -	縮尺 A1 S=1/150 A3 S=1/300	構造設計低減策に適合することを確認した 一級建築士 第306020号 構造設計一級建築士 第5334号 檜垣 達司 設備設計低減策に適合することを確認した 一級建築士 第359840号 設備設計一級建築士 第4808号 渡邊 森



■4F基礎リスト

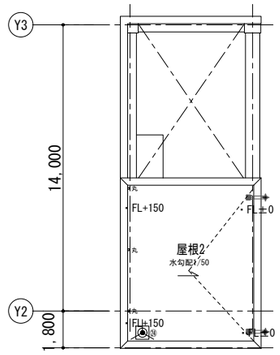
基礎No.	基礎サイズ	数 量	基礎No.	基礎サイズ	数 量	基礎No.	基礎サイズ	数 量
①	500×500×H150	4	⑨	500×1,700×H500	3	⑰	300×500×H150	2
②	700×785×H150	1	⑩	300×800×H300	7	⑱	900×600×H200	1
③	600×600×H300	1	⑪	500×2,860×H500	3	㊱	400×400×H1,000	2
④	3,000×400×H500	1	⑫	500×1,600×H500	3			
⑤	1,600×400×H200	1	⑬	300×850×H800	7			
⑥	1,600×300×H200	1	⑭	300×1,300×H300	1			
⑦	700×3,850×H300	1	⑮	300×600×H300	2			
⑧	700×4,850×H300	1	⑯	300×1,000×H300	1			

凡例

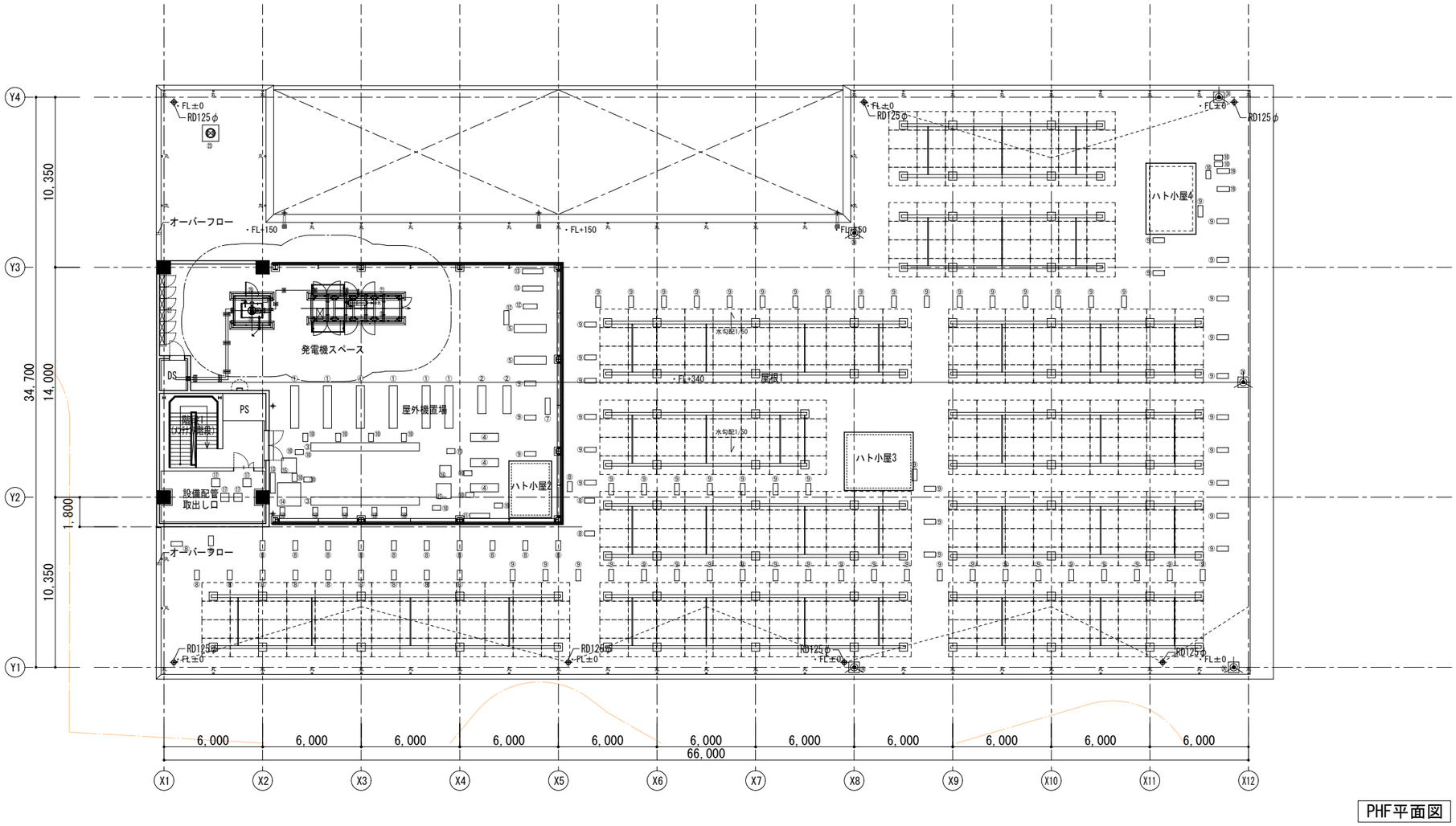
EXPJ	エキスパンションジョイント	FL+0000	フロア基準レベルとの関係	TD	竪樋	SS	防火シャッター
	人通□600φ		SUS製床点検□600角（防臭・防水仕様）	RD	鋳鉄製ドレン	S-SS	防火シャッター（シートシャッター）
	SUSタラップW400×4段@300		鋳鉄製マンホール600φ（防臭・防水仕様）		室内SUSグレーチング	消火器ボックス（ボックスのみ建築工事）	
	釜場 サイズ図示（600H）		点字鋲（注意喚起・誘導）		ドアガード	A	全埋込み型
	※雨水貯留槽・雑用水槽には通気孔100φを2ヶ所ずつ設ける		屋内消火栓（消火器付）		SUS自在丸環 φ19 径100	B	半埋込み型
	※オーバーフロー管：SUS製 50φ					C	床置き型

株式会社 佐藤総合計画

工事名称	南相馬市新庁舎建設建築主体工事	一級建築士事務所 登録番号 宮城県知事登録 第22210181号 建設コンサルタント 登録番号 建01第843号	種別 G-026
図面名	４階平面図	総括 一級建築士第315658号 飯柴耕一	担当 一級建築士第323340号 高橋英雄 一級建築士第374585号 古川侑慧
設計番号 04632-010	作成日 –	縮尺 A1 S=1/150 A3 S=1/300	通し番号
		構造関係規定に適合することを確認した 一級建築士 第306020号 構造設計一級建築士 第5334号 檜垣 進司	設備関係規定に適合することを確認した 一級建築士 第359849号 設備設計一級建築士 第4808号 渡邊 森



RF平面図



PHF平面図

■4F基礎リスト

基礎No.	基礎サイズ	数 量	基礎No.	基礎サイズ	数 量	基礎No.	基礎サイズ	数 量	基礎No.	基礎サイズ	数 量
①	500×2,600×H500	6	⑨	300×700×H300	72	⑰	500×500×H150	4	太陽光	700×700×H500	114
②	500×1,700×H150	2	⑩	300×500×H300	20	⑱	-	-			
③	500×6,800×H500	2	⑪	300×1,200×H300	1	⑲	750×300×H500	2			
④	1,700×500×H500	3	⑫	300×850×H800	2	⑳	2,700×500×H500	1			
⑤	500×1,950×H500	1	⑬	300×1,250×H300	3	㉑	6,000×500×H500	2			
⑥			⑭	1,420×1,420×H150	1	㉒	4,400×400×H500	1			
⑦	300×1,000×H300	1	⑮	900×900×H150	2	㉓	1,000×1,000×H500	1			
⑧	300×600×H300	24	⑯	700×700×H150	1	㉔	600×600×H500	5			

凡例

EXPJ	エキスパンションジョイント	FL+000	フロア基準レベルとの関係	TD	竪樋
	人通口600φ		SUS製床点検口600角（防臭・防水仕様）	RD	鋳鉄製ドレン
	SUSタラップW400×4段@300		鋳鉄製マンホール600φ（防臭・防水仕様）		室内SUSグレーチング
	釜場　サイズ図示（600H）		点字鋲（注意喚起・誘導）		ドアガード
	※雨水貯留槽・雑用水槽には通気孔100φを2ヶ所ずつ設ける		屋内消火栓（消火器付）		SUS自在丸環　φ19　径100
	※オーバーフロー管：SUS製　50φ				

SS	防火シャッター
S-SS	防火シャッター（シートシャッター）

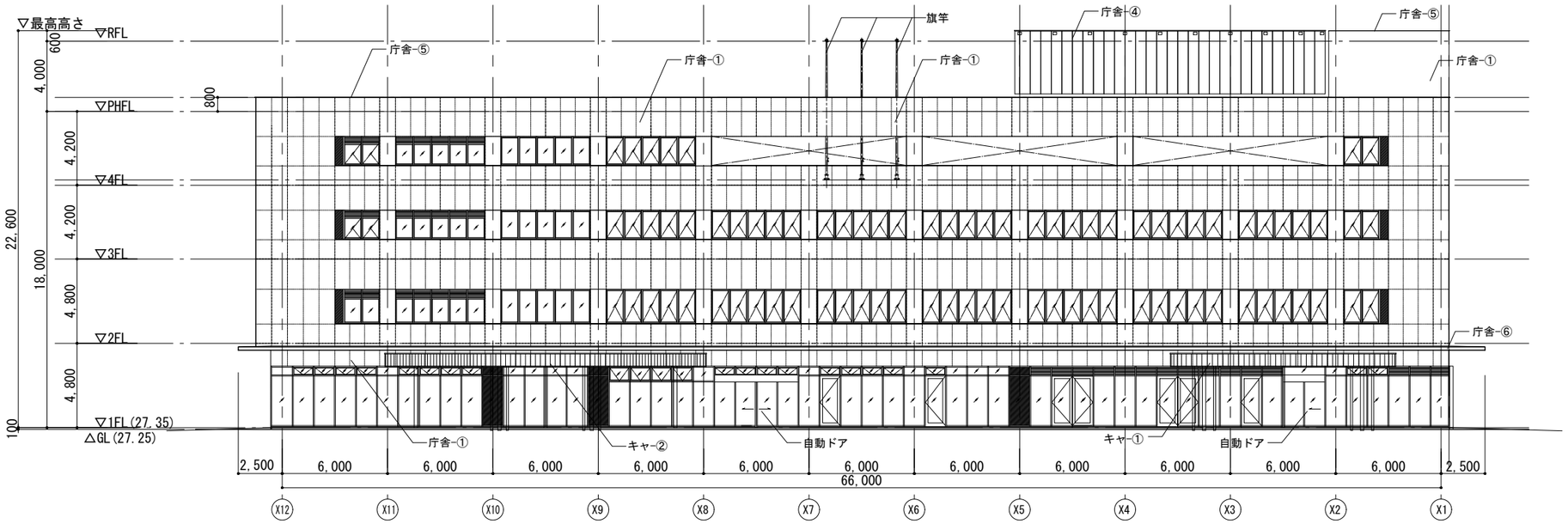
消火器ボックス（ボックスのみ建築工事）

A	全埋込み型
B	半埋込み型
C	床置き型

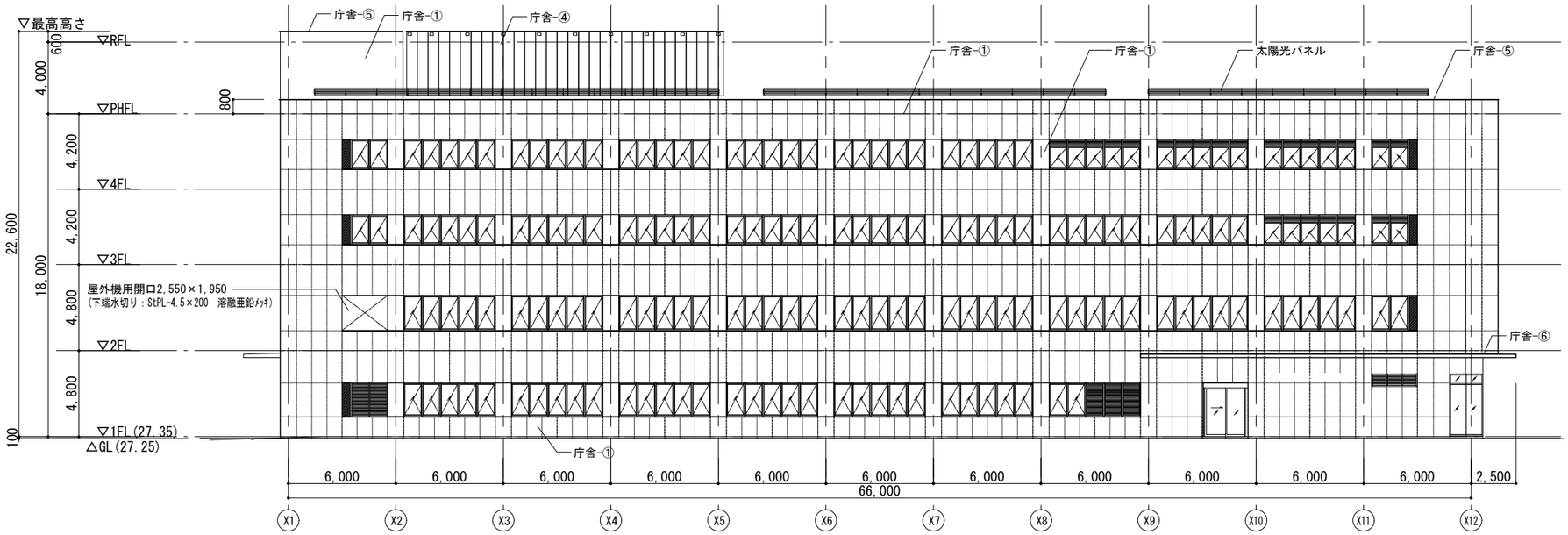
株式会社 佐藤総合計画

工事名称	南相馬市新庁舎建設建築主体工事	一級建築士事務所　登録番号　宮城県知事登録　第22210181号 建設コンサルタント　登録番号　建01第843号	種別 G-027
図面名	ＰＨ階・Ｒ階平面図	総括 一級建築士第3156658号　飯柴耕一	担当 一級建築士第323340号　高橋英雄 一級建築士第374585号　古川侑慧
設計番号 04632-010	作成日 －	縮尺 A1 S=1/150 A3 S=1/300	構造関係規定に適合することを確認した 一級建築士　第306020号 構造設計一級建築士　第5334号 檜垣　進司
			設備関係規定に適合することを確認した 一級建築士　第359849号 設備設計一級建築士　第4808号　渡邊　森

通し番号



北側立面図



南側立面図

庁舎-①	外壁1：コンクリート打ち放し仕上げA種+保護塗装A	キャ-①	ｷｬﾉﾋﾞ-1-1：	屋根 木モセメント板+シート防水	※SUS懸垂幕:W1000×13850２連仕様（強風地域仕様）	
庁舎-②	外壁2：ECP(A種) t60 フラットパネル+保護塗装A			幕板 ガルバリウム鋼板t0.5 差込ジョイント工法	ﾀﾞｲﾔﾝ ﾒﾀﾞｲﾔﾀｸﾞｰMTST型SUSｳｨﾝﾁ下手巻式同等品	
庁舎-③	ルーバー：アルミカットパネルt5.0			軒天 LGS+ケイカル板+DP		
庁舎-④	目隠し：ECP(A種) t60 フラットパネル+保護塗装A	キャ-②	ｷｬﾉﾋﾞ-1-2：	屋根 木モセメント板+シート防水		
庁舎-⑤	水切り：StPL-4.5×200　溶融亜鉛ﾒｯｷ			幕板 ガルバリウム鋼板t0.5 差込ジョイント工法		
庁舎-⑥	防水：超速硬化ウレタン塗膜防水			軒天 LGS+ケイカル板+DP		

株式会社 佐藤総合計画

工事名称	南相馬市新庁舎建設建築主体工事		
図面名	立面図(1)		
設計番号	04632-010	作成日	－
縮尺	A1　S=1/150 A3　S=1/300		

一級建築士事務所　登録番号　宮城県知事登録　第22210181号
建設コンサルタント　登録番号　建01第843号

総括
一級建築士第315658号　飯柴耕一

担当
一級建築士第323340号　高橋英雄
一級建築士第374585号　古川侑慧

構造関係規定に適合することを確認した
一級建築士　第306020号
構造設計一級建築士　第5334号 椎垣　進司

設備関係規定に適合することを確認した
一級建築士　第359849号
設備設計一級建築士　第4808号　渡邊　森

種別
G-028

通し番号